

レボ

あなたの
お金の革命
誠実さの力

リニュー

ゲイリー・キージー

シヨシ

キリストの中の友よ、

あなたがこの教えの中で祝福と励ましを得ることが私たちの祈りです！この本をあなたの友人、家族、そして教会の兄弟姉妹と分かち合ってください。あなたの言語で無料の資材をダウンロードすることができます。

神様はあなたを愛しておられ、あなたのために素晴らしい計画を持っておられます！神の御国の原理を学んだことで私たちの人生は大きく変えられました。あなたにも同じことが起こると信じています！

キリストの愛をもって

ゲイリーとドレンダ キージー



追伸：あなたの言語で無料の資材をダウンロードすることを忘れないで下さい！

レボ

あなたの
お金の革命
誠実さの力

リニュー

ゲイリー・キージー

シヨシ

**Your Financial Revolution
The Power of Allegiance, Japanese**

Copyright© 2023 by Gary Keesee

Originally published in English
Copyright © 2015 by Gary Keesee
ISBN: 978-606-8993-80-5

Gary Keesee Ministries
P.O. Box 779, New Albany
OH 43954, USA
GaryKeesee.com

This book is a free gift from Gary Keesee Ministries and is
NOT FOR SALE

**あなたのお金の革命
誠実さの力(日本語)**

著作権© ゲイリー・キージー2023

初版は英語で2015年に出版されました。

ISBN: 978-606-8993-80-5

すべての聖句はNew International Version(NIV)の聖書から引用しています。
著作権© Biblica, Inc. 1973, 1978, 1984 無断転載を禁じます。
アメリカで印刷されました。著作権法に基づき無断転載を禁じます。引用する内容
によっては著者が詳しく掲載していない場合もあります。

ゲイリー・キージーミニストリー

P.O. Box 779, New Albany

OH 43954, USA

GaryKeesee.com

この本はゲイリー・キージーミニストリーからのプレゼントであり、
販売されていません。

目次

序文	7
初めに	9
第1章:御国	17
第2章:夕もや	39
第3章:おお神よ、憐んで下さい!	45
第4章:大きな魚	63
第5章:誰の選択だったのか?	69
第6章:主からの祝福	91
第7章:扉	103
第8章:誠実さの力	109
第9章:あなたが与えるのです!	115
第10章:今、集まりなさい!	125
第11章:飛ぶことは歩くことよりも簡単である!	131

序文

私は、数年前から、神様がドレンダと私をこれまで導いて下さった過程を書き留めたいと願っていました。私たちの人生は劇的に変わりました！私たちは、イエス様が聖書の中でなされた全ての奇跡を目の当たりにしました。死人が生き返り、麻痺した人が起き上がって歩き、翌日には職場に戻っていきました。たくさんの人々が癒されました。そして、多くの人々の経済的な問題も解決されました。しかし、最もすばらしい奇跡は、私たちの家族に起きました。

私の目標は、私の人生が変えられたように、あなたの人生も変えられることです。この一冊に全てを書くことはできません。この本は、最初のシリーズであり、あなたをお金の革命へと導いて、神の御国の奥義を知る手助けをします。私にとって、この過程は楽しみであり、決して終わることのない旅路です。私たちはみな、学び続けます！御国の知識は計り知れません。

私は、神様に感謝しています。その方の憐れみは毎日注がれ、その方は忍耐深く赦して下さい、私たちを救いの道に導いて下さいます。私の妻ドレンダがいなかったら、あなたをこの旅路に招待することができなかつたでしょう。彼女の神様への心と、私への愛と忍耐によって、私は自分の弱さを見つめる勇気をもらい、私が長年求めてきた答えを神様から受け取ることができました。あなたと分かち合えることが、私の大きな喜びです。

あなたのお金の革命
誠実さの力



初めに

私のたましいは平安から遠のき、私はしあわせを失ってしまった。

-哀歌3:17

私は何かが間違っていると感じ、飛び起きました！とてつもない恐れによって起こされました。私は、自分の舌を感じる事ができませんでした。私の手、足、そして顔は麻痺していました。私はドレンダを起こし、状況を伝えようとしたのですが、顔と舌が思うように動きませんでした。彼女に説明しようとしているとき、私は心臓が苦しくなるのを感じました。彼女は起き上がり、私のために祈り始めました。ゆっくりと、その恐れが感情が薄れていきました。ドレンダが食事を運んでくると言うので、私はベッドに横たわりました。私は、自分の身体に何が起きているのかとこわくなり祈りました。発作が波のように押し寄せ、私はこれまで経験したことのない恐怖に包まれました。

借金によるお金への不安は毎日ありました。私は経済的な苦しさからくるストレスを数年間も抱えながら生活していました。私は、売り上げの手数料で給料をもらう仕事をしていましたが、生活ができないほどでした。私たちは、1800年代に建てられた家に住んでいましたが、建てられて以来、一度も修理されたことのないような家でした。もちろん、私は少し大袈裟に言っていますが、その家の状態は決して良くはありませんでした。雑草は生い茂り、リビングの窓から家の中に入ってきました。

窓ガラスが割れていたので、私たちは段ボールをテープでとめて使っていました。そのような状態であっても、ドレンダは我が家のようにしてくれました。しかし、彼女にすばらしいスキルがあっても、家に深刻な問題があることに変わりはありませんでした。

私たちが持っていたもの全てが壊れていました！私たちの車は、古すぎて動き出すまで時間がかかりました。息子たちは、病院で廃棄されるはずだったマットレスをもらってきて寝ていました。寝室の絨毯は、道端に捨てられていたものでした。私たちは、いつも誰かに助けを求めながら生きていました。私たちは、

毎日を生き延びるのに必死で、何か売れそうなものはないかと見渡し、明日はましになるだろうと思いながら生きていました。

私のクレジットカードは数ヶ月前に止められ、3つの金融会社の利子は28%に上がりました。私の車の支払い（はい、その古い車です）は、支払い期限から120日も過ぎ、差し押さえられようとしていました。すべての支払いが遅れていました。判決や先取特権が申し立てられ、取り立ての電話に毎朝起こされました。私は、国税庁のお金を所有していたので、国税庁は私に対して裏金の先取特権を申請しました。ドレンダと私は、両親から260万円を借りていたので、両親もこれ以上私たちを助けることが難しくなりました。私たちの冷蔵庫が食材で満ちることはありませんでした。電気も頻繁に止められました。そんな中、私はついに感情の糸が切れてしまったのです。

私の身体はストレスによって壊れ始めました。病院に行くと、医者はパニック障害と診断し、私に抗うつ薬を処方しました。このパニック障害は、私が家を出ようとするとき激しく襲ってきました。この恐れから解放されようと、甘い食べ物やカフェインを摂取しましたが、パニック障害はさらにひどくなりました。だから、私は何を食べても不安になり、食べる物に対しても神経質になりました。私は、働くことができない状態になり、当然ながら経済的な苦しさは増していきました。

私の妻は、夫を失ってしまうと思い、私が癒された後に聞いたことですが、彼女は子供たちを養うために計画を立てていました。私は、自分が何と戦っているのかわからなかったので、神様に答えを求めて叫びました。医者は、私は一生薬を飲みながら生活しなければならないと言いました。他の医者は、私が糖尿病であり、年を老いていくごとにさらに深刻になると言いました。

私はクリスチャンでしたが、霊的な戦いや悪霊と戦うことについての知識はありませんでした。このときでさえも、私が悪霊と戦っているとは思ってもみませんでした。私はただ、身体が体調不良を訴えていると思い、神様に癒しを求めました。クリスチャンとして、神様が答えであることは知っていましたが、このときは神様がとても遠くに感じられました。医者たちは、様々な病名を告げ、精神からくるものだから、薬を手放すことはできないと言いました。治るものではなく、薬を飲んで精神を安定させなければならなかったのです。薬による副作用もありましたが、薬は全く助けになりませんでした。それどころか、更なる症状が加わることになりました。私が抑えることのできない恐れと感情から目をそらすように、薬で感情を鈍化させました。私に答えはありませんでした。何も助けになりませんでした。これは数週間ほど続き、恐怖は私の命を奪おうとしていました。

ある日の夜、私が神様に答えを求めていると、打ち破りが起こりました。私は自由への鍵を見つけたのです。私は、母教会の水曜礼拝に参加していました。賛美の最中、私にパニック障害が

訪れました。どうしていいかわかりませんでした。私は祈りが必要だと感じ、必死に最前列の方に向かいました。私が礼拝の邪魔になっていたことはわかりましたが、それを気にする余裕はありませんでした。私は、大きな教会に属していたので、牧師は私のことを知りませんが、教会のスタッフの一人が私のことを知っていました。私がステージの上に這いあがろうとすると、周りにいた人々が止めに来て、すべての人の視線が私に向けられました。私を知っているスタッフが私に気づき、すぐに牧師の元に行って私について説明しました。

彼が牧師に話しているとき、牧師の表情が柔らかくなっていくのが見えました。彼は私のところに来て祈ってくれました。私の友人は、牧師に私が病気であることを伝えました。牧師は私を見て言いました。“彼には病弱の霊がいます。”そして、牧師は私の頭に手を置き、悪霊に出ていくよう命じました。次の瞬間、信じられないことが起きました。私は自由になったのです。数ヶ月ぶりに恐れを感じることなく、深い平安を感じました。そのときの気持ちを感謝という言葉では表せません。嬉しかったという言葉では足りません。私の心は羽のように軽くなり、完全なる喜びに満たされました。

礼拝の後、数人の友人たちと私たち夫婦はピザハットに行き、お祝いをしました。私が座ってピザを食べ始めたとき、あの恐怖の感情は再び戻ってきて、私を包みこみました。このとき、これが悪霊であることがわかりました。牧師はこれを病弱の霊と呼びましたが、私はどういう意味なのかわからず少し混乱しました。私は、礼拝中に癒されたと思っていましたが、癒されてなかったのです。

翌日、私は再びパニック障害と戦っていました。しかし、私は前日に経験した教会での出来事を忘れることができませんでした。牧師が私のために祈ったとき、私が癒されるようにとは祈りませんでした。彼は、悪霊に対して権威をもって命じました。私は、自分の体調不良が病気ではなく、悪霊による仕業かも知れないと感じ始めました。（私はそのくらい未熟なクリスチャンだったのです。）このとき、霊的な戦いについての知識はほとんどありませんでしたが、悪霊の存在は知っていました。私が見たことがあるからです。

10代の頃、私は両親が経営していた二つのピザ屋のうちの一つを受け持っていました。ある晩のこと、ある地域教会で行われるリバイバル集会の担当者がピザ屋に来ました。彼は、私も参加するように誘ってくれました。彼は去り際にこう言いました。“イエス様は、聖書の中で行われたことを今も行っておられるよ。”その言葉は私の心を掴みました。私は幼い頃から教会に通っていました。私は小学5年生のとき、夏休みの聖書学校で主に心を捧げました。しかし、私はそれまで誰かが癒されるような神様の力を見たことがありませんでした。この男性の言葉は明ら

かに今までとは違うものでした。イエス様は、今も聖書の中の奇跡を行われるのか？私は、彼の話していることに興味を持ちました。私の従業員たちもその教会に通っていたので、私は勇気を出して参加することにしました。

集会の初めの夜、私はこれまで経験したことの無い神様の臨在を感じました。私は本当にその方の臨在を感じる事ができました。メッセージはとても力強く、彼はイエス様に自分を捧げたい人はいるかと聞いたので、私は手を挙げました。なんてすばらしい夜でしょうか！

私はとても興奮しました。そしてすべての人に神様のすばらしさを伝えたいと思いました。らしい夜でしょうか！私はとても興奮しました。そしてすべての人に神様のすばらしさを伝えたいと思いました。

当時は、インターネットやCD、カセットテープではなく、テレビも3つのチャンネルしかありませんでした。私の住んでいた町は小さかったので、それほどすることもありませんでした。だから若者はピザ屋に集まって遊ぶというのがお決まりでした。金曜日と土曜日は午前1時に店を閉めるので、駐車場は多くの若者で溢れかえっていました。ピザを食べに来る客が車を停めることができないので、私は何度も若者たちに場所を移すように頼んだこともあります。彼らの喧嘩が始まり、警察が来て彼らを家に帰したことも一度や二度ではありません。しかし、今はわかります。この若者たちはイエス様について聞く必要がありました。そこで、私は彼らに店を閉めたあと、興味があるなら聖書勉強をしようと呼びかけました。店を閉めてから掃除をする必要があったので、集まりは午前1時30分以降になります。私は、誰も来ないのではないかと不安になりましたが、数名の若者が集まり、私の従業員も何人か残りました。集まりの初日に、ひとりの青年がイエス様に仕えたいと言って、何をすべきかを聞いてきました。集まりをもったのはいいけれど、私はそこまで考えていませんでした。私は、聖書についての知識が全くなく、いくつかの聖句を知っているだけでした。

しかし、主の名を呼ぶ者は、みな救われる。

-使徒2:21

とても単純なことだと思えたので、私は受け入れの祈りに導くことを決めました。

彼の友人たちは、彼がこの質問をしたとき去って行ったので、私は彼を座らせてイエス様の御名を呼ぶことを勧めました。私は簡単なことだと思いましたが、彼は座ったまま口を開きませんでした。私は、彼が私の言葉を聞き逃したのかと思い、もう一度伝えました。しかし、彼は口を開きません。

私が見ると、彼は震えていました。もう一つ気づいたことは、彼はその御名を呼びたいのに呼べないということです。突然、彼は詰まっていたものを吐き出すように、イエス様の御名を口に出しました。そのとき、彼の顔は平安で満たされました。良かった、うまくいきました！そ

れからは、誰かがイエス様に自分の心を捧げたいと言うと、私はこのやり方で彼らを導きました。彼らを椅子に座らせ、イエス様の御名を呼ばせるのです。例外なくほぼすべての人が、初めはその御名を口に出すことができません。彼らは震え始め、呼びたいのに呼べない難しさを感じ、突然吐き出すかのようにその御名を呼び、そして平安が訪れます。

ある日、私が店の裏の部屋で生地をこねていると、ドアをノックする音が聞こえました。私がドアを開けると、以前イエス様について話した二人の若者が立っていました。彼らを部屋の中に招き入れると、一人の若者が神様に心を捧げたいと言いました。そこで私が彼を座らせると、彼は震え始め、そしてイエス様の御名を呼びました。私が顔を上げると、もう一人の若者は私から逃げるように部屋の隅に体を寄せて、捕獲された動物のように私を見ていました。彼は私から逃げるために壁を掘っていました。それはとても奇妙な光景で、説明のしようがありません。

私が立って彼を見つめていると、突然このような思いが浮かびました。“もしかしたら悪霊かも知れない。”私は、悪霊に関する知識はありませんでしたが、聖書で読んだことはあります。この奇妙な行動を悪霊以外のものとして解釈することは不可能でした。私は言いました。“イエス様、これは悪霊でしょうか？”すぐに、私の覆いが取れて、私はこの若者についている悪霊を見ました。その悪霊の背は高く、この若者を足で抑えつけていました。よく人に聞かれるのが、“どういう姿でしたか？”です。それは猿のようですが、違います。猿のように毛深く、猿のような長い腕ですが、目は赤く、とても醜い姿です。私がこの目を見たとき、実際に大声で叫びました。

この目から放たれる憎しみは、私が耐えられないほどのものでした。これについて定義するとしたら、その目は憎悪の液体であり、目に見えるような憎悪を滲ませているというのが最も近い表現でしょう。その目は私を憎んでいただけでなく、私に対して強い怒りを向けていました。

どうすれば良いのでしょうか？私はこの目を見てからどうすれば良いのかわからなくなりました。

しかし、もしイエス様の御名に私たちを救う力があるなら、この悪霊に対しても力強い権威があるはずだと思い、大きな声で言いました。“イエス様の御名によって。”するとそれはすぐに消え、テレビを消すと画面からゆっくり画像が消えていくように、消えていきました。私にはもう見えません。しかし、うっすらと影の中に見えました。その直後、この若者は急いで建物から走って出て行きました。

そうです、悪霊が実在することは知っていました。私は、自分の体調不良の背後にも悪霊の存在があったことにもっと早く気づけていたら、と思ったことがあります。しかし、それはすぐには起きませんでした。悲しいですが、私はこんなに長い間教会に通っていても、私がキリストの中でどういう存在なのかを学んだこともなければ、悪霊に立ち向かう権利についても聞いたことがありませんでした。しかし今、私は悪霊に立ち向かうことを学び、どのように打ち勝つのかを学ぶ機会が与えられたことは励みになりました。私は、悪霊が私の権威に反応して答えるべきであることは知っていましたが、何もなかったので混乱しました。数日後、私の問題は悪霊によるものであると確信する出来事がありました。

私は寝室で祈りながら、求めている答えを受けるためには、もっと祈りの時間を作る必要があると感じました。祈っていると、私は突然解放を感じ、牧師が祈ってくれた後自由になったときと同じ自由を得たと感じました。それが戻って来るまでの2時間ほど、私は自由でした。しかし、その日私は祈りに反応したことを見て、これは完全に悪霊の仕業であると確信しました。

私は再び祈り始めました。霊的な戦いについての聖句を手当たり次第に読みながら、私がキリストの中でどういう存在なのかを宣言しました。けれども、それはなくなりません。一度だけ、私の権威に悪霊が反応を示したことがあり、私はどうして良いかわからず混乱し、主に聞きました。私は完全に自由になることがなくても、パニック障害や麻痺の症状は消えていきました。すでに勝利を味わっていました。私はまだ不安や憂鬱な感情と戦っていましたが、私は強くなることを知り、自信を持っていました。私は、毎日聖書が教えるキリストの中での私たちの権威について黙想しました。

ある日のこと、私は自分の事務所で働いているときにいつもの症状に襲われました。私は、恐れ of 霊を叱りつけ、出ていけと命じましたが効果はありませんでした。突然、私は主の御声を聞きました。その方は、悪霊に出ていくように命じるとき、大きな声で権威を持って命じることを示して下さいました。そして、私が霊的な権威を見る目が変わるきっかけとなることを示されました。それは、命じるときに自分が置かれている状況を見るのではなく、御言葉に立つことでした。私は仕事で、周りに従業員もいる中、突然大声で叱りつけることはできませんでした。私は立ち上がりトイレに行って、大きな声で言いました。“イエス様の御名によって恐れ of 霊を縛る。お前が私にしていることは不法である。イエス様の御名によって今すぐ出ていけ。”何の変化もありませんでした。しかし、私は主が言われたことを心に留め、状況を見ないようにしました。私は、悪霊に対して私に与えて下さった権威に感謝し、自由になったことを信じて神様を賛美しました。私は、事務所に戻り、仕事を続けました。私が座って働いている間も、何の変化も感じられませんでした。恐怖に襲われる度に私は自由になったことに感謝しました。

私がおのあと仕事をしていると、突然、神様の臨在が私を包み込み、悪霊が去って行ったのがわかりました。

私は自由になったのです！

恐れ of 霊は去り、もしまた戻ってきたとしても、私はどのように対処すれば良いのかを学びました。私は嬉しくなりました！妻に電話をかけて起きたことを話しました。彼女はすぐに職場にやってきました、私たちは共に中華を食べながらお祝いしました（中華は大好きです）。私はその日から、何度も恐れ of 霊に立ち向かう必要がありました。恐れ of 霊は私を諦めなかったからです。悪霊が去ったあとも、経済的な問題はそのまま残っていました。経済的な問題にぶつかる度に、恐れ of 霊は私を苦しめました。私はどのように平安を保つのかを学ぶ必要がありました。

他にも私たちが戦うべき戦いがたくさんあることを知っています。私はまだ御国について学ぶことがたくさん残っていますが、なぜ私がこの話をあなたにしているのかというと、経済的なストレスがもたらす恐れを理解しているからです。

私は、あなたの苦しみを経験してきたことを伝えたいです。

ですから、あなたが今どのような苦しい状況に置かれているとして

も、希望があります。私は、もっと早く神の御国について知りたかったと思っています。ドレンダと私が9年間も経済的に苦しい生活をする必要がなかったことを思うと悲しくなります！

経済的な問題の根本を知り、取り除く必要がありました。残念ながら、私たちはそれを知らずに生きてきました。私たちは9年間、どうにかこの生活から抜け出したいと思っていましたが、屈辱的な出来事ばかり経験しました。しかし、今はあまり思い出せません。私の妻を祝福します！彼女はその苦しみの中、私たちを一つにしてくれました。だから今、私は可能な限り彼女に恩返しをしています。

主は私に悪霊にどのように命じるのかを教えて下さったように、経済的な問題を霊的な視点から見ることを教えて下さいました。神様がドレンダと私に教えて下さったことは、私たちの人生を劇的に変えることになったので、私は他の人々も同じ原則を見つけられるように助けになりたいと願っています。

ドレンダと私は、借金だらけでしたが、今は現金で車を買ひ、現金で夢のような家を買ひ、いくつもの会社を始め、そして‘お金のことを修復する’と名付けたテレビ番組を作りました。ドレンダは、‘ドレンダTV’という番組をABCファミリーネットワークで作ひ、毎週多くの家族や女性を励ましています。私たちは、神様にFaith Life Churchを開拓するために導かれたことを感じ、そこで何千人もの人々に神の御国について教えています。この原稿を書いている時点では、テレビを放送するだけで月に3,000万円以上かかります。これからこの本で学びますが、もし、神様が私たちに教えて下さらなかったならば、これらのことは決して起こらなかったでしょう。私は、あなたにこの本をただのお金に関する本として読んでほしくありません。これは、貯金の仕方についての本ではありません。もちろん、貯金することは必要であり重要です。これは、“少ない給料”の中でどのように生活するかについての本ではありません。

そうではなく、これは、革命の本であり、暗闇の世界に立ち向かって貧困の霊を打ち砕く本です。新しい人生を始める本です。私の答えは、経済的な助言ではありませんでした。私が見つけたことは、完全な経済的革命だったのです。

経済的な革命です！

第1章

御国

私の人生が恐れによってどのように消耗されたかについて話しました。ですから、私は、この旅路を共にするにあたって、本当に必要な一つの声明を發表したいと思います。

恐れと共に生きることを学んではならない！恐れは、混乱、憂鬱、そして人々の人生を壊してきた様々な悪霊の影響を受ける扉を開くのです。私は、経済的なトラウマは簡単に人々の人生に恐れを植え付けると信じています。私は、34年間、たくさんの人々の経済的な問題の解決を助けてきました。そこから見えてきたものは、経済的な苦しみを経験したのは、私だけではなかったということです。

実際に調査したところ、アメリカ人の23%は借金返済の期限を守ることができずにいます。その数は国民の4分の1です！人口の6分の1に当たる4,700万人が食料費補助を利用しており、10世帯のうち8世帯が、給料日までギリギリの生活をしています。私はアメリカが抱えている決して返済できない18兆ドルの借金については触れません。また、その費用を賄うための資金調達メカニズムがないまま、アメリカが自らに課している120兆ドル相当の金融債務についても触れないことにします。

私たちは、深刻な経済的問題を抱えている国で生活しています！私が発見したことは、解決することのできない経済的問題と経済的なストレスは、私たちの人生に恐れを生み出すということです。

しかし、答えはあります！あなたは自由になることができます！聖書はこのことについて明確に教えています。イエスは、貧しい人に良い知らせを伝えるために来られました！

神である主の霊が、わたしの上にある。主はわたしに油をそそぎ、貧しい者に良い知らせを伝え・・・

貧しい人への良い知らせとは何でしょうか？それは、自由になれるということです！今、あなたはそれがどのように起こるのか想像すらできないかも知れません。私も、希望がなく絶望を感じたことがありました。1万円があればどんなに良いだろうかと考えたことが何度もあります。人々はそれを聞いて笑いましたが、私は悲しみの中にいました。9年の間、

**“神である主の霊
が、わたしの上にあ
る。主はわたしに
油をそそぎ、貧しい
者に良い知らせを
伝え”**

-イザヤ61:1

私の精神も壊れていきました。経済的な問題は、私たちのすべての良いものを奪っていきます。その頃の家での自分の姿を振り返ると、恥ずかしくなります。私が仕事から帰ると、子どもたちが走って私の元に寄ってきました。そのときに撮った映像を見返すと、子どもたちが私の手を握って、“お父さん、おかえり！”と迎えてくれるのに、私は子どもたちに反応することなく、笑顔もありません。私は、あまりにもストレスを感じて落胆していたので、何が重要なのかを心に留める余裕がありませんでした。

私の姿を見ていると、水泳教室で学んだことを思い出しました。

もし、誰かが溺れて助けを求めて叫んでいたら、気をつけなければならないと教わりました。なぜでしょうか？なぜなら、彼らは生きるために必死にもがいているから、気づかずにあなたのことを沈めてしまう可能性があるからです。映像に映っていた私は、感情がなくなった動いているゾンビのようでした。夫として、私は失格でした。父親として、私は失格でした。大黒柱として、私は失格でした。私の人生は、毎日無感情で、希望のない憂鬱な日々を繰り返してました。

当時オハイオ州のコロンバスは、住宅ブームでした。家の土地の値段は上がり、住宅ブームもあって、数年連続で住宅パレードが行われていたほどです。これを知らない人のために説明しましょう。住宅パレードは、いくつものグループによって行われていました。異なる建築家が建てた家々、異なる空間、間取り、新しいタイプの住宅などが並べられました。人々にとっては大きな行事だったので、何千人もの人々が楽しんでいました。しかし、私は住宅パレードを恐れていました。貧しい生活をしてきた私たちだったので、私はドレンダが行って新しい家々を見るのが嫌だったのです。私は、すでに貧しさからくる苦しみを知っていたので、彼女が行って、自分の環境がどれほど悪いのかを知るようになるのが嫌でした。今思うと、それが愚かな考えだとわかりますが、そのときは本気でした。私は、彼女が行くと、家が欲しくなると思ったのです。だから数年間も、“行くな！”と言っていました。ある年、私たちはパレードに行くことにしました。

美しい家々が並んでいました。それらを見ていると、私たちの住んでいる家は、今にも壊されるのを待っている廃墟のようでした。私たちが家々を見ていると、突然ドレンダの姿が見当たらないことに気がつきました。私が辺りを見渡して妻を探すと、彼女は私たちが通り過ぎたはずの家をまだ見ていました。彼女の頬には涙が流れていました。私は彼女のところに戻り、“どうしたの？”と聞きました。私は涙の理由を知らないふりをして聞きました。彼女は私を見て言いました。

“私はいつになったら家を持つことができますか？”私は答えました。“家？この家？これらはみな、5,000万から7,000万円もするよ。”私は、私たちの住んでいる古い家に月々支払う3万も支払えずにいる状況でした。とても悲しいことですが、私は妻に希望を捨てるように言いました。恐れと挫折が私を覆いました。これは本来の私の姿ではない。私の喜びと幸せはどこに行ってしまったのか？私は、自分の経済的なストレスがなくなるとは夢にも思いませんでした。

午前2、3時でしたが、私は眠れませんでした。針で私の顔を刺すような痛みが走り、私は痛みが消えることを切実に願っていました。36時間前に、私は細菌感染した歯根の治療をしたので、顔が風船のように膨らんでいました。信じられないような痛みでした。私は4時間おきに鎮痛薬を服用しましたが、あまり効果は感じられませんでした。私は眠れずにリビングに行き、鎮痛薬を飲もうとして、薬の使用方法を見ました。使用方法がわからなかったのではなく、ただ暇だったからです。興味があったわけではなく、ただ読んでみただけです。そう、4時間おきに2錠、あれ？1日に10錠以上を服用してはならない？私はこの2日間で服用した錠剤の数を数えながら、10錠をはるかに超えていることに気づき、激しい恐怖に襲われました。

9年間も、食べ物に困り、夫として失格、父親として失格、大黒柱としても失格だった私は、精神的衰弱に陥っていました。医者は、薬の量を増やして私を助けようとしてくれました。しかし、何も助けになりませんでした。激しい歯痛を伴いながら座っていると、2日間寝れなかったこと、そして激しい痛みのせいで眠ることができない苦しさが残りました。鎮痛剤の使用方法を見たことで、薬の過剰摂取による副作用の心配も追加されました。鎮痛剤の過剰摂取による症状については無知でしたが、薬局で誰でも買える薬なので、そこまでひどくはないだろうと思いました。私は、ただ注意事項として書かなければならないから書かれていると思いました。2錠を多めに服用することで、それほど大きな問題にはならないだろうと思っていました。しかし、恐れは、私に“もしも”の妄想を発動させました。私は、自分を安心させるために米国中毒相談センターに電話をかけました。あまり心配する必要はないという言葉を書くために電話をかけました。

電話に出た女性は専門家のような様子でした。彼女はどうかと私に聞いたので、私は36時間も鎮痛剤を服用したこと、1日に10錠ではなく12錠を服用したことを伝えました。私は、2錠多く服用したからといって、それほど大きな問題にはならないのではないかと聞きました。少しの間があり、パソコンのキーボードを打つ音が聞こえました。彼女が私に言った言葉をそのまま書きます。“あの、私たちはこれほどの量の鎮痛剤を服用したケースを見たことがありません。”聞き間違えたのか？そんなはずはない！私は、24時間を超えて服用してはいけないものを2日間服用したこと、1日に10錠以上服用してはならないものを、2錠多く服用してしまったことを、もう一度ゆっくり彼女に伝えました。

彼女は今度は低めの声で言いました。“もう一度言いますが、私たちはこれほどの量の鎮痛剤を服用したケースをこれまで見たことがありません。今すぐ、救急車を呼んで下さい！”私は彼女が何かを勘違いしていると思い、何度も説明しようとしてきましたが、彼女は、“自分で運転して病院に行けますか？それとも、私が救急車を手配しましょうか？”

と聞くばかりでした。私は衝撃を受けました!“私が運転して行きます。”と小さな声で答えました。“どこの病院に行きますか?”と聞かれました。私が病院名を伝えると、彼女は電話を切りました。

私はその場に立ち尽くしていました。私は、その日の朝9時に、とても重要な会議を控えていましたが、そのときの時刻はすでに午前3時30分でした。私は寝室に行ってドレンダを起こし、一部始終を話しました。彼女は私を同情の目で見つめました。彼女の夫は何ヶ月もの間落ち着きのない行動をしていて、彼女はその間、家庭を守ることに全力を注いできましたが、今度は何でしょう?妻は、“ゲイリー、たった2錠を多く服用しただけよ。それだけで問題になるとは思えないわ。もう一度かけ直してみたら?”と言いました。しかし、私は恐怖に包まれていました。“電話に出た女性は、私が死ぬかも知れないと言っていた。今すぐ病院に行かなければならない。”私が寝室から出るとき、“冗談よね?”という心が妻の目から読み取れました。

私が病院に着くと、救急棟の入り口には白衣を着た2人の男性が立っていました。私が車を停めると、彼らは私の元に来て、“あなたがゲイリー・キージーですか?”と聞きました。彼らは急いで私を診察室に連れて行きました。私が診察室に着くと、救急患者の名前が書いてあるボードには、すでに私の名前が書かれていました。“ゲイリー・キージー、過剰摂取”とあり、信じられませんでした。話を省略すると、血液検査を終えて医者が入ってきて言いました。“どうしてここにいるのですか?検査の結果、何も問題は見られませんでした。”私が、中毒相談センターに連絡して、ここに至るまでの経緯を説明すると、医者は笑いました。私にとっては、全く面白いと思えなかったし、後日郵便で20万円の支払い要請のはがきが届いたことは、全く面白くありませんでした。悪魔は、またしても私から盗んだのです。

私がこの話をあなたにしているのは、私が神の御国を見つけるまでは、このような生き方をしていたことを知ってほしいからです。そうです、私はクリスチャンでした。はい、十分の一献金もしていました。はい、教会で賛美を導いたこともあります。はい、神様を愛していました。しかし、何かが本当に間違っていました!私は、神様がどのように悪霊と戦うのかについて教えて下さり、パニック障害や恐れから自由になったのかを冒頭で話しました。しかし、私はまだ苦しい経済的な状況から自由になる方法を知りませんでした!

私はいまだに毎日お金のことでプレッシャーを感じており、それに加えて10枚の止められたクレジットカード、3つの金融会社の融資、国税庁の借金、親戚から借りたお金、そしてたくさんの判決と先取特権がありました。

すでに話したように、私たちの経済的な状況は最悪でした。ストレスと不安定な感情は毎日私につきまといました。クリスチャンであったにもかかわらず、私たちは経済的に死んでいき、一つ一つ持っているクレジットカードは止められました。判決の用紙は送られ、信用は失われ、そして取り立ての電話が鳴り響きました。最悪な状況のクライマックスは、私の少ない収入がさらに減ってしまったことで、食べ物を買うお金もなくなったときです。私たち家族は、一つの部屋に集まり、木を燃やして暖まるストーブの周りで過ごしました。なぜなら、燃料を使うお金もなかったからです。私たちはテーブルの下やソファの間にお金落ちていないか探しながら、もしかしたらマクドナルドの割引サービ

スの時間帯に子どもたちに食べ物を買ってあげられるお金が見つかるのではないかと期待しました。

私は、取り立ての電話に出ると、うまく話をつける自信がりましたが、ある日、私の滞納口座の一つが、私の口座を回収するために弁護士を雇いました。この男性は電話越しで機械のように淡々と話しています。彼はこう言いました。“3日以内にお金を用意することができなかつたら、私は依頼人に代わって、あなたに対して訴訟を起こします。”すべてが終わりました。私には選択肢選がありませんでした。信用も失っていました。私はすでに知っている人に今まで助けを求めて来たので、すべてが終わったことがわかる瞬間でした。私は寝室に行き、神様に向かって泣き叫びました。すぐに、私は主の御声を聞きました。何度も聞いたことのある聖句が浮かびました。

また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてください。

-ペリピ4:19

私は主に、この聖句を知っていることを伝えましたが、私の必要はまだ満たされていませんでした！主はすぐに答えて下さいました。“そうだ、しかしそれはわたしのせいではない。あなたはわたしの国がどのように機能するのかをまだ学んでいないのだ。わたしの教会のほとんどは、旧約聖書のイスラエルの民が奴隷として生きていたように生きている。彼らは、借金の生活をし、経済的に縛られて生活している。わたしは彼らを自由にしたい。”

私はすぐに階段を降りて行き、ドレンダに主が語られたことを伝えました。私は、彼女の前で、神様を見上げず御国がどのように働くのかを学ばなかったことを悔い改めました。正直なところ、主が御国の機能について語られたとき、私はそれがどういう意味なのかさえもわかりませんでした。なぜなら、私たちは教会に通っていたし、しっかりと十分の一献金を捧げていたし、そして神様を愛していたからです。私たちは、すでに御国の心得を持っていると思っていました。しかし、これは、私が天国に行く道とは関係なく、天国の権威と力を、どのように私の現実の状況に持つて来ることができるのか、という問題でした。そこで、私たちは聖書を勉強し始め、神様が言われた御国の意味を学ぶことにしました。私たちが学んだことは衝撃的でした！暗い部屋に明かりをつけたような感覚でした。私たちの経済的な問題への答えを初めて見つけたのです！

神様、あなたが言われた御国はどういう意味でしょうか？

神様が、私はこれまで御国の機能について学んだことがないと言われたとき、私は混乱しました。御国？ドレンダと私は全くわかりませんでした。私たちが祈り、その意味を知りたいと求めました。“主よ、あなたが言われた御国について教えて下さい！”私はまず、御国が何なのかを学ぶ必要がありました。これは、自由の国アメリカにいる私たちにとって、理解し難いものであると思います。神の御国は、民主主義ではありません。王が治める王国です。王の権威は国々のすべての上にあ

り、その権威の下に様々な機関があつて、人々はみな権威の下で動いています。

群衆がいるから王国なのではありません。たとえある人が数百万人の群衆を率いているとしても、それが王国とは限りません。王国は、人々が統治や法律のもとで、共存しているところです。王国の定義を辞書で調べると、“王や女王を君主とする国”です。

私たちは、イエス様がクリスマスに來られたことを祝いはしますが、イエス様の統治についてはあまり理解していません。聖書はイザヤ9：6-7でこう言っています。

ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は、「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。その主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に着いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これをささえる。今より、とこしえまで。万軍の主の熱心がこれを成し遂げる。

イエス様は、この主権の君主であり、私たちがイエス様を救い主として受け入れるとき、私たちはその主権の中で国民になるのです。国民になるだけでなく、神様の子どもになる特権が与えられます。

しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。

-ヨハネ1:12-13

こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同じ国民であり、神の家族なのです。

-エペソ2:19

神の家族の一員として、私たちは神様が持つておられるものを相続することができます。また、私たちはその方のすばらしい御国の国民になることができます。それは、私たちがその統治の下で権利と利益を享受することができるという意味です。もう少し理解しやすいように、アメリカ国民であることを例にしてみます。アメリカの国民として、あなたには法的権利があります。あなたの権利は、アメリカ国内で認められています。これらの法と利益は、すべての国民に与えられています。この法的権利は、頭の良さや感情によって与えられるものではありません。そうではなく、この権利は、法によって決められ、アメリカの国民であるならば、誰でも受け取ることができます。ある国民は、自分に法的権利があることを知らないかもしれませんが、アメリカの国籍を持っている国民であるなら、その人には法的権利があるのです。

ここで、考えてみる必要があります。そして、あなたの神様に対しての見方と、神様からどのように受け取るかについての考え方が変わることを願っています。ここアメリカでは、もし誰かがある人の法的権利

を奪おうとしたり、ある人が不当な扱いを受けたりしたら、法的に解決することができます。そうすることで、自分の法的権利を守ります。法廷に行くと、裁判官は私たちの外見やお金持ちかどうかを目を向けません。裁判官は、法律に目を向けます。彼は、常に法律と照らし合わせます。これが私たちを守るのです。私たちに権利があるので、アメリカで何か違法なことがあると、法律によってさばき、人々の権利を守るのです。このことを念頭におき、イザヤ9章に書いてある主権を見てみましょう。

ダビデの王座に着いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これをささえる。

-イザヤ9:7

この聖句は、神の御国は、神様の原理のもと、正義によって建てられると言っています。管理とは、あなたの法的権利を行使する過程を意味します。あなたの法的権利とは、神様が正義と言われるもの、あるいはその方の原理に基づくものです。御国の国民になるということは、あなたが正義を知り、それを行うことで、神様があなたに与えると約束されたものを受け取る権利があるということです。神様の御心は、その方の御言葉、聖書を通して知ることができ、御国における私たちの権利についても知ることができます。これは良い知らせです！聖書に書かれているすべての約束は、御国の国民になったと同時に、すでにあなたのものなのです！

2コリント1:20には、明確に神様の約束について“しかり”と“アーメン”と書いてあります。すでにあなたのものなのです。

神の約束はことごとく、この方において「しかり。」となりました。それで私たちは、この方によって「アーメン。」と言い、神に栄光を帰するのです。

-2コリント1:20

神の御国の土台は、正義と義です。これは揺れ動くことはありません。だからこのように考えて下さい。もし、私が神の御国の原理（神様の御心）を知っているなら、私は正義を知っており、その原理が教えていることを行い、そして恐れず大胆になれるのです。

何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるということ、これこそ神に対する私たちの確信です。私たちの願う事を神が聞いてくださると知れば、神に願ったその事は、すでにかなえられたと知るので。

-1ヨハネ5:14-15

ここに書いてあるのは、神様はただ私たちの願いが聞こえるのではなく、私たちの願いをかなえて下さるという意味です。裁判官は、ただ聞くだけでなく、聞いて正しく裁きます。法廷と裁判官は、すべての国民のために正義をもって裁きます。裁判官は、自分の感情で裁くのではなく、法的に正しく裁きます。裁判官は、正義を確かなものにするため

にいます。神様の場合、イエス様のもとに来るすべての人々のために、その方の御座（権威の座）とその方の御力は、正義を確かなものにします。

もう一度、ゆっくりとこの声明を読んで、あなたの神様に対する見方に目を留めて下さい。多くの人々は、神様は状況に応じてその方の決断を下されると考えますが、そうではありません。

御国は原理によって動かされ、原理は変わることがありません。

その方は、神の御国の王様であり、その原理は変わることがありません。その方は、その原理から外れて決断を下されたり、決断を変えられることはありません。ですから、私たちはその方の答えを聞く前に答えを知ることができ、その原理を守っていくための力を得ることができるのです。

ドレンダと私が御国の中での法的権利について学び始めたとき、私たちの神様や聖書への考え方が劇的に変わりました。その結果、私たちの人生が変わりました。

もう物乞いすることはありませんでした。私たちは、神様が言われたことは、その方の御国の中ですでに私たちに与えられていることを学んだのです。私たちは、ただすでに与えられているものを、どのようにして私たちの現実の生活に持ってくるのかを学び続ける必要がありました。小切手を現金に変えることを考えて下さい。あなたが多額の金額の小切手を持っていたとしても、それを現金に変えるためには、法的な過程を通らなくてはなりません。それが、すでに自分のものだとしても、手に入れるためには、法的な過程を通らなければならないのです。

というのは、私たちをご自身の栄光と徳によってお召しになった方を私たちが知ったことによって、主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔に関するすべてのことを私たちに与えるからです。

-2ペテロ1:3

これが神の御国です！御国の国民であるならば、誰でも同じ権利を持っています。このことを理解する必要があります。御国は、原理によって動かされ、原理は変わることがありません。なぜこれが重要なのでしょうか？もし、御国が変わらない原理によって動かされているなら、一人一人の意見は重要でなくなります。その代わりに、御国にいるすべての人が、同じ権利のもと、御国で楽しむことができるのです。

教会の中では、このことが少し複雑になります。

ほとんどのクリスチャンは、神様が好きなように人間の人生を操ることができると考えています。言い換えるなら、神様は好きなようにある人を祝福し、ある人を祝福しないと考えます。彼らは、神様は好きなように人々の人生に問題を送ると考えています。彼らは、神様はある人を癒し、またある人は癒されないと考えます。ほとんどのクリスチャンは、神様がすでに与えて下さっているものを与えてほしいと求めています。

その方は御国を与えられたのです。御国のすべてをです！

神様が私の経済的な問題について話されたとき、私は御国について

学ぶ必要がありました。そして、この聖句を与えて下さいました。

貧しい者は幸いです。神の国はあなたがたのものですから。

—ルカ6:20

神様は、私の経済的な問題の答えは、その方の御国にあると言われ、御国の原理を知ってイエス様がこの地上でなさったように行なうなら、解決すると言われました。私は、最初それがどういう意味なのかわかりませんでした。しかし、神様が言われたことを考えていると、御国は原理によって動いていることがわかりました。原理のあり方や、そこから来る影響は、毎回同じです。なぜなら、原理は変わらないからです。私は、これを霊的に考えてみたことはありませんでした。しかし、もし現実の世の原理がそのように機能するなら、それは霊的な世界でも同じように機能することを知り、私は神の御国の原理を学んで適用し、そして私の人生においてそれらに伴う利益を享受したいと思うようになりました。

私は、この世の原理は変わらないことを学びました。その絶え間ない不変の機能は、誰かを月に送ることも、飛行機を飛ばすこともできます。しかし、ほとんどのクリスチャンは、この理解をもって神様に近づこうとはしません。代わりに、何か必要なものがあるとき、神様に物乞いをし、泣き叫びながら、神様の御心をどうか自分のために変えてみようとしします。

例えば、もし私がある集会の講師として呼ばれたとして、その集会に参加する人々は、その集会で電気がつくことを必死に祈るでしょうか？彼らが祈りと断食をしながら神様に、“神様、この集会がとても重要であることをご存知ですか？ちゃんと電気がつくようにして下さい。”と泣きながら祈るでしょうか？私はそう思いません。集会の話が出たとき、まず電気のことを気にする人はいないと思います。

もし、ある人がその集会会場に入ってきて、電気がついていないことに気がついたら、すぐに泣きながら電力会社に電話をかけるでしょうか？いいえ。もし、電話をかけたなら、電話に出た従業員があとで同僚に、“変な人から電話がかかってきたよ。”と言うでしょう。電力会社の人は、“あの、電気のスイッチをオンにして下さい。”と言うでしょう。

私が実際に集会でこの話をする時、みな笑います。

なぜだかわかりますか？なぜなら、彼らはみな、電気がついていないことで泣きながら電力会社に電話をして、つけてくれるように頼むことがおかしいと思っているからです。ほとんどの人は、どうすれば良いのかを知っています。ただ、スイッチをオンにすれば良いのです。簡単なことです！感情的になることでも、ストレスを受けることでもありません。なぜ、ストレスを受けないのかわかりますか？それは、スイッチをオンにすると、電気がつくと思っているからです。スイッチをオンにさえすれば、電気がつくことを知っているからです。彼らは、電力の原理を理解しているので、その原理が変わらないことも知っています。

しかし、もし1,000年前に戻り、あなたが人々に町全体を豆電球で明るくすることを伝えたとしたら、きっと彼らはあなたを変な人だと思ってしまうでしょう。そして、もし、あなたが豆電球で町全体を明るくしたとした

ら、人々はそれを奇跡と呼ぶでしょう。しかし、実際は奇跡ではありません。ただ、電力の原理が機能したことであり、人々はまだそれを理解していないので、電力について学ぶ必要があるのです。

私たちは、電力の原理が機能することについて学びました。だから、スイッチをオンにして電気がついていても、驚かないのです。逆に、スイッチをオンにしたのに、電気がつかないと驚きます。電力の原理が機能することを理解すると、私たちは世界中の電気をつけることができます。どのようにしてでしょうか？私たちは、他の人々にも、この原理がどのように機能するのかを教えることによって、みな電気による明るさを楽しむことができます。これは、電力の原理の機能を理解することで可能になります。霊的な原理にも同じことが言えます。もし、私たちがそれを理解していないなら、私たちは必要なときにそこから来る利益を受け取ることができません。

私たちは飛んでいる飛行機を見て、“わあ、奇跡だ。”とは言いません。

そうではなく、私たちは飛行機が飛ぶものであることを認識しています。なぜなら、飛行機がどのように飛ぶのかを知っているからです。もう一度、1,000年前に戻り、もし超大型旅客機が、木の高さを飛んだとして、人々はそれを見て何と言うのでしょうか？彼らは、それを奇跡だと言うでしょう！私も、超大型旅客機が800人を乗せて一時間に9,000マイル進むことは、すばらしいと思います。あまりにもすばらしいことなので、奇跡だと思いたくなるのはわかります。しかし、それは奇跡ではありません。私たちが、超大型旅客機をつくった技術者たちに、それがどのように飛ぶのか、機能しているのかについて聞くなら、彼らは、一つ一つその機能について教えてくれるでしょう。技術者たちは、自分たちのつくった飛行機を見て、“すごい！本当に飛ぶなんて信じられない。”とは言いません。私たちは、飛行機に乗るとき、飛ぶ機能について知っていて、その機能が変わらないことを知っているので、信じて乗ることができます。私たちは、飛行機の飛ぶ機能を知っているからです。

忘れないで下さい。原理は変わりません！

もし、原理が不変でなかったら、私たちは決して飛行機に乗らないでしょう。もし、あなたが航空券を購入して、そこに“この飛行機は、その日どのように機能するのかは予測不可能なので、自己責任でご搭乗下さい。機能が日ごとに変わります。誰もどうなるかはわかりません。幸運を祈ります。楽しい空の旅を。”と書いてあったら、乗る人はいるのでしょうか？あなたが、最後に椅子から落ちることを心配したのはいつですか？心配したことがないかも知れません。なぜなら、あなたは重力の法則が変わらないことを知っているからです。

私が述べてきたことは、この地球上で適用される神様が造られた原理です。しかし、重要なことは、その方の御国で適用される霊的な原理も、これと同じです。決して変わることがありません！神様が私に御国について語られる前、私はこの世の原理については知っていましたが、御国の原理は異なると思っています。私は、ただ神様はいつでも何でもその方の思いのまま行われると思っています。しかし、私の考えが間違っていることを悟りました。私が、御国の霊的な原理が変わらないことを知り、それを学ぶことができ、そして適用することができることを知ったとき、私はイエス様が言われたことを理解するようになりました。“神の国はこのようなものである。”それから、イエス様は人々が理

解しやすいように、神の国をこの世のものに例えて話されました。突然、私はひらめきました。“もし、神様が私たちに御国を与えて下さったのなら、その御国は変わらない原理で動かされ、私はその原理を学ぶことができ、私の人生に適用することができる。”

小さな群れよ。恐れることはありません。あなたがたの父である神は、喜んであなたがたに御国をお与えになるからです。

-ルカ12:32

その日、私は霊的な科学者になりました！私は、聖書を全く違った見方で読むようになりました。私は、聖書を読みながら質問し始めました。“なぜこの魚は増えたのか？なぜこの人は癒されたのか？なぜパンが増えたのか？”などです。私がこのように聖書を読みながら、神様に答えを求めると、神様は示して下さいました！

あの日、弁護士が私に電話をかけてきたとき、神様は私の問題が、これまで真剣に時間をかけて御国について学んでこなかったことであると教えて下さいました。私は、すぐに階段を降りて妻のもとに行き、主を慕い求めなかった罪を悔い改めました。しかし、私たちは御国を本当に信じるということをおぼえていませんでした。私たちはすでに教会に通っていて、神様を愛しているクリスチャンでした。私たちは、神様があの日“御国”と言われたとき、どういう意味なのかわかりませんでした。私たちは、電話越しで弁護士が三日以内にお金を用意することができるかどうかと、そのことで頭がいっぱいでした。

よって、これは良い試練でした。私にとっては初めての経済的な問題であり、私は神様の“御国”について知りたいと強く願うようになりました。その後の話をさせて下さい。弁護士は、三日以内にお金を用意するように言いました。しかし、私にはそのお金がありません！その絶望によって、私は自分の寝室に向かい、主に叫び求めることになりました。私は解決できない問題の中にいたのです！そのとき、主は私に神の御国について語られ、私はどういう意味なのかわかりませんでしたが、それについて知りたいと強く思いました。

二日後、私は生命保険のことで顧客に会いに行くところでした。ところで、私は顧客の家に行くときはいつも車を家の横に停めます。家の前に停めることはありません。私が運転していた車には、少し問題がありました。車が動き出すとき、白い煙が舞い上がりました。私が車を顧客の家の横に停める理由は、私が帰っていくときに白い煙を舞い上がらせながら車を走らせることが、私の仕事にマイナスの影響を与えようと思ったからです。何十万ドルも投資してもらおう可能性があるのだから、もしそうなったら、財政面での私の信頼性が少し損なわれるかも知れないと思ったからです。もし、私が有能な財務管理者であるならば、なぜ白い煙の出る車に乗っているのかと思われるかも知れません。その日も同じ理由で、車を横に停めました。

私が顧客の家から出てきたとき、顧客も外に出て私について来ました。彼の行動に特別な理由はなく、私たちはただ話していました。しかし、私が車を発進させるとき、彼が見るのではないかと不安になりました。

た。私が車に乗り込むまで、私たちは会話を続けていました。私は、車の窓ガラスを下げて会話を続け、彼が先に別れのあいさつをして家に帰ることを願っていました。しかし、彼は私を見送るつもりで立っていました。仕方なく、私は車を発進させなければならず、今回ばかりは奇跡的に白い煙が出ないことを願うしかありませんでした。けれども、白い煙はすぐに上がり、彼の姿が見えなくなりました。

彼は、私に手で合図を送り、車を停めるように指示しました。

彼は運転席の方にやってきて、私にボンネットを開けることができるかと聞きました。彼は以前、自動車整備士として働いていた経験があり、何が問題なのか見てくれると言いました。数分後、彼は、“思っていた通りだ。ヘッドガasketが壊れています。家に戻って早く直さなければいけません。”私は彼に感謝し、車を発進させました。これは、私にとっては問題ではありませんでした。私は修理するお金すら持っていなかったからです。

私の事務所は、顧客の家からそう遠くはなく、事務所に近づくにつれて、いつもの憂鬱な感情が私にやって来ました。しかし、私は運転しながら主が私に語られたことを思い、車の問題について、主に話し始めました。“主よ、私はこの車を修理するお金がありません。この車のお金もまだ払い続けている状態で、壊れたままでは売ることができません。どうして良いかわかりません。このまま車が燃えてなくなればいいのかも知れません。そうすると、保険会社が私の代わりにどうにかしてくれるでしょう。”

事務所に到着するところで、ボンネットから泡が出ていることに気がつきました。見ていると、泡はどんどん大きくなり、私が事務所の駐

**そのとき、私たちは
神様のやり方を
学び、さらに御国
の機能について学
びたいと強く願うよ
うになりました。**

車場に車を止めると、その泡は火の玉のようになりました。次の瞬間、車の前面全体が炎に包まれ、ボンネットから約1.5メートルも上がっていました。私はすぐに事務所に戻り、消防署に連絡しました。次の日、私は車の保険会社から損害賠償金を受け取り、その額はちょうど弁護士が三日以内に用意しなければならぬといった金額でした。ドレンダと私は驚きました。私たちは何も考えることができませんでした。私たちは、神

様が私たちのために何かを始めておられることを悟りました。しかし、私たちの御国への信頼は、それから数年をかけてさらに試練の中で強められることとなります。

車が燃え尽きたあと、もちろん、私たちは喜びましたが、今度は車がないことに気がつきました。その車によって損害賠償金が支払われ、そのお金によって弁護士が言っていた期限までに支払うことができましたが、私たちには新しい車を買うお金はありませんでした。私たちの話を聞いた父は、新しい車を買うために助けたいと言ってくれました。それを聞いた私たちは喜び、父と私は中古車の販売業者のもとに行き、ドレンダと私が気に入った車を見つけました。父は、170万円ほどの中古車の購入に、50万円出してくれると言ったので、120万円は私

たちのお金で出すことになります。私は、しぶしぶクレジット申込書に記入し、父は保証人として署名しました。彼らは翌日、連絡をくれると言いました。

その晩、私たちは眠れませんでした。そのローンを返済することができないことを知っていました。主は、私たちにその晩あることを示されましたが、私たちは圧迫感に押しつぶされそうでした。眠れない夜を過ごし、ドレンダと私は、クレジット申込書を取り消すことにしました。私は父に電話をし、父の提案に感謝をしてから、車を諦めることを伝えました。次に、私は中古車販売業者に電話をし、同じことを伝えました。彼らは、クレジット申請が認められ、車を渡す準備が整っていたので残念そうにしていました。私たちは、神様がどのように助けて下さるのか全く想像できませんでしたが、平安がありました。

その頃、ドレンダはバザーで小物を売っていました。そして、ある男性が部屋いっぱいの家具を安く売っていたので、ドレンダは彼に連絡を取り、買い取ることにしていましたが、車が燃えてから彼と連絡がつかなくなっていました。車が燃えてから数日後、彼と連絡がつき、3部屋いっぱいの家具を10万円以下で買い取ることになりました。彼女は、オークション会社と家具を売る契約を結び、オークションの手数料を現金ではなく、オークション会社が所有する優良な中古車と交渉することができました。これで私たちは、いいステーションワゴンを手に入れ、クレジットカードも完済し、車のローンも支払ったのです。

すばらしい！神の御国はこのように動くのです。私たちは、神様のやり方を学び、御国の機能の仕方を取り入れて、さらに学んでいく必要があります。あなたは疑問に思うかも知れません。“何を取り入れたのですか？”と。最も大きなことは、借金を信頼するのではなく、神様に求めて、その方が示して下さいるものを収穫することです。

もし、車の事故が数ヶ月前に起きていたら、私はきっと神様が何を示しておられるのかを理解することができなかったでしょう。まだ、私の頭の中には御国の原則が繋がっていなかったからです。

私は、鹿の狩りをするのが好きでしたが、ここ数年間狩ることができずにいました。

私は狩りに出かけ、寒い中じっと座っていても、何日も何も狩ることができませんでした。私は、ただ狩りを楽しむ目的だけではなく、鹿肉を持って帰り、家で待つ子どもたちに食べさせる目的もありました。以前狩りに成功したことがあり、家に鹿肉を持って帰ったこともありました。ある日、私がまた狩りにいく時期が近づいた頃、私は主の御声を聞きました。“今年は、どのように鹿を狩るのかわたしから聞いてみないか？”私は止まりました。“私に鹿の狩り方を教えて下さるのですか？”どういう意味でしょうか？私がこのことについて祈ると、経済的な種を蒔くことで、鹿を狩るという思いが与えられました。主が示されたのは、私が鹿のために蒔くなら、すでに受けたと信じなさいということでした。マルコ11：24の御言葉にある通りです。

だからあなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。

クリスチャンとして、教会のメッセージの時間に何度もこの御言葉

を聞いてきましたが、このときの祈りは新しいものでした。私は小切手を取り出し、メモ欄に“1987年度の鹿”と書きました。そして、その小切手の上に手を置いて祈り、すでに受けたと信じて、それをあるミニストーリー機関に送りました。オクラホマ州のタルサに住んでいた私は、鹿の狩りをする場所をほとんど知りませんでした。教会の友人に誘われて、感謝祭に彼の祖母の家に行き、狩りをするようになりました。彼は、農場の近くで数頭の鹿を見たと言いました。そこで、私の家族はすばらしい感謝祭の食事を楽しみ、交わりを楽しみ、ついに私が鹿を持ち帰ることだけが残っていました。

想像してみてください。私は大きな木の下に座っています。木に背中をつけて座っている私から、少し離れたところに草木が茂っています。周りから見ると、私は隠れているのではなく、丸見えの状態です。最高の状況とは言えません。

30、40分ほど過ぎた頃、雄鹿が私の目の前に現れて、茂みに向かって走ってきました。木は、鹿と私の間にあったので、鹿も私もお互いを見ることができませんでした。鹿は、私が座っていることに気づかないまま、まっすぐ茂みに向かって走ろうとしていました。鹿が私のいるところに近づいたとき、私の匂いを嗅ぎつけ、どこにいるのか警戒しているようでした。鹿が木の周辺に来たとき、私と目が合い、その距離なんと4メートルほどでした。鹿と私のどちらがもっと驚いたのかはわかりませんが、鹿は全力で茂みの方に走っていきました。荒い鼻息とともに、鹿は全力で走っていきました。私は座ったまま、走り去る鹿に向かってライフルを構え、スコープで鹿を捉えようとしていました。

全力疾走している鹿を目掛けて一発打つことは簡単ではありません。正直に言うと、私は走っている鹿に向かって打ったことがありませんでした。鹿が高く飛びながら走っているため、スコープでその姿を捉えるだけでも一苦勞でした。しかし、私が引き金を引いたとき、鹿は倒れて動きませんでした。私は驚きました！これはすべて数秒の間に起きたことです。

ライフルの銃声を聞き、友人が駆け寄ってきて鹿を狩ったことを祝ってくれました。私は、友人に今回の鹿狩りに主が言われたことを分かち合っていないのですが、“私の腕前で狩りに成功したとは思えないよ。”と彼に言いました。

それから私は自分のコートからあの日書いた小切手の紙を取り出しました。そこには、“私は、イエス様の御名によって1987年の鹿を受け取ります。”と書かれていました。私が祈った日付と時間も書かれていました。私はその紙を友人に見せ、主が示されたことを分かち合いました。

この出来事は私の心を掴みました。私はこれが神様の御わざであることを明確に知っていました。しかし、神の御国の原理を取り入れているとは気づいていませんでした。実際、“御国”についてはそれまで真剣に考えたことがありませんでした。鹿を受け取ったことはすばらしいですが、また同じように狩ることができるのでしょうか？御国の原理を無視した状態では、私は鹿を見つめることすらできないと思います。そこで、私は次の鹿狩りの時期に、もう一度、神様のやり方で試してみようと思いました。しかし、その時期が来る前に、私の車は炎上したのです。古い車は炎上し、ステーションワゴンを手に入れた私の心は完全に神様に向けられていました。私は、鹿狩りに行くことが楽しみで仕方が

ありませんでした。私は、自分の理論を試して、神の御国についてさらに学びたいと思いました。鹿狩りの時期は、もうそこまで来ていました！

私は、1987年、オクラホマで初めて鹿を狩りました。しかし、1988年7月、私たちは、私の育ったオハイオ州に引っ越しました。私はそこで育ちましたが、私がそこを離れて12年が過ぎていました。私がそこにいたとき、一度もオハイオの鹿を狩ったことはありませんでした。何度か狩りに出かけたことはありましたが、一度もライフルを打ったことはありませんでした。オハイオの集合住宅の長屋を借りたとき、私はどこで狩りをすれば良いのかわかりませんでした。私は小さい頃、父と一緒に家の裏に出没するうさぎを狩ったことがありました。私は、そこで育ちながら一度も鹿を目撃したことはありませんでした。私が大学生だったある日、兄が興奮気味に電話をかけてきました。

彼は、父の家の近くで鹿を見たと言うのです。

私たちは二人で驚きました。

そのときの会話を思い出し、私は鹿狩りの時期に、兄が鹿を目撃したところに行くことにしました。私は兄に電話をかけ、鹿を目撃した小川の周辺についての情報を聞き出しました。兄がその地域を離れてから数年が経ちますが、小川の周辺にカエデの木があり、そこが狩りをするのに良いスポットだと言いました。私はよくその小川の周りで遊んでいたのので、兄がどの地点を指して言っているのかわかりました。

**私はこの家族が
7年以内に、この
ままの給料でも、
住宅ローンを含
むすべての借金
を完済することが
できると気づいて
驚きました。**

ドレンダと私は、数年前にオクラホマで主が言われたことを黙想していました。種を蒔き、書き記し、そしてマルコ11：24に書いてある通りに、すでに受けたと信じて祈りました。その頃、オハイオでは鹿2頭まで狩ることができたので、私たちはまず一頭のために種を蒔き、次にもう一頭のために蒔こうと思いました。ドレンダと私は、鹿一頭のために種を蒔き、すでに受けたと信じながら祈りました。すばらしいことに、鹿狩りの時期になり、最初の40分で私は一頭だけでなく、2頭の鹿を手に入れました。私たちは、本当に特別な何かを感じました！

一ヶ月後、私は事業に関する夢を見ました。その事業は、私がこれまで働いてきた保険に関する仕事内容もあるものでしたが、目的は違いました。私は完全に理解することはできませんでしたが、確かに神様が私を8年間働いてきた職場を離れて、新しい事業を始めるために導かれていることは感じられました。この夢を見たとき、私はまだ生命保険を売る仕事をしていました。

その夢を見た週、私はある家族と保険について話す約束があり、私たちは保険について話していましたが、その家族の本当の必要や問題は生命保険ではないことが伝わってきました。彼らは、毎月の支払いや借金を抱えてとても苦しい生活を送っていたのです。私の仕事の一つは、彼らの財政状況を書類に記入してもらうことでした。これによって、私は彼らがどのくらい生命保険が必要であるのかを把握することができま

した。その夜、私はこの家族のことでもどかしさを感じていました。この家族を助けたいのに、どうすれば良いのかわからなかったからです。私は座って彼らの書類に目を通しながら、いくつかの選択肢を考えていました。私が計算機で計算をしながら、彼らの毎月の貯金や支払いなど、私の目線で見たときに、彼らが借金を返済する方法を見つけることができました。私は、この家族が7年以内に、このままの給料でも、住宅ローンを含むすべての借金を完済することができると思うと気づいて驚きました。

私は、この仕事に就いて8年ですが、これまで誰からもこのような選択肢について聞いたことがありませんでした。私は、何度も計算し答えを出してみました。6年とちょっとで、この家族は借金がなくなります。私は、他の顧客の書類にも目を通して見ました。私は、同じ計算の仕方でも計算してみたところ、同じように7年以内に借金が完済するという結果になりました。私は、この結果に驚きました。

私は、この結果を彼らに知らせることで励ませると思ったので、次に会ったときに、彼らにわかりやすく説明しました。私は、本当にこの家族のことで心が痛みました。私は、経済的なストレスが生活にもたらす影響を知っていたので、希望を失わないことを知って欲しかったのです。そこで、私が彼らに用意した紙を見せると、彼らは、私が並べた数字を見て驚愕しました。私が彼らにどれほど早く借金が完済されるのかを見せたとき、夫は涙を流しながら私に感謝しました。本当に、それはテレビで宝くじに当選した家族が喜び合うような光景でした。彼らは、私が言ったことが信じられないようでした。それは、彼らにとって本当に新しい幕開けであり、私にとってもそうでした。

私はその夜、顧客が7年以内に借金を完済することができるかと計算したことが頭から離れませんでした。私は、顧客に与えた衝撃と希望を目の当たりにしました。私は過去の顧客の書類に目を通して見たところ、実に85%の顧客が7年以内に借金を完済することができるという結果が出ました。しかし、誰がこれを彼らに伝えるのでしょうか？私がこの家族に伝えたことと、過去の顧客のデータをもとに計算したことを見て、私は、私の計画で人々にどうしたら早く借金完済ができるのかを見せる事業を始められるかも知れないと思いました。

その頃、私にもまだ借金がありました。経済的にストレスを受けている人々への同情があり、また、私にとっては生命保険を売るよりももっと価値のあることに思えました。私が他の顧客にも同じように計算した結果を見せたところ、例外なく、みな驚愕しました。

事業を始めるにあたって、私にはいくつかの問題がありました。まず、手動ですべてを計算し、それをコンピューターで打って構成し、紙を印刷する作業に多くの時間がかかることでした。次に、この仕事をすることでどのようにお金を稼ぐことができるのかということでした。最終的に、私はコンピューターソフトのデザイナーと契約し、より早く計画を作成するためのプログラムを作ってもらいました。二番目の問題に関しては、すでに借金を抱えている人から多くのお金を受け取ることはできないと考えました。私は、このことについて折り始めました。

ある日、考えが浮かびました。私は、本当に神様が私にこの事業のためのアイデアを下さったことを感じました。それは、借金に苦しんでいる人々を助けながら、彼らからお金は受け取らなくても自分のために稼ぐことです。私は、失われたお金と呼ばれる、顧客がすでに持って

いるにもかかわらず、本人が気づいていないお金に着目しました。例えば、私は自動車保険、家庭保険、生命保険、医療保険の料金を比較し、節約できないか探します。私は、住宅ローンの金利を比較し、借り換えが理にかなっているかどうかを確認します。そのようにして、私が個人的に把握していない領域のことも調べて確認します。私が顧客の家に行き、彼らに節約できる金額を見せて、私が調べた企業を紹介し、彼らに合った最安値の企業を探す手助けをするのです。突然、私は、この顧客はそのような企業に紹介料を払う価値があるかも知れないと気づきました。

私は、すでに顧客に会社の製品を売り込む仕事をしていました。彼らは、ただ書類に署名するだけでした。私は、顧客に提案した販売会社、担当者、専門家に連絡を取り始め、私がしていることを伝え、紹介料を払う価値があるかどうかを尋ねました。彼らはみな、“はい。”と答えました。だから私はそのようにしました。私は、勤めていた会社を辞め、新しい事業を始め、人々が借金を返済するのを助けました。事業はうまくいき、私の収入も増えたので、ドレンダと私は2年半後にすべての借金を返済することができました！私たちは、とても嬉しかったです！（もし、あなたが借金返済の計画に興味があるなら、1-800-815-0818に電話して下さい。28年経った今でも、まだやっています！）

神様が、私たちにその方の御国の動き方を見せて下さるので、毎日が新しい日々の連続でした。私が顧客と話しているときに、神様は私に人を雇って小さな事業から、本格的な事業を始めることを示されました。私が人を雇って、従業員とともに働き始めたとき、私たちの事業はさらに大きく成長していきました。そのようにして、私たちは、車を現金で購入し、夢のような家も購入することができました。私は毎月行われる新しい従業員を雇うための面接で、神の御国について分かち合い、彼らは最初仕事を求めてこの面接に来ましたが、後では彼らの人生に、御国の原則をどのように適用することができるのかを考えるようになりました。

神様が教えて下さる教訓はすばらしく、もちろん、多くの教訓は私が狩りに出たときに得られるものでした。狩りでの出来事は、不思議なことばかりでした。私が自分の目でそれを見なかったなら、決して信じることができない程でした。すべての出来事は、私が見たことのない神の御国について知る助けになりました。私は、この本の中でいくつかの話をあなたと分かち合いますが、私の狩りの話をもっと知りたいと思うなら、私のウェブサイトに乗っている私の本、“信仰の狩り”の原稿を読むことができます。

これは、発見した御国の新しい知識を用いて、鹿狩りをする話です。すでにあなたに話したように、神様は私に鹿のための種を蒔くようにされ、すでに受けたように祈らせました。例外なく、私は毎年30分から45分の間に鹿を狩ることができています。それが28年続いています。とにかく、この年も私は例年通り、鹿が現れることを期待して狩りに出ました。数分後、やはり鹿は姿を見せ、私の隣の人の土地に現れました。もし、この鹿が茂みに入ったら、私は見失ってしまうことを知っていました。この鹿が私のものでも知っていました。このときは、まだ狩りに関する専門知識がありませんでした。私は、この鹿が自分のものであることは知っていましたが、もうすぐ茂みに入っていくので、どうして良いかわかりませんでした。しかし、突然私の霊のうち何かを感じました。“鹿にあなたの方に来よう命じなさい。”

“え？鹿に私の方に来るように命じる？どういう意味だ？”私はよくわからないまま、鹿には聞こえない声で言いました。“鹿よ、止まって向きを変え、私のいる木のところまで来なさい。”私は、鹿が近くまで来てほしいと思ったので、そのように命じました。私は、もし、信仰によって鹿を私のところに連れて来れるなら、仕留めやすいように近くまで連れて来れることもできると思いました。

驚くことに、私がこれを言ったとき、鹿は急に止まり、向きを変えて私のいる木の方にやって来ました。私は木の上で待機していたので、鹿は私の真下にいることとなります。この状況では、誰であっても鹿を手に入れることができると思います。私は大きな喜びをもって鹿を家に持って帰りました。しかし、私にはどうしても不思議に思うことがありました。この鹿は本当に私が命じたから来たのか？どう考えてもそう見えませんでした。

オハイオで私たちが借りていた農場は、木が生い茂っており、下には小川があり、そして野原がありました。特に冬季になると、雪が積もるので、私たちはうさぎ狩りに行きました。オハイオでは、うさぎの時期と並行してキジの時期がありましたが、私たちの農場ではキジを見ることはほとんどありませんでした。

ある日、私たちはうさぎ狩りに出かけ、小川の近くで狩りをしていたとき、一羽のキジが流れて来ました。私は、すぐにキジに向けて一発撃ちました。しかし、キジの羽に当たったので、キジは必死に走って逃げようとしていました。キジは、時速56キロで走ることができます。そして、このキジは力を振り絞って走りました。

地面は雪で覆われていたので、私はキジの一步一步を目で追うことができ、どこに向かって逃げているのかが見えませんでした。

私は、キジを逃してしまうかも知れないと不安になりながらも、私の霊は燃えているのを感じました。私は、鹿に私の方に来よう命じたときのことを思い出しました。私はもう一度それを適用してみるべきだと思ったので、大きな声で叫びました。“キジよ、イエス様の御名によって止まれ！”すると、私はキジがどこに進んでいるのかが見えなくなりました。私が野原を見渡すと、キジは私が叫んだと同時に、その場で動かなくなりました。私の息子ティムは私と一緒にいたので、彼は言いました。“お父さん、お父さんが叫んだときキジが止まったよ。”しかし、キジはどこにいるのでしょうか？ティムと私がキジの足跡を目で追ったところ、キジはただ雪の上に座っていました。草が生えている場所の後ろにいたので、なかなか探すことができなかつたのです。キジは死んでいたのでしょうか？私がキジを持ち上げると、羽を動かして暴れ始めました。キジは生きていたのです！弾丸はキジの右の羽をかすったようでした。ティムと私は互いを見ながら驚きを隠せませんでした。誰も私たちが見たことを信じられないでしょう。

オハイオでは、鹿2頭まで狩ることができますが、連れて帰ることができるのは一頭だけです。オハイオ州では、鹿の数を減らすためにそのような対策をとっています。だから、私はまず雄鹿のための種を蒔き、30分から40分で狩りを終え、それから雌鹿のための種を蒔きます。ある日、このような思いが浮かびました。“ちょっと待て。鹿は私が種を蒔くとき紙に書いた通りにやってきているではないか。”本当にそうなのか？もし私が雄と雌の順番を逆に書いたらどうなるのか？

私は通常、雄を先に書いてから雌を書きます。今回は、雌を先に書き

てから雄を書きました。そして鹿が現れましたが、なんと雌が先に現れてから雄が現れました。私はこの理論を何年にもわたり試してみました。毎回書いた通りになりました。私はこれらのことを体験したあと、御国のすばらしさに畏れを抱き、私がこれまで御国について何も知らなかったことを悟りました。明確なことは、主は私に、私が気づかなかっただけで、私にはすでに権威が与えられていることを示して下さいたのです。

今は、2015年の鹿の時期です。私は、4ポイント以上の雄鹿と、1歳の雌鹿、食用のための1歳のボタンバックという雄鹿のために種を蒔きました。時計仕掛けのように、6ポイントの雄鹿が私の木の周りに直行し、そして次は1歳のボタンバックの雌がやって来たので手に入れました。次はボタンバックの雄が姿を現すことはわかっていました。あなたは今この話を聞きながらおかしいと思っているかも知れません。私はただ、私が見たことを話しているだけです。

しかし、ある日の鹿狩りでの出来事は、私に恐怖を与えました。私はその日、4ポイント以上の雄鹿とボタンバックの雄のために種を蒔きました（ボタンバックの雄は、角が毛で覆われていることもあり、その体の小ささから雌として数えられます）。私は例年通り狩りに出かけ、15分の間に8ポイントの雄鹿を手に入れました。次に来るときは、ボタンバックが現れることを知っていました。

2週間後、私は再び狩りに出かけ、いつも通り木の上で待機していると、8ポイントの雄鹿の姿を発見しました。その鹿は私のいる場所に向かってきています。鹿は方向を変えることなく野原を通して、私の木の真下まで来たところで、約20秒ほど静止しました。それから鹿は来た道と同じ道を通して戻って行きました。雄は一頭しか狩ることができません。私はすでに8ポイントの雄を手に入れていたので、この鹿はただ逃すしかありませんでした。私は混乱していました。

私が蒔いたものと違うものがやってきたことは、今までの経験からすると、初めての出来事でした。その鹿が現れて、野原を通り過ぎて私のいる木まで近づいてきたこと、そしてそのまま来た道に戻って行ったことは普通ではありませんでした。鹿は何らかの指示を受けて動いているように見えました。私はその後も待ちましたが、ボタンバックは現れませんでした。

その夜、私はさらに混乱していました。何かがおかしいと思いました。ボタンバックが現れるはずだったのに。なのに、どうして8ポイントの雄鹿があんな風に現れたのか？私は座って、祈り始め、神様に何が起きたのかを見せてほしいと懇願しました。私は主の御声を聞きました。“あなたの種を見なさい。”私の種？私は自分が蒔いたものを知っていました。私は、自分が鹿のための種蒔きと書いた紙を取り出して見ました。私は、2頭の雄鹿、4ポイント以上の雄鹿一頭、そして一頭のボタンバック（雌として数えられる）のために蒔いたと思っていました。しかし、その紙にはこう書かれていました。“2頭の雄鹿、4ポイント以上のボタンバック。”私は、2頭の雄鹿、1頭は4ポイント以上で、もう1頭はボタンバックと書くつもりでしたが、そう書かれていませんでした。そこには、“4ポイント以上の雄鹿2頭、ボタンバック1頭”と書かれていました。何頭の鹿ですか？3頭、そしてその中には4ポイント以上の大きな鹿がいます。私はそれを見て、座り込んでしまいました。あの8ポイントの鹿は、確かに指示を受けてあそこにいたので

す。その鹿は、御国の原理によって、そこにいなければならなかったのです。私は、飛び上がって叫びながら家中を走りました。すごい!!!!

感動と同時に、私の心に恐れがやってきました。もし私が見たものが、御国が動く正確な機能であるならば、私はもっと気をつけなければならぬと感じました。私にとって喜ばしくない出来事が私の人生の中で起こりますが、それは私が気づかないうちに霊的な原理によって解き放たれてしまったからです。私を含め、多くの人々が、望んでいない出来事に遭遇しますが、それは気づかないうちに霊的な原理によってこの地上に解き放たれているからです。イエス様は、その方の言葉でいちじくの木を枯らすことも、死んだラザロを生き返らせることもできたのです。両方とも、異なる目的のために、同じ原理が用いられました。次に私が狩りに出たとき、私が蒔いた通りに、ボタンバックが現れました。

このすべての出来事は、私を驚かせ、私の御国の考え方に大きな影響を与えました。今は、混乱することなく、御国はとても具体的であることがわかります。ということは、この地上でのすべての出来事も具体的であるということです。私は、霊的な原理が、私たちの現実の世界の原理のように機能することを知りませんでした。知っているべきでしたが、知りませんでした。しかし、今は、御国が具体的であることがわかります。御国は、とても具体的です。

はい、わかりました。あなたが聞きたいようなので、もう一つ狩りの話をしましょう。(私は、狩りをするときには得られる教訓が好きです。)私は御国が具体的であることを発見してから、さらに具体的に求めることにしました。その年、私は7ポイントの雄鹿のために種を蒔きました。鹿はたいいてい両側を合わせたポイントで計算されます。だから、4ポイントの鹿なら、片方に2ポイントずつで、8ポイントの鹿なら、片方に4ポイントずつになります。しかし、たまに鹿の角の大きさが異なる場合や、他の理由によって、左右のポイントが違うことがあります。けれども、たいいてい場合は、左右同じ数字というのが普通です。

私は、自分の信仰を何か具体的で普通でないものにかけてみたいと思いました。私は、すでにこのことが具体的であることを学び、いつも短時間で狩りをすることを経験し、そして聖霊様による正確な指示を見ってきました。だから、鹿狩りの時期になったとき、すぐには出かけませんでした。行っても鹿がいないことを知っていました。10月が過ぎるのを待ち、私はただ霊の中で知っていました。“まだだ。まだ鹿はいない。”秋の色、秋の木々、私はすぐにでも出かけたくなりました。

しかし、私は待ちました。

ついにその時が来ました。ある夜、私がリビングでジョージアから来た妻の両親と話していると、聞こえてきました。翌朝がそのときでした。7ポイントの鹿が現れる日です!私は、家族に翌日鹿を持って帰ってくることを伝えました。私は嬉しくて飛び起き、まだ外が暗いうちに家を出ました。私は、自分の木に接する10エーカーの沼地を見下ろすツリースタンドで、クロスボウを使って狩りをしていました。とても美しい場所でした。私が座っている場所から、カモの姿も見え、マスカラットやミンクの姿を見ることもできました。鹿を狩るスポットとして、最高の場所だとも言えます。私はそこで鹿を待ちました。何も現れませんでした。私は、45分待ち、1時間待ちましたが、何もありませんでした。

私が家に帰ると、ちょうどドレンダの両親がジョージアに帰ろうとしているところでした。私は、彼らが帰る前に、一緒に朝食をとる約束を

していて、私が手料理を振る舞う予定でした。私の予定では、いつも通り早く鹿を狩り、家に持って帰り、朝食に間に合うように料理することでした。しかし、手元に鹿はなく、私はいつもより遅めに帰宅したので。私の経験からすると、あのスポットは、早朝鹿を狩るには絶好のスポットだったと言えます。もう少し長く待っていれば、鹿が現れることはわかっていたましたが、それ以上そこにいることはできませんでした。私は、近いうちにもう一度狩りに出る必要がありました。

私は、家族に朝のあいさつをして朝食を作り始めました。私は毎朝、家族の朝食を作っています。私はワッフルを自分のレシピで作りますが、自分で言うほど本当に美味しいです。卵、ソーセージ、そしてチーズも添えますが、私の朝食の決め手となるのが、本物のメープルシロップです。オハイオはメープルシロップが有名で、人々は至るところでメープルシロップを作って売ります。

私は混乱することなく、御国は確かに具体的であることがわかりました。

私の家では偽物のシロップは許しません。本物のメープルシロップだけです。私はキッチンの窓を開けて朝食を作っていました。突然、窓の向こう側に雄鹿の姿が見えました。私は叫びました。“私の雄鹿がいる！” 私は朝食作りを家族に委ねて、鹿のあとを追いました！

私は以前、そこで鹿を目撃したことがあったので、その鹿がどこに向かうかがわかっていました。鹿がそこに行くためには、私のスタンドの下を通ることを知っていました。もし、鹿が通る前に私が先に後ろ側からスタンドに行くことができたなら、鹿を手に入れることができるかも知れないと思いました。鹿が来る前に、木の上に登り待機することは難しいですが、やるしかありませんでした！私は走ってクロスボウを手に取り家を出ました。私は野原を走り、できるだけ早く、そして静かに木に登りました。今のところ順調です。まだ鹿の姿は見えません。

私が座って待機していると、鹿が現れて私のいる木の下に向かって来ているのが見えました。雄鹿は、前方にいる雌鹿の方を見ているので、私の存在には気づいていません。雌鹿が私の木の下を通過し、雄鹿も雌鹿に続いて通過しようとしてきました。こんなに完璧な状況はなかなかありません。雄鹿が近づいてきたとき、私はクロスボウを構えて、注意しながら雄鹿に向けて矢を放ちました。矢が放たれた瞬間、私は自分が外したことに気づきました。現実を受け入れましょう。

私は、家を出て野原を走り木に登るまで、息を吸うことも忘れていました。

私は、矢が急所から外れたのでがっかりしました。矢がしっかり当たっていたら、鹿は飛びながらゆっくりと茂みの中に入っていきます。私のこれまでの経験上、矢が当たったとき、鹿は何が起きたのか気づいていないこともあります。ほとんどの場合、彼らはその場を離れます。また、私は傷を負った鹿は茂みの中で横たわり、あまり遠くには行けないことも知っています。この鹿は私を見ていないので、きっと茂みの中に入り、そう遠くへは行っていないはずです。私は静かに木から降りて、まだ近くにいるかも知れない鹿に気づかれないように、家に戻って行きました。

私が家に戻ると家族は、どうなったのか、鹿を捕まえたのかと聞きました。私は家族に一部始終を説明してから、息子を誘い、一緒に茂みに行って、鹿を見つけたら捕まえようと言いました。私たちは茂みの中にゆっくりと入って行きました。突然、息子の一人が雄鹿の上に飛び乗り、背の高い茂みの中を跳躍しているのが見えました。彼は私から60メートルほど離れたところにいました。

突然、雄鹿は私の別の息子が野原にいるのを見ました。自分の上に飛び乗っている人とは別の人だということに気づいて、雄鹿はどの方向に逃げたらいいのかわからなくなりました。雄鹿の動きが止まりました。私はこれが雄鹿を捕らえる最後のチャンスであることを悟りました。鹿はまだ私に気づいていません。60メートル離れた場所にいる私ではなく、息子を見ています。クロスボウはその距離でも鹿を仕留める威力を持っていますが、60メートルよりも前で矢が落ちてしまうこともあります。私はこの距離から矢を放つことはありませんでした。しかも、私のクロスボウは最新作の1秒間に120メートル飛ぶクロスボウではありませんでした。その正確さは、30メートルから35メートルと制限されていました。

鹿の動きが止まっていたので、私は矢を放つことを決めました。私はクロスボウを上げて鹿に向かって矢を放ちました。私は矢が飛んでいくのを見ていて、その矢が鹿の首に当たったのを見て驚きました。矢は鹿の首の半分以上に刺さっていました。(具体的な内容ですみません)鹿は起き上がり茂みの中に入って行きました。私は、鹿がどこに行ったのかわかりませんでした。私がゆっくりと鹿が姿を消したところに行ってみると、そこにいました！矢はしっかり役目を果たしました。そして、私は自分の雄鹿を手に入れました。

私の息子ティムが私のもとに来たとき、私は何よりも鹿の角が気になりました。私たちが一緒に数えてみると、その数は7ポイントでした。鹿に近づいてさらに見てみると、この鹿は8ポイントの雄鹿ですが、一つが折れていたもので、7ポイントということになります。ティムと私は、その場で主を畏れ、ほめたたえました。御国は本当にすばらしいです！ティムと私はそこに立ちながら、“誰が私たちの言葉を信じるだろうか？人々は御国がこのように機能することを知ってはいるのだろうか？”と話しました。

あなたは理解したと思います。御国は、とても具体的な原理によって動かされ、その機能は毎回同じです。私が最初この原理がすべてに適用される(お金にも)ことを知ったとき、とても嬉しくなりました。私はこの原理を学ぶことができました。私は霊的な科学者となり、どのように御国が動くのかを知ることができました。神様が私を助けて下さいました。

第2章

夕もや

ドレンダと私がどのように御国が動き、私たちの人生で機能するかを見たとき、私たちは完全に借金から解放されて、私たちは出会うすべての人に私たちの学んだことを伝えたくまりました。私たちが教会を建て、事業を始めたとき、聞きたいと願う人全員にこの話を伝えました。しかし、私の霊は、他にも何かがあることを感じていました。私はそれが何かはわかりませんでしたが、御国について人々と分かち合うために、神様が私を他の領域にも導いておられることは感じていました。

2005年、私はお金の革命と呼ばれる集会を開くことへの強い思いが与えられました。私は、私の人生を変えた御国のお金の原則についてその集会で分かち合うことを決めました。幼い頃からメソジスト教会に通っていた私は、リバイバル集会に参加したことが多々ありました。ですから、今回開かれる集会でも、神様が私に教えて下さった経済的な分野の原則について話そうと思いました。このときまで、私は神様が教えて下さった内容をまとめたり構成したりしたことがありませんでした。しかし、私は霊の中で、集会を5回の講義に分けて開くという思いがありました。

私はこのことについて祈りながら、友人であるラリーのもとに駆けつけました。彼は、私に彼が計画しているアルバニアでの集会で、私に講師として話してほしいと言いました。ラリーは、アルバニアで宣教師として12年間仕え、そこですばらしい影響を与えてきました。それほど遠くまで行くことは、私にとって新しい挑戦でした。私はそれまであまり旅行したこともなく、ましてや遠いアルバニアは行ったこともなく、正直に言うと、アルバニアがどこにあるのかも知りませんでした。ラリーは、現地の牧師たちと会議をして、私の御国の経済的な洞察が人々の助けになるだろうと言って励ましてくれました。ラリーは私に、集会で2回か3回の講義を引き受けてほしいと頼みました。5回の講義ではなかったものの、私はその数回の講義で話せることを楽しみにしていました。私は、ぜひ行かせてほしいと言いました。

私がアルバニアに到着したとき、ラリーは私にこのように挨拶しました。“ゲイリー、最後の最後で講師の一人が来られなくなったから、君が5回の講義を担当することになったよ。”私の心は踊りました。これだ！私は、これが神様の導きであることを確信し、私の霊が導きを受けていることに感謝しました。私は講義の内容を整理して来ましたが、5回の講義をするための準備はしていませんでした。ですから、私は毎回の講義で教えた後、霊の中で祈るために戻り、そして次の講義のためのメモを作成しました。講義のたびに、信じられないくらい油注ぎがありました。

話を進める前に一つ言いますが、私が行った当時のアルバニアは、とても貧しい国でした。人々の月収の平均は、5万円ほどで、贈収賄が彼らの生活を支えていました。私が経済的なことを教えても、人々がそれをどのように受け止めるのかさえ定かではありませんでした。御言葉がどんな人をも変えることは知っていましたが、これは私にとって新しい経験でした。私は最初の講義の時間、少し壁を感じました。2回目の講義では、人々の霊的飢え渴きが感じられ、御国の良い知らせを聞いた彼らの信仰が成長していくのを見ることができました。

毎日、私が教えるたびに彼らは喜びで満ちていき、私は彼らが御国を待ち望んでいることを感じました。

最後の講義の前に、主は私に、地元の教会のための献金の時間を設けるように言われました。まず、私がこの集会の主催者ではないので、私はこのことについて少し不安になりました。次に、私は人々の反応が心配でした。ラリーと私は、地元の牧師たちがこの集会に参加するための交通費や宿泊費をほとんど負担していました。私がラリーに相談すると、彼は献金の時間を設けることにしました。

私は、最後の講義の時間で献金を捧げるよう呼びかけ、そのときの油注ぎがあまりにも強烈だったので立っていることすら難しく感じました。会場にいたすべての人は、献金を捧げながら喜び踊り、声をあげました。献金袋を持っていた係の人たちは、その場に立ってられないほど泣いていました。私は、献金を捧げるときにこのような光景を見たことがありませんでした。私は、人々が献金を捧げながら踊ったり叫んだりしているのを見ながら、彼らの心からの大切な種が蒔かれていることを思い、感動しました。

集会の後、ラリーは明らかに集会で見た光景に感動を受けていました。彼は2つの献金袋いっぱいに入った献金を持ち帰りながら驚いていました。ラリーは、以前献金の時間を設けたとき、やっと一つの献金袋が埋まるかどうかの献金しか集まらなかったと言いました。私たちは素早く動き、ラリーの小さなアパートに着くまで、路上にいる人々にお金が見えないように隠しました。

私たちがラリーのアパートに着いたとき、私たちは座って献金がいくら集まったのかを数え始めました。ラリーが献金袋をひっくり返したとき、何かが起きましたが、今でもそのときのことを言葉に表すことが難しいです。突然、夕もやのような青い光がその部屋を覆い、神様の臨在が私たちを包み込みました。

私たちは、油注ぎの中に座っていました。私は、誰かのために祈るときやメッセージを語るときにそのような油注ぎを感じたことがありませんでした。この油注ぎは臨在の中にありました。それは聖く、神様ご自身の中にいるような臨在を感じました。私たちが座していると、その臨

在はさらに強くなっていきました。私たちにできることは、ただ座って泣くことでした。テーブルの上に置かれた献金の中に、男性の結婚指輪が入っていることに気づきました。私は集会の夜に、捧げるお金がなかった人が、彼にとって最も大切なものを捧げたのだとわかりました。主はそのとき私に語られました。

“わたしは、あなたを国々に遣わし、わたしがあなたに教えた御国のお金の原則を教えるために召す。この指輪は、大きな信仰によって今夜捧げられた。あなたはこの指輪を取り、今夜のことを覚えておくためのしるしとしなさい。結婚指輪が契約を意味するように、あなたも人々にわたしとの契約を教えなさい。わたしがあなたを遣わすための費用は、すべて用意されることを覚えておきなさい。”

私はその夜眠ることができませんでした。私はその夜ラリーのアパートに泊まりましたが、油注ぎは夜通しその場を覆っていました。私が家に着くまで、全く眠ることができませんでした。私は、ただ飛行機の中で、窓の外を見つめながら8時間泣き続けました。私は主が私に語られたあと、46時間も眠ることができませんでした。その夜の出来事から数ヶ月経ったあとも、そのときのことを思うたびに同じ臨在に包まれ、涙が溢れました。

私は、ラリーにその指輪について主が語られたことを話しませんでした。

献金の時間に集められた献金は、アルバニアの教会のものであるし、その指輪も売れば、いくらのお金にはなるはずですが、私は主が語られたことを知っていました。だから私は、ラリーが私に電話をかけてきて、主が彼にその指輪を私に渡すことを語られたと聞いて、とても嬉しくなりました。私はその指輪を大切に保管し、今も私の事務室にあります。私は、それから大きな経済的な試練が来るたびに、その指輪を取り出して見ながら、主が私に語られたことを思い出しました。神様は約束された通りに、私がその方の指示に従って行なうすべてのことの必要を満たして下さいました。アルバニアでの出来事は私の人生を変えましたが、神様はそれからさらに多くのことを私に見せて下さいました。

私がアルバニアから家に戻ったとき、行くところどこにおいても、この御国のメッセージを伝えなければならないという強い思いを抱くことになりました。私はこのことに対して情熱を持っていましたが、同じ5回の講義をしたところで、同じような反応が起こるのかについては少し不安を抱いていました。しかし、長く待つ必要はありませんでした。私はすぐに、ユタ州にいる牧師から連絡を受け、この5回の講義をしてほしいと言われました。彼は、ラリーから人生が変わる講義だと聞き、来てほしいと言いました。彼は、インド人が集まる小さな貧しい教会の牧師でした。彼らは、経済的な助けが必要な状況に置かれており、ラリーの話が本当であるならば、彼らも助けを受けたいと願っていました。

そこで私はユタ州に行き、日曜日の朝から水曜日の夜まで講義の時間を持つことになりました。アルバニアでの講義と同じように、私は5回の講義をし、同じ反応を得ました。人々は最終日の献金を捧げる時間に、踊ったり叫んだりしながら献金を捧げました。このときは、夕もや

のような光は見えませんでした。5回の講義をしている最中、強い油注ぎを感じていました。アルバニアでラリーと一緒に驚いたように、このときもまた人々の献金が集められた献金袋を見て驚きました。私は、集まった献金を事務室に持ち帰って保管し、翌日数えようと思いました。

翌朝、事務室から電話がかかってきました。それは私の秘書でしたが、何かが違うことを感じました。

彼女の声は震えていて、泣いているのがわかります。彼女は、“先生、先生が持ち帰ってきたお金に何かあります。”と言いました。私は、“トレイシー、それはどういう意味だ？”と聞きました。彼女は、献金袋を開けて献金を数えようとしたとき、油注ぎがあまりにも強く臨んだので彼女は床に倒れたと言いました。私の別の秘書も、献金袋の近くを通ったときに油注ぎを感じて震え始めたと言いました。トレイシーは、“ウタで捧げられた献金に何があったのですか？”と私に聞きました。私は彼女に何も知らないと答えました。

数週間後、私はこの同じ原則をオハイオにある小さな教会で教えていました。この教会では事前にDVDで私の4回の講義を見てもらい、日曜日の夕方に5回目の講義をすることにしました。油注ぎは再び私たちを包み始めました。その夜、私が献金の時間を設けると、これまでと同じことが起こりました。人々は喜んで捧げました。この献金の時間、教会は一つの献金箱を前に用意し、人々がそこに献金を入れるようにしました。このとき、夕もやの青い光が再び現れました。人々が献金を捧げ

ている間、献金箱の周りには、オーブが現れました。油注ぎがあまりにも力強かったので、私は集会のあと自力で歩くことができず、車まで手を取り連れて行ってもらいました。

これらのことが起こったとき、私は何が起きているのかよくわかっていなかったのと、誰からもこのような現象について聞いたことがありませんでした。

私はそのあとも集会を開き、その度に油注ぎは強くなっていきました。はい、あの夕もやの青い光はその後の集会でも何度か現れました。しかし、私が混乱したのは、油注ぎがお金の上にあったという点です。集会のあと、私のスタッフたちは献金を数えるのに苦労しました。アルバニアのラリーの家で、献金袋をひっくり返したときに起きたことを覚

えていますか？集会で捧げられた献金に触れただけで、あなたはすぐに油注ぎを感じ、震え始めます。おかしいと思われるでしょうが、私は自分が見たことをそのまま話しています。

霊的な科学者として、私はこれらのことを主に尋ねました。主は私に、献金の上に強い油注ぎが臨んだ理由を教えてくださいました。主は、ほとんどの人は献金を捧げるときに義務感や習慣によって捧げていると言われました。人々は捧げながらも、信仰を持たずに捧げていると言わ

イエス様は私たちが天国に行くために代価を支払われたのではなく、神の子どもたちが地上でも御国の祝福を享受しながら生きるためにそうされたのです。

れました。多くの方が献金する理由は、献金しなければ神様の御怒りが下ると思っているからです。ある人は、税金を払うかのように献金を捧げます。主は、私が御国について教え、隠れたお金の原則を教えて、人々の心にある信仰を奮い立たせることを命じられました。彼らが信仰によって献金を捧げるとき、御国と繋がり、そしてそこから油注ぎを受けることができるのです。

2005年のアルバニアでの出来事以降、私の人生は本当に変わりました。

人々に御国の良い知らせを伝えたいと願う私の情熱は、ドレンダと私を動かし、テレビを通して世界中の人々に良い知らせを告げる扉を開けました。私たちは今、年に数百万ドルを使って、私たちが数年前に発見した御国について宣べ伝えています。もしかしたら、あなたはまだ御国の良い知らせを聞いたことがないかも知れません。私たちもかつてはそうでした。信じる人が天国に行くことは知っていましたが、御国のものを解き放つ方法を知りませんでした。しかし、イエス様は私たちが天国に行くためだけに代価を支払われたのではなく、神の子どもたちが地上でも御国の祝福を享受しながら生きるためにそうされたのです。しかしもっと重要なことは、私たちが福音の知らせを伝えるべき人々はまだ大勢いること、そしてそのためにはお金が必要だということです。人々は見えています。私たちの生き方は違うものでなければなりません！

私がアルバニアの献金の上にあった油注ぎを見て学んだことは何でしょうか？

神様が私を国々に遣わす目的は何でしょうか？この本の目的がそこにあり、私の人生が変わったように、あなたの人生も変わることを願っています。

第3章

おお神よ、憐んで下さい！

ジェリーが、近くに来ているなら一緒にランチを食べないかと連絡をくれました。私は、彼のいるところの近くでテレビのインタビューを受けていました。彼は、私の講義を聞いてどのように彼の人生が変わったのかを話したいと言いました。私は一度もジェリーに会ったことはなく、何度か電話で話ただけでした。私は彼に会うことにしました。私も昼食をとらなければならなかったので、彼とランチを食べながら彼の話聞くことにしました。

私は、ジェリーと彼の息子と会い、ランチを食べながら話しました。ジェリーは30年間牧師として仕えていましたが、脳卒中になり働きをやめなければなりませんでした。脳卒中で、彼の人生は崩れていきました。彼が働けなくなったので、経済的にも苦しくなり、家賃滞納によって家は保安官に売り出されました。生活必需品や食品を買うことも困難になりました。ジェリーはある日座っているときに自分の命を絶つことを考えました。片手にナイフ、もう片手に聖書を持ち、人生を終えようと思いました。

ちょうどそのとき、ジェリーはテレビで私を見て、私の教材を注文しました。彼は、最初私の教材を注文したとき、食品を買うお金もない状況だったと言います。彼は、何度も教材に目を通し、少しずつ信仰が回復していくのを感じました。彼は、食品を買うための20万円に信仰をかけてみることに決めました。そこで、彼はドレンダと私が最初に鹿を手に入れたときの方法を試してみることにしました。彼は、20万円のために種を蒔きました。彼は、紙切れにすでに受けたと信じた日付と時間を書き、マルコ11：24の通りに信じて、私たちのミニストーリー機関に20万円の小切手を送りました。

私は、ジェリーが話すまで知りませんでした。一週間後、ジェリーの家にある男性が来て話したいと言いました。ジェリーはその男性のことを知っていましたが、会うのは久しぶりでした。彼らは互いの近況について話し、その男性はジェリーに20万円の小切手を渡すために来たと

言いました。彼は、一週間前の何時何分、聖霊様がジェリーに20万円の小切手を渡すように、心に感動を与えたと言いました。

ジェリーはその場で固まってしまいました。そして、彼はすぐにポケットの中から、日付と時間、また20万円が必要だと書かれている紙切れを取り出しました。紙に書かれた日付と時間は、男性が聖霊様に示された日付や時間と一致しました。ジェリーはこれが偶然ではないことを知り、神の御国からの直接的な答えであること、特に御国の原理によってなされたことであることを悟りました。

彼は話を続け、7人の子どもがいること、16歳の息子を除いてはみな結婚していること（ランチに来ていた息子）、そしてこの息子は父親に起こったすべての出来事を見たあと神様から離れてしまいました。彼の息子は神様に対して怒っていました。なぜなら、自分の父親が30年間に誠実に神様の働きをしていたからです。

ジェリーは、息子の心を取り戻すための方法を探していました。

私は、神様が教えて下さったことを、鹿狩りの話をしながら、信仰で狩るとはどういうことなのかを教えました。鹿狩りは、彼の息子の情熱だったので、ジェリーは息子に、その年の鹿狩りを御国の方法でやってみてはどうかと勧めていました。息子はしばらく考えたあと、それを受け入れました。そして、ジェリーと息子は、ジェリーが20万円を手に入れたのと同じ方法で信仰によって蒔きました。息子は8分で雄鹿を手に入れました。ジェリーと息子が鹿を肉屋に持って行くとき、車の中でジェリーは私のCDを再生しました。肉屋に到着したとき、息子は車に残り、もう少しCDを聞きたいと言いました。ジェリーが車に戻ると、彼の息子が言いました。“お父さん、私たちは何年も忘れていたことがあるよ。この鹿は神の御国の結果なんだ。”

息子はそれから再び主に人生を捧げて、もしジェリーが20万円を手に入れたように、神様が鹿を連れてくることができるなら、家を差し押さえから救うために必要な250万円も備えて下さるだろうと信じました。このとき、私は初めてジェリーを知ることになりました。ジェリーと息子の手紙が届いた日のことを覚えています。短い内容の手紙でしたが、彼らの必要が簡潔に書かれていました。そこには他のことは書かれておらず、ただ家を差し押さえから救いたいとだけ書かれていました。私は、その手紙に手を置き、彼らの信仰に同意したことも覚えています。私は、自分がそのようなしたときのことを鮮明に覚えています。

ジェリーは、それから2週間後にまた別の男性が家に来たと言いました。この男性もまた、以前からジェリーを知っている人でした。彼は、ジェリーの家が差し押さえられていることを知り、差し押さえを解除するためにはいくら必要なかと尋ねました。ジェリーは250万円が必要だと言いました。男性は、その全ての金額を小切手に書き、去って行きました。ジェリーは小切手を見つめました。この話をしながら、ジェリーは今私の前で泣きながら、神の御国について人々に教えている私に感謝しました。ジェリーは、自分の子どもたちが神様の御手の力を見ることができ、彼らとともに御国を体験することができたのを嬉しく思いました。私も嬉しいです！これが神の御国の現実であり、私は人々にこれを教えることができる祝福に預かり、彼らの証を聞くことが私の祝福です。

ジェリーは気の毒だと思われたかったのではありません。彼は答えを探していて、御国に答えがあることを見つけました。

ここで、ジェリーの話に付け加えて話したいことがあります。ジェリ

おお神よ、憐んで下さい！

一の話を知ると、あなたはただ家の中で座ってコーラを飲んでいるだけで、誰かがあなたの家にお金を届けに来るように見えるかも知れません。いいえ、収穫のためには、あなたも信仰によって蒔かなければなりません。ジェリーの場合は、30年間牧師として仕えました。彼は、人々のために長い間、蒔いてきました。そして、ジェリーは脳卒中で家から出ることができませんでした。ジェリーは、彼が長年蒔いてきたものを、教会の人々を通して刈り取ったのです。

ジェリーは完全に癒され、体重も30キロ減量し、私とランチをしたときはとても健康に見えました。彼が、御国の力を見いだしたことを神様に感謝します。あなたは、“でも、ジェリーは牧師だったから、御国について知っていたのではないか。”と言うかも知れません。違います。彼もそれは違うと言うでしょう。残念ながら、教会に通っている多くのクリスチャンたちは神の御国がどのように機能するのかを知らないのです、答えを見つけることもできません。マタイにはこのように書いてあります。

彼らが群衆のところに来たとき、ひとりの人がイエスのそば近くに来て、御前にひざまずいて言った。「主よ。私の息子をあわれんでください。」

“あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに告げます。もし、からし種ほどの信仰があったら、この山に、「ここからあそこに移れ。」と言えど移るのです。どんなことでも、あなたがたにできないことはありません。”

-マタイ17:20

小てんかんで、大変苦しんでおります。何度も何度も火の中に落ちたり、水の中に落ちたりいたします。そこで、その子をお弟子たちのところに連れて来たのですが、直すことができませんでした。」

イエスは答えて言われた。「ああ、不信仰な、曲がった今の世だ。いつまであなたがたといっしょにいなければならないのでしょうか。いつまであなたがたにがまんしていなければならないのでしょうか。その子をわたしのところに連れて来なさい。」そして、イエスがその子をおしかりになると、悪霊は彼から出て行き、その子はその時から直った。

そのとき、弟子たちはそっとイエスのもとに来て、言った。「なぜ、私たちには悪霊を追い出せなかったのですか。」イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに告げます。もし、からし種ほどの信仰があったら、この山に、『ここからあそこに移れ。』と言えど移るのです。どんなことでも、あなたがたにできないことはありません。」

-マタイ17:14-20

この話の中で、私たちには悪霊につかれた息子を持つ父親の絶望的な叫びが聞こえます。イエス様の働きの噂を聞き、悪霊を追い出すことを知って、彼は自分の息子をイエス様のところに連れて行くことにしました。しかし、彼がそこに着いたとき、イエス様が3人の弟子たちを連れて山に祈りに行かれたことを知りました。残された弟子たちは、問題ないと言いました。イエス様に権威を授けられた彼らは、これまでも悪霊を追い出してきた経験があるので、イエス様の御名でその息子を直すことができると思いました。しかし、彼らがその息子のために祈っても、悪霊は追い出されませんでした。父親は動揺し、イエス様に従っていた群衆は混乱しました。

しかし、ちょうどそのとき、イエス様と3人の弟子たちが戻ってきました。イエス様をご覧になり、どうしたのかと聞かれました。父親は、息子を連れてきた経緯を説明し、弟子たちのもとに連れて来たけれども、悪霊を追い出すことができなかったと言いました。それから父親は、答えを見つけることができなかった人がする行動をしました。イエス様に泣きながら憐れみを求めたのです。絶望的な状況の中で、憐れみを求めることは、良いことのように思われるかも知れませんが、それはこの父親の答えでもなく、またあなたの答えでもありません。父親は、この状況の中でイエス様の憐れみを引き出そうとして、悪霊がどのように自分の息子を苦しめているか、火の中にも落ちて息子を殺そうとしていることを伝えました。イエス様は、この男性を止めました。イエス様は、これ以上この男性の息子がどのように苦しんでいるのかを聞く必要がありませんでした。もどかしさを感じられたイエス様は、“ああ、不信仰な曲がった今の世だ。いつまであなたがたといっしょにいなければならぬのでしょうか。その子をわたしのところに連れて来なさい。”と言われました。イエス様の言葉の中に、悪霊が追い出されなかった理由が書いてあります。

イエス様が言われたことを見ていく前に、私たちは変わらない真理を悟らなくてはなりません。神様は偽りを言われません。その方が言われることは真実なのです。このことを心に留めて、この状況を見てみましょう。“悪霊は追い出されるべきです！”もし追い出されないのなら、何かが間違っていることになり、それは神様ではなく私たちに問題があるのです。このことを忘れないで下さい。神様のものを受け取ることができない問題はいつも私たち側にあります。イエス様は、悪霊が追い出されなかった理由について明確に話されました。不信仰と曲がった考え方です。この2つの理由を見ていきたいと思えます。しかし、まずはこの話の中の父親と息子に焦点を合わせて考えてみましょう。

父親は、明らかに息子のために必死でした。弟子たちが祈っても何も変化がなかったとき、他の手段は残されていませんでした。答えが見つかりませんでした。答えがあると思っていたところに答えがなかったからです。父親に残されたのは、憐れみを乞うことでした。“憐れみを乞う”には、力や権威がある人が意図的に助けを選択しないという意味があります。

この父親ができることは、自分の息子がどのくらいひどく苦しんでいるのかを説明して、イエス様から憐れみを引き出すことでした。

ほとんどのクリスチャンたちはこのように祈ります。神様には助ける力があるけれども、意図的に助けを選択されないから、憐れみを乞うのです。そこで人々は、長い文章を並べて、自分が今どんなに苦し

おお神よ、憐んで下さい！

んでいるのかを神様に見てもらい、どうにかして神様の心を動かそうとします。“父よ、金曜日までにそのお金が必要なのをご存知ですよ。神様、どうか助けて下さい。”あるいは、“神様、もしあなたが私の子供を癒して下さいなら、私は自分の人生を捧げます。神様、お願いします。”私は、この人々の苦しみを軽く見るつもりはありませんが、イエス様がその息子を自由にされるまでにかかった時間を見て下さい。これが神様の御心であり、願いです。憐れみ、力、権威が欠けているのではありません。この話の中の問題もそうではありません。イエス様は、不信仰と曲がった考え方を指摘されました。間違った考え方と彼らの不信仰が、御国の力の妨げになったのです。

ここで、御国への鍵と御国がどのように機能するのかについて話したいと思います。私はあなたがすでに知っていることを深掘りしたいとは思いませんが、いくつかは話したいと思います。そして、後でさらに詳しく見ていきます。

御国の原理を理解するためには、最も重要であり基礎的な点を理解しなければなりません。神様は、アダムに地上を支配する権威を与えられました。アダムが地上を治めるのです。

そして神は、「われわれに似るように、われわれのかたちに、人を造ろう。そして彼らに、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地のはうすべてのものを支配させよう。」と仰せられた。

-創世記1:26

私は、ヘブル2：7-9がわかりやすいと思います。

あなたは、彼を、御使いよりも、しばらくの間、低いものとし、彼に栄光と誉れの冠を与え、万物をその足の下に従わせられました。万物を彼に従わせたとき、神は、彼に従わないものを何一つ残されなかったのです。

今のところ、神様はその方の権威を私たち人間を通してのみ地上に解き放たれます。

だからイエス様はマタイ18：18で、弟子たちにこのように言われました。

“まことに、あなたがたに告げます。何でもあなたがたが地上でつなぐなら、それは天においてもつなぐれており、あなたがたが地上で解くなら、それは天においても解かれているのです。”

ここでもわかるように、人間が天のものを解かない限り、地上で解かれることはないのです。だからイエス様はここで、もし人間が天のものを解くなら、その方が助けて下さると言われるのです。もし、私たちが解かないなら、天も解くことができません。もし、これを聞いておかしいと感じても、ここで止まらないで下さい。私は、これについてさら

友よ、あなたは御国の正義に繋がっているのです。あなたの問題の答えはここにあります。

に詳しく説明します。しかし、その息子から悪霊が追い出されなかった理由をまずは受け入れて下さい。悪霊は出ていく必要がなかったからです！悪霊はそこに留まる権利がありました。イエス様は、悪霊が出て行かなかった理由を不信仰だと言われました。その不信仰のゆえに、悪霊を支配することができなかったのです。神様は、アダムが罪を犯したときに、その方の支配権を失いました。

た。

そして、人間を支配する権威が悪魔に引き渡されました。

また、悪魔はイエスを連れて行き、またたくまに世界の国々を全部見せて、こう言った。「この、国々のいっさいの権力と栄光とをあなたに差し上げましょう。それは私に任されているので、私がこれと思う人に差し上げるのです。ですから、もしあなたが私を拜むなら、すべてをあなたのものとしましょう。」

-ルカ4:5-7

その結果、神様はアダムが持っていた地上の支配権を失ってしまわれたのです。この具体的な原理については後ほど説明することにして、この話の中で注目したいところは、父親の必死な願いと憐れみを乞う部分です。今から読む文章に気をつけて読んでみて下さい。

もし、必要を感じている人にとって権威も原理もその人に解決をもたらすことができないなら、その人に残された唯一の方法は、憐れみを乞うことです。別の言い方をします。もし、ある人が問題を解決するための力や正義に繋がる道を提供されていないなら、答えが見つかる保証もありません。乞うことだけが唯一の道になります。

しかし、あなたはこれに当てはまりません。あなたは御国の正義に繋がっているのです。あなたの問題の答えはここにあります。御国は政府であり、御国の国籍をもつすべての人は、御国の原理が機能する中にいることになるのです。私がこの本の冒頭部分で述べたように、神の御国は義（神様の権威によって正しいとされるものが正しい）と正義の上に建てられています。ここに、悪霊が追い出されなかった理由があり、それは、神様の弱さでも御心の変化でもありません。イエス様は、すぐにおしかりになり悪霊を追い出されました。

御国の機能の仕方を見たことがないほとんどのクリスチャンたちは、自分たちの教理を変えて、“すべての悪霊が追い出されるわけではない”と言います。彼らは、神様にすべての力があることを知っているのに、地上でも神様の御心のままになされるのだと信じて、もし悪霊を追い出しても出ていかないのなら、神様がそのように選択されたのだと信じます。友よ、これは完全に間違った考えです。イエス様は、これは彼らの曲がった考え方と不信仰によるものだと言われました。わかり

おお神よ、憐んで下さい！

やすく言いましょう。悪霊が出て行かなかった理由は、合法的でした。誰も天の権威を解き放ち、その状況を原理で支配する人がいなかったの
で、悪霊は出ていく必要がありませんでした。“でも、ゲイリー、彼らは
追い出そうとしましたよね？”はい、しかし私が言ったように、合法的
に彼らが出ていく必要はありませんでした。なぜでしょうか？天は悪
霊を追い出す支配権を持っていませんでした。

私が今言ったことを説明し
ます。彼らは曲がった考え方を持
っていて、神様が見られる視点で
はなく、自分たちが良いと思うこ
と、受け入れられると思うことを
重視しました。また不信仰は、信
仰によって天のものを地上に解き
放つ妨げになるので、大きな問題
だと言えます。弟子たちは、悪霊
が出て行かなかった理由を悟った
だけでなく、完全に説得されまし
た。彼らは恐れしました。

人間が地上を支配することに
なっている以上、神様の政府と権
利は、人間が天の方法で天のもの

を地上に解き放たない限り動くことができません。ところで、私たちの
心が何かによって完全に説得されていることを信仰と呼びます。その当
時、信仰を持っている人はいませんでした。彼らは二心を持っており、
不信仰で、この状況で天のものを解き放つことはできませんでした。し
かし、イエス様は信仰を持っておられ、悪霊が追い出されることを知っ
ておられたのです！イエス様がおしかりになると、悪霊は出て行きました。
“でも、ゲイリー、悪霊が追い出されたのはイエス様が命じられた
からではないですか？”本当にそう思いますか？マルコ 6：5 を見てみ
ましょう。

**人間が地上を支配
することになってい
る以上、神様の政府
と権利は、人間が天
の方法で天のものを
地上に解き放たない
限り動くことができま
せん。**

**それで、そこでは何一つ力あるわざを行うことができず、少数の
病人に手を置いていやされただけであった。**

イエス様には、癒しの力があることを信じますか？

それなら、なぜここでイエス様がわざを行うことができなかつたの
かの答えを知っているはずです。わざを行う必要はあったはずなのに、
何かによって妨げられていました。答えは6節にあります。“イエスは
彼らの不信仰に驚かれた。”信仰（天との合意）は、合法的に天のもの
を地上に解き放ちます。例えば、あなたがどのように救われたのかを考
えると、その中にこの原則を見ることができます。

人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

-ローマ10:10

心に信じて（天が言っていることを）、救われます。これが、御国の原理の機能の仕方であり、天のものを地上に解き放つ方法です。

この原則を簡単に理解すると、アダムに地上の支配権が与えられたので人間はまだその立場にいました。これは、人間が霊的に支配することができないということではなく、園で悪魔によって失われた支配権のことを言っています。神様は、人間が地上で持っている支配権を奪い取ることはできません。ですから、神様は天に同意する人間を見つけて合法的に地上で解き放つ方法を選ばなくてはならないのです。

ローマ10：10には、天の力と権威が地上で解き放たれるためには、二つのことが起こらなければならないと書いてあります。一つ目はすでに述べたように、私たちが完全に説得されて心が天に同意することです。これが信仰と呼ばれます。二つ目は、信仰そのものが天のものを地上に解き放つことではないということです。驚きましたか？説明させていただきます。電気をつけるためには、あなたがスイッチをオンにする必要があります。私たちが心で天が言うことを信じるとき、合法的に救われます。しかし、私たちはその権威を地上に解き放つ必要があるのです。電気の例のように、私たちがスイッチをオンにしなければなりません。私たちは御国の権威を告白して行うことによって、スイッチをオンにします。

私が何度も繰り返し伝えていることはわかりませんが、御国の原理を理解することはそれほど重要であり、正しく理解することで天のものを受け取ることができるからです。あなたは、救われた原理と同じように、受けることができるすべてのものを受け取ることができます。天が言っていることを心に信じて口で告白し、その通りに行くことによって受け取れるのです。

イエス様が教えられた御国、それは弟子たちにとって新しい教えでした。弟子たちは、自分たちが見ていることによって混乱しました。聖句を読んでみるとわかるように、弟子たちは悪霊の存在を恐れて二心を持ち、不信仰に陥ってしまいました。

“だからあなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。”

-マルコ11:24

私は、彼らが悪霊を追い出しに行ったとき、悪霊はその息子を投げながら暴れたのではないかと考えています。もしそうだとしたら、彼らの心に恐れが生じたはずですが。私の想像ではありますが、一つ確かなことがあります。それは、天に同意していたはずの彼らの心が、不信仰に陥ったことです。

反対に、イエス様は完全に天に同意され、悪霊を追い出すために命じられました。ここでもわかるように、悪霊が出て行かないのは、天の問題ではなく地上の問題です。

もし、私が御国の機能について最もわかりやすく表している聖句を選ばなくてはならないなら、私は

おお神よ、憐んで下さい！

マルコ 11：22-24 を選ぶでしょう。別の聖句を少し見てから、イエス様がいちじくの木に言われたことを見ていきたいと思います。木に実がないことを見られると、イエス様はそれを呪われました。次の日、弟子たちが同じ木のところを通り過ぎると、その木が枯れているのを見ました。ペテロは、自分が見た光景に驚いてイエス様に言いました。

イエスは答えて言われた。「神を信じなさい。まことに、あなたがたに告げます。だれでも、この山に向かって、『動いて、海にはいれ。』と言って、心の中で疑わず、ただ、自分の言ったとおりになると信じるなら、そのとおりになります。だからあなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。

-マルコ11:22-24

ペテロが見た光景に驚きを隠せずにいる様子が伝わるでしょうか。木はどのように枯れましたか？イエス様が木を呪われたから枯れました。イエス様の言葉を聞いて、木は反応するように枯れました。それからイエス様はペテロに、神の御国の原理の“真実”を教えられました。イエス様の例えは、神の御国がどのように地上で解き放たれるのかをわかりやすく説明されたものです。この話の中でも、私たちがこれまで話してきたのと同じ原理が機能していることがわかります。天が言っていることに完全に説得された人間が、天の権威を解き放つことができるのです。もちろん、この話の中では神の御子イエス様がそうされましたが、イエス様は明確に“誰でも”と言われました。

イエス様が彼らに教えられた原理を理解し、人々がそれを正しく知るなら、それは彼らの人生に大きな影響を与えるはずです。私は、私たち家族の人生が劇的に変えられたことを見ましたが、私たちが御国の機能を人々に教え、彼らの人生が変えられるのを見ることもとても嬉しいです。私の教会で、この原理が用いられた話をしましょう。御国についての知識とその機能を理解することは、理解しないのとは比べて生と死ほどの差があります。それについて話します。

ジェニファーは私たちの教会に通い始め、信仰と御国について聞きました。彼女は御国においての自分の権威と権利について学ぶことを楽しみにしていて、ちょうど第二子を妊娠していたので、自宅出産を希望しました。彼女は、御言葉が教える出産について学び、それを子どもに適用したいと願いました。彼女は、自宅出産に強い思いを持っていました。彼女は助産師と連絡を取り、教会の信徒であり自宅出産の経験者でもある姉妹にも声をかけて、出産するときに指導してほしいと頼みました。

彼女は出産当日を迎えるまで、すべての礼拝に出席し、御国の原則を身につけようとしていました。

これらの教えは、ジェニファーにとっては新しい教えであり、神の御国に本当の答えがあることを知るのが彼女の喜びでした。残念ながら、彼女の夫は日曜日も働いていたので、彼女と一緒に教会に来ることはほとんどありませんでした。ついに、赤ちゃんが生まれるときが来ました。助産師と教会の姉妹は電話を取りました。

私の電話が鳴ったのは、夜中の2時か3時だったと思います。電話

に出ると、教会の姉妹の叫び声が聞こえ、“先生、祈って下さい。赤ちゃんが死んだ状態で生まれました！”と言いました。その知らせで私は完全に目を覚ました。それから、教会の姉妹は赤ちゃんが救急車で病院に搬送されたと言いました。病院に着いてから、赤ちゃんの死亡が確認されました。

ドレンダと私は飛び起きて、着替えました。私はどうすれば良いのかを聞くために霊の中で祈りました。私は、悪魔がこの出来事を通して教会を揺さぶろうとしていることがわかりました。噂を広めるために、“異端の教会が自宅出産を呼びかけて赤ちゃんを殺した”となるのが見えました。私たちは出産方法を強要したことはなく、自宅出産であれ他の方法であれ強要したことはありませんが、私たちの教会では多くの女性たちが自宅出産を選んでいました。ドレンダと私は病院に向かう間の20分間、霊の中で祈り続けました。半分ほど行ったところで、私は神様が来られたのを感じ、赤ちゃんが無事であることを確信しました。その瞬間、妻が私の方を向いて主が赤ちゃんの無事を示されたと言いました。

私は、主が妻と私に示されたことを知っていたので、私たちが救急処置室に着いたとき、何が起こるのか気になりました。私は、7、8人の看護師たちが正常に泣いている赤ちゃんを囲んでいるのが見えました。私は彼女たちの表情を見ました。通常、赤ちゃんを抱いている人の顔を見ると笑顔ですが、ここでは違いました。彼女たちは驚いた表情をしていました。

私たちは、電話をかけてきた姉妹に会いました。彼女は20分前、確かに赤ちゃんの死亡が確認されたという連絡を受けたと言いました。赤ちゃんは病院に搬送される前も搬送された後も死亡したと言われましたが、突然、生き返ったと言いました。神様をほめたたえます！ドレンダと私は、聖霊様が言われた通りに生きている赤ちゃんに会うことができ嬉しく思いました。

その間、赤ちゃんの母親を乗せた別の救急車が病院に到着しました。彼女は、自分の赤ちゃんの知らせを聞いていませんでした。私の妻ドレンダは、彼女のもとに行きました。そして母親にこのように伝えました。“ジェニファー、あなたの赤ちゃんは無事でとても美しい女の子よ。”ジェニファーの隣に立っていた看護師がびっくりして言いました。“いいえ、あの赤ちゃんは遺体保管室にいます！”私の妻は優しく看護師の間違いを正しました。今日、神様に栄光を捧げます。ヘイリーと名付けられたその赤ちゃんは、脳に何の問題もなく、後遺症などもなく健康に成長しています。神の御国が霊的な原理によって機能することを理解することで、この出来事が偶然ではないことを知ります。ですから、霊的な科学者（クリスチャン科学者ではなく、神の御国の機能について学んだ人）である私は、何が起きたのかを明確に見つける必要があります。

ヘイリーは、家に駆けつけた救急隊員によって、確かに死亡が確認されました。そして、搬送先の病院でも死亡が確認されました。いったいどうなっているのでしょうか？私は、そこにいた教会の姉妹と会い、私たちが着くまでであったことの一部始終を話すように頼みました。私は、ヒントを探していました。彼女は、赤ちゃんが生まれるまではすべてが順調だったと言いました。赤ちゃんは呼吸をしていない状態で身体は真っ青でした。助産師がどうにかしようとしたのですが、何も

変わりませんでした。その場にはジェニファーの親族も集まっていたので、教会の姉妹が彼らにそのことを伝えると、みながパニックになってしまいました。しかし、ジェニファーは彼らを落ち着かせて、彼女の夫にそっと言いました。“何も言わないで下さい。赤ちゃんはきっと大丈夫です！”

私は、話している姉妹の話を止めて、もう一度ジェニファーが何と言ったのかを聞きました。彼女は、私に話したことをもう一度話し、ジェニファーが彼女の夫に、“何も言わないで下さい。赤ちゃんはきっと大丈夫です！”と言った話をしました。すばらしい！これです！この宣言で、赤ちゃんのヘイリーを救ったのです。私は、問題が解決したようですっきりしました！私は大喜びでした。それはとても単純なことでしたが、とても意味のあることでした。ジェニファーはそのような状況の中でも霊的な原理を適用することで、赤ちゃんの命を救ったのです！私は考えれば考えるほど、感動しました。

ジェニファーは、夫の信仰が彼女の信仰のように成長していないことを知っていました。だから、赤ちゃんの様子がおかしかったときも、彼女は夫に何も言わせないで霊的な原理を破ることがないようにしました。代わりに、ジェニファーは夫に、大胆に信仰をもって赤ちゃんはきっと大丈夫だと言いました。

ジェニファーは退院するとすぐに、あるとき救急車に乗っていた救急隊員のところに行き、病院に向かう途中、救急車の中で赤ちゃんにどのような処置をしたのかと尋ねました。彼らは彼女を見ながら、

“何もしていません。”と言いました。

“何もしていないとはどういうことですか？”とジェニファーが聞きました。

“心肺蘇生法は？”

“いいえ。”彼らは答えました。

“赤ちゃんに何かしましたか？”

“いいえ。”彼らは言いました。

彼らは、彼女に赤ちゃんは本当に死んでいたのも何もすることができなかつたと伝えました。しかし、病院に着いたとき、突然赤ちゃんが“生き返った”というのです！救急隊員たちは、優秀だとたたえられ、表彰されましたが、彼らは自分たちが本当に何もしていないことを認めていました。

私たちはつい最近、私たちのテレビ番組にヘイリーと母親のジェニファーを招待しました。私たちは涙を流しながら神の御国を改めて祝いました。私たちは、そのような状況の中でも霊的な原理と権威を適用し機能させることができた事実を祝いました。

この話の中で私たちは、ジェニファーが完全に天の言っていることに説得され、その状況の中で天の権威を彼女の言葉を通して解き放ったことを見ました。その原理は本当に機能するのです！

私の教会に通う別の信徒もまた、この神の御国の原則を体験した大勢の中の一人です。二人の姉妹は、ランチをする約束をしましたが、この二人にとってそれは簡単なことではありませんでした。なぜなら、二人の子どもたちを合わせると、子どもの数が12、13人だったからです。彼女たちがランチをしていると、4歳のヨエルの姿が見当たらないことに気づきました。二人は家中を探しましたが、見つけることができませんでした。彼女たちは、ヨエルが隠れているかも知れないと思い

ましたが、どんなに探しても見つけることができませんでした。突然、母親のティナは嫌な予感がしました。裏庭にあるプールにいたら？彼女は、13歳の姪のコートニーと共に急いで裏庭に向かいました。ティナは、プールの底に沈んでいるヨエルの姿を発見して言葉を決して失いました。ヨエルがいつからそこにいたのかは誰も知りません。ティナは叫びながらプールからヨエルを引き上げ、救急車を呼ぼうとしました。ヨエルは動かず、息をしていませんでした。

私たちの教会の日曜学校に通っている13歳のコートニーが言いました。“ティナ叔母さん、救急車を呼ぶ必要はありません。祈るべきです。”彼女たちは祈り始めましたが、何も起こりませんでした。ティナは再び叫びました。“救急車を呼んで！”コートニーは叔母に言いました。“ティナ叔母さん、ヨエルに命の言葉をかけましょう。”そしてコートニーは言いました。“ヨエルよ、イエス様の御名によって、目を覚まして下さい！”すると突然、ヨエルが咳き込み、水を吐き出して意識を取り戻しました。

私はこの話を思い出すたびに感動します。男の子の意識が戻ったことに感動するのではなく、13歳の女の子がそのような状況の中で、持っていた信仰に感動するのです。このような緊迫した状況の中、彼女は恐れずに何をすべきかを掴み、そして実行しました。コートニーは、御国の機能を、ただ教会で聞いていたメッセージだと思わずに、生活の中に適用しました。生か死の状況です！

また一つ、あなたは御国の原理がどのように機能するのかを見たとします。まず、コートニーは祈るべきだと言って、祈り始めましたが何も起こりませんでした。それは、私たちが祈るとき、神様の権威と力を解き放っていないからです。しかし、私たちは方向性のために祈ります。これこそ、彼女たちがあの状況で最も必要だったことです。それから、コートニーは男の子に命の言葉をかけることにしました。彼女たちがそうしたとき、男の子はすぐに目を覚まし、今日まで元気に過ごしています。私たちは、天が言っていることに完全に説得された心を持っている

いたとしても、地上で信仰を持った人間が天の権威を解き放つまでは、何も起きなかったことを見ました。

もう一つ別の話をしたいと思います。この話は、身内に関する話です。ドレンダの兄は、彼の妻キャンディに、もうすぐ5番目の赤ちゃんが生まれるので病院に連れて行きました。キャンディの陣痛が始まった

御国の原理は、どんなときにもどんな人にも機能することを覚えて下さい！

とき、ドレンダと私は新しい家族の一員を見るために病院に向かいました。私たちは、病院に着く頃には、赤ちゃんがすでに生まれていると思っていました。しかし、私たちが病院に着いたとき、ようやく出産するところでした。新生児室の窓から生まれたばかりのホルランドの姿が見えました。見たことがある人はわかると思いますが、新生児室には大きなガラス窓があり、新生児の様子が見えるようになっています。

看護師がホルランドを抱えて新生児室に入ってきたとき、私はすぐにホルランドが他の赤ちゃんよりも白いことに気づきました。ジョニーの子どもたちは、みな肌が白く、金髪ですが、ホルランドは何か違います。突然、医師たちが慌ただしくなりました。看護師は新生児室のカー

テンを閉めたので、私は中を見ることができなくなりましたが、何か良くないことが起きているのはわかりました。カーテンは閉められましたが、カーテンの隙間から中で行われていることがすべて見えました。看護師たちは何か処置を行うための準備をし、医師がホランドに心肺蘇生法を行っていました。私は、医師たちの会話が聞こえる横の部屋に移りました。私は、彼らの会話を聞いて驚きました。彼らは、赤ちゃんの心臓が止まっていて、蘇生法に対しても何も反応がないと言いました。彼らはモニターを通して心音を確かめていましたが、ホランドの心臓は止まっていました！

新生児室から出てきた医師は、ジョニーの元に行き、“ジョニーさん、あまり期待できないかも知れません。できる限りのことはします。”と言いました。私たちは新生児室の中に入ることができなかったので、ドレンダとジョニーは新生児室のドアの片端に手を置き、私はもう片方の端に手を置いて祈り始めました。私たちは、ホランドは生き、死ぬことはないと言いつつ祈りました。私たちは、イエス様の御名によって心臓が動くように命じました。

突然、先ほどジョニーと話していた医師が急いで出て来ました。彼は何も言わずに私たちの横を走って行きました。

数分後、彼は看護師を連れて戻りましたが、看護師は大きな声で言いました。“それはできません。私たちの病院ではその治療は認められていません。私はその処置に反対です。”彼は、看護師の声を無視して新生児室に入っていました。彼は手引き書を手に取り、慎重に目を通して行っていました。カーテンの隙間から医師が立ち上がり、赤ちゃんに長い管を通して見えました。私は、医師が赤ちゃんに輸血していることがわかりました。

すると突然、赤ちゃんの心音が聞こえました。鼓動はだんだん速くなり、正常な新生児の鼓動と同じ速さになりました。数分後、そこから出て来た医師は、“ここに御使いたちがいます。神様が助けて下さいました！”と言いました。彼は震えていました。私たちは、彼がキャンディの出産には関わっておらず、仕事が休みだったことがわかりました。彼は、自分の患者を診察するために、少しだけ病院に寄っていたとき、この出来事を知ったのです。彼は、私たちからホランドの心臓が36分間も止まっていたことを聞いて、驚きを隠せない様子で立っていました！

今、ホランドは健康でかわいい4歳の子どもになりました。私たちは、これが御国の原理を理解している私たちがその状況に答えをもって来たと言っています。私は、新生児室のドアの端に手を置いたときに抱いた感情を覚えています。“私たちはドレンダの小さな姪のための葬式はしません！絶対にそんなことはありません！”

私があなたと分かち合ったこれらの話を通して、あなたに知っていることは、御国の原理はどんなときにもどんな人にも機能するということです！私がこの本の冒頭で話したように、地上の原理がどんなときにも同じ働きをするのと同様です。誰でもその原理を学んで適用するなら、それは機能するのです。アメリカとアフリカの電流の流れが同じように、これもまた同じです。

私が神の御国は奥義があっても、とても明確であることを悟り始めたとき、自分の問題の答えを見つけたことを確信しました。私は神様が

私たちが祝福しないことを選ばれたり、助けないことを選ばれるのではないことを悟りました。そうではなく、神様は私がイエス・キリストの中で必要なすべてのものを与えて下さり、その方の犠牲性によって天のものに繋がる道を切り開いて下さいました。私は、御国の原理を学んで適用するならば、私の人生においてその原理が機能することを知りました。

私は、聖書に出てくるすべての話を違った見方で読み、まだ現されていない御国の原理があるのではないかとヒントを探しています。私は霊的な科学者になったので、聖書を読みながらなぜこの出来事が起きたのかと理由を探します。この1ヨハネの聖句は、多くの人にとって理解し難い聖句です。すでにこの本の中で読みましたが、もう一度読んであなたの答えとなる真理を見つけましょう。

何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるといふこと、これこそ神に対する私たちの確信です。私たちの願う事を神が聞いてくださると知れば、神に願ったその事は、すでにかなえられたと知るのです。

-1ヨハネ5:14-15

私はこの聖句が原理について話しているので好きです。また、正義を得ることに対して自信を持つことができるので好きです。もし私たちが神様の御心にかなうことを願うなら（神様が正しいと言われる原理）、神様は聞いてくださいます。ここで言っている“聞いてくださる”は、物理的なことを指しているものではありません。神様がその状況を扱ってくださるといふ意味です。自分の感情に左右されることなく（少なくともそうあるべき）、法律をもって裁く裁判官を思い浮かべるなら、この聖句が理解できるでしょう。

その方が聞いてくださる、その方が状況を扱ってくださる、そして私たちは合法的に私たちのものである正義を得ることに対して自信をもつことができるのです。

友よ、私はあなたにもう一度ゆっくりこの聖句を読むことを勧めます。もし、あなたが読んだこの聖句が真実だと思うなら、あなたの人生は喜びで満たされるでしょう！この知識を持たずに祈る人は自信がありません。彼らは彷徨いながら祈ります。イエス様はこれについてマタイ6:7-13でこう言われました。

“また、祈るとき、異邦人のように同じことばを、ただくり返してはいけません。彼らはことば数が多ければ聞かれると思っているのです。”

-マタイ6:7

“ただくり返す”とは、意味のない言葉や行動を何度もすることです。ほとんどの人の祈りがこのようなものです。彼らは自分の正義の権利や神様がすでに与えて下さった御国のものを何も知らずに祈っています。あなたは、あなたがすでに持っているもののために乞う必要も叫び求める必要もないのです！

おお神よ、憐んで下さい！

警察官が、トラックに道路脇に停車するように言ったとしましょう。そのとき警察官はトラックに向かって止まってほしいと泣きながらうったえるでしょうか。“お願いだからトラックよ、止まってくれ。私を憐んでくれ。かわいいトラックよ、お願いだから止まってくれ。”これはきっとアメリカの歴史上、最も恥ずかしいニュースとして取り上げられるでしょう。警察官が立ってトラックに停車することを要求するなら、国の法律のもと、トラックは警察官に従って止まらなければなりません。

神様に叫びながらうったえる人々は、自分の立場をわかっていないのです。警察官がトラックに向かって泣きながら止まるようにうったえるのが恥ずかしい理由は、警察官には法のもとで権威が与えられているからです。警察官が泣きながらうったえるのは無秩序の国にいるときです。クリスチャンが神様に乞いながら助けを求めることは、神の御国を、答えをくれない弱いところとして見ていることになります。それによって、人々は神様のみわざに対して不信仰を抱き、自分たちがすでに持っているものに対して与えられないからと不満を抱きます。イエス様は、このような祈り方をしている人々に対して、明確に、“いけません”と言われます。

“また、祈るとき、異邦人のように同じことばを、ただくり返してはいけません。彼らはことば数が多ければ聞かれると思っているのです。だから、彼らのまねをしてはいけません。あなたがたの父なる神は、あなたがたがお願いする先に、あなたがたに必要なものを知っておられるからです。だから、こう祈りなさい。

『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように。私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。私たちの負いめをお赦しください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。私たちを試みに会わせないで、悪からお救いください。』

-マタイ6:7-13

イエス様は、聖句の中で私たちに祈り方を教えられました。

残念ながら、多くの人々はこの聖句を家の飾りとして美しく壁に貼っていますが、聖句の本当の意味はわかっていません。この聖句は主の祈りと呼ばれますが、イエス様は弟子たちに祈り方を教えておられるのです。その方は、私たちが教会の礼拝で祈るための祈り方を教えられたのではなく、このように祈るなら、この通りになるということを示されました。

“みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように”は、どのように祈るのかを教示しています。私たちは、天にあるものを地上に解き放つように祈らなくてはなりません。あなたの答えは何ですか？神様が言われていることを信じて、あなたの権威を使い天の御国にあるものを地上に解き放ち、あなたとあなたの周りの人の必要を満たすのです。

少し立ち止まって、これを考えてみて下さい。もし、あなたが少し

も疑わずにあなたの祈りが答えられることを知っているなら、祈るときに大胆に祈ると思いませんか？そうです!!!

あなたが合法的に天の国民であることを知ることによって、すでにあなたに与えられているもの、それを受け取る過程、そしてこれらの法の特権を楽しむこと、このすべてを御国の方法で享受することができます。恐れはどうなるでしょうか？疑いはどうなるでしょうか？問題の中にも、将来に対して自信を持つことができるのではないのでしょうか？これが、ドレンダと私が見つけた御国の力です。私たちはそれを思うたびに驚かされます。もう一度言わせて下さい。私たちは今も驚いています！私たちは、神様が教会に地上を治めるために与えられた権威にもまた驚いています。

なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。

-ローマ8:2

“罪と死の原理”から解放されるとは、“いのちの御霊の原理”に繋がることであるのを知ることなので、すばらしいことです。そしてさらにすばらしいことは、実際に私たちの人生の中で御国の義を生み出す原理を見ていることです。

御国は私の肉体を癒し、精神を癒して、新しい希望を与えてくれました。御国は、毎月3万円を払うこともできずに苦労していた私を救い出し、1800年代に建てられた古い家から夢のような美しく大きな家を与えてくれました。私の妻も私のことをもっと愛してくれます！頻繁に故障しない車を運転するのはいい気持ちです。数年前までは、数十万ドルを福音伝道のために捧げることは不可能に思えました。御国の光が差す人生は、暗闇を飲み込みました。創世記で神様がすべてを創造された後に、“それは非常に良かった”と言われたように、私も自分の人生を振り返ると、“それは良かった、非常に良かった”と言うことができます。

ドレンダと私は、誰でも御国について聞きたい人や私たちの人生の話の聞きたい人と分かち合えることを嬉しく思っています。私たちの教会の人々は、私たちの話を聞き、私たちと同じ結果を生み出しています。そして、そのうちの一人が私たちの12歳の娘でした。彼女は、私たちの人生の中で決して変わることがない神の御国の原理を何度も何度も見てきました。私は、彼女がこれらの原理を見て学んでいることは知っていましたが、一つの出来事を通して彼女が本当に学んでいたことを確信しました。

ある日、私は彼女の部屋に行き、おやすみの挨拶をしようとしたところ、何かが違うと感じました。部屋の壁に犬の写真が貼ってありました。親なら勘づくと思いますが、彼女は犬を欲しがっていました。私は、もう他の犬を飼うつもりはなかったので、その絵を見てあまり気にしませんでした。クリスティンの姉のポーリーはすでに室内で犬を買っていて、クリスティンとポーリーは部屋を一緒に使っていたので、ポーリーの犬はいつもクリスティンとも一緒にいることになります。

私はクリスティンに、かわいい犬の写真だということを伝えて、

しかしこれ以上他の犬を飼うことは考えていないことも伝えました。もし、彼女が犬を撫でたいのであれば、ポリーのダックスフンドをもっと撫でることを勧めました。クリスティンはそのとき何も言わずに、私の言ったことを理解しました。

私はそれで解決したと思いましたが、ポメラニアンが話題が上がるようになりました。“ポメラニアンもいたらいいと思わない？”や、“ポメラニアンはフワフワでかわいいよ。”などです。そして当然ですが、クリスティンは自分が欲しいと思っているポメラニアンの写真を私に見せるのでした。私はいつも、“だめだよ。”と言いました。この家の中で、私は権威を持っていたので犬は飼わないと決めました。

それから一ヶ月後のその瞬間が来るまで、私はこの話題は終わったと思っていました。クリスティンは私に近づいて来て笑顔でこう言いました。“お父さん、私は今日お父さんが教えた通りに信仰でポメラニアンを手に入れました。”私は、もう一度犬を飼うつもりはないと言いました。笑顔のまま彼女は私に言いました。“でもお父さん、お母さんが神様は王の心を変えることができると言っています。”彼女の言葉は全く反抗的ではありませんでした。彼女は単純に母親の言葉に同意して、私の心が変わるように祈っていたのです。母と娘が一つになって、神様が私の心を変えて下さるように祈っていたことがわかりました。

母との会話のあと、クリスティンは教会の礼拝中に自分の信仰を解き放ち、犬のために蒔き、信仰ですでに受けたことを信じました。私は、優しく彼女にもう一度言いました。“私たちの家ではもう他の犬は飼わないよ。”私はかわいそうだと思いましたが、家でまた別の犬を飼うつもりは本当にありませんでした。私がそう言っても、彼女は気にしていませんでした。そのまま笑顔で去って行きました。私は、ついにこの話題に終わりが来たと思いました。

それから一ヶ月後、私はミシシッピの小さな教会に講師として招かれました。その教会はとても小さな教会で、広々とした土地に囲まれていました。集会の初日の夜に、牧師が私のところに来て、集会の中で主が彼に語られたことを話してくれました。彼は、“あなたがこのことを知っているかどうかはわかりませんが、私には生後6ヶ月のポメラニアンがいて、主が私に、あなたにそのうちの一匹をあげなさいと言われました。”と言いました。私は、口を開けたままその場に立ち尽くしました。私はそれでも犬を飼うつもりはなかったので、“考えてみます。”と伝えました。私は、彼が犬を飼っていることも、どの種類を飼っているのかも知らなかったし、またクリスティンが犬を欲しがっていることを伝えたこともありませんでした。

私は、妻に牧師との会話の内容を話し、犬を連れて帰りたくないことも伝えました。妻は私を真っ直ぐ見ながら言いました。“あなたは、娘の信仰を否定するつもりですか？”ドレンダも、これ以上家で犬を飼うことには反対でしたが、妻は犬が増えることによる苦労よりも娘のことをもっと愛していました。神様は、クリスティンの信仰の結果として犬を連れてきて下さったのに、どうして私たちがそれを拒むことができるでしょうか？だから、私は牧師に犬を連れて帰ることを伝えました。

私たちは、クリスティンにこのことを伝えませんでした。彼女の姉に空港に迎えに来るとき、クリスティンも必ず連れて来るように言いました。クリスティンが空港に来て、私たちは犬が入った小さなバッグを彼女に渡しました。クリスティンは小さなポメラニアンを見ると、涙

を流しました。その瞬間、すべてが止まりました。私たちの周りにいた人々も足を止めて、私たちを見していました。クリスティンが小さなポメラニアンを抱っこしながら泣いているのを、そこにいた人々は見ていました。ドレンダは、人々にこの子犬がどのようにして私たちに与えられたかを話し、クリスティンが神様を信じて待った結果だと言いました。

子犬を抱いている女の子によって、空港でリバイバルがもたらされたように見えました。人々はみな子犬を見ようと近づいてきて、クリスティンと一緒に泣きました。そのとき私は、自分が最低な父親だと感じました。私はこの子犬が娘に与えた喜びと、神様が子犬を娘の信仰の結果として与えて下さったことを見ました。私は、娘がこれほど大事にしているものをなぜあんなに反対していたのかわかりません。彼女がシェイクスピアと名付けたその子犬は、とても愛らしかったです。

シェイクスピアは私たちの本当の家族になりました。シェイクスピアは、クリスティンが行くところどこにでもついて行きます。

この話は感動的ではありませんが、私はこの本の目的である質問を投げかけたいと思います。その子犬はどのようにして現れましたか？私はそれまで一度も犬を譲り受ける話をもらったことがありません。娘が欲しがっていた犬種が与えられたのはなぜでしょうか？偶然でしょうか？いいえ、決してそうではありません。それは、御国の明確な原理であり、私たちの家族の上に解放された原理の結果なのです。私は、信仰で御国の權威を解き放つ人に同じ実が結ばれるのを見ました。私たちは、神の御国がその子犬をもたらしたことを認めざるを得ません。しかし、どのようにして？どの原理が適用されたのでしょうか？この本を通して、あなたが神の御国を楽しむための明確な答えを得ることができることを願っています。あなたは、御国の国民であって、合法的な権利と利益を持っています！しかし、その前に私の家族が経験したもう一つの御国の話をさせて下さい。

第4章

大きな魚

ドレンダと私が、神の御国と地上で私たちに与えられている権威について学んだとき、私たちは自分たちの生き方によって受けられるものが決まることを知りました。神の御国は、私たちの全ての領域で影響を与えますが、その力を解き放つのは私たち自身であることを忘れてはなりません。それは自然に解き放たれるものではありません。私の娘の子犬のように、御国の統治の下では、何一つ重要でないものはありません。私たちがこの事実を悟るとき、不可能なことは何一つないことに気づきます。私は、人生のほとんどを神様が私たちに御国を楽しむために与えて下さったことを知らずに生きてきました。ですから、どんなに小さな領域においても御国の影響を受けているのを見ることはとても新鮮でした。今からその話をします。私はこれを大きな魚の話と呼んでいます。

これは、私たちの家族がアラスカに旅行に行ったときの出来事です。私たちが旅行に行ったこと自体が夢のようでした。私たちはアンカレジまで飛行機で行き、車を借りて3週間ほど西海岸をドライブしました。本当に美しかったです！私たちがキナイペニンシュラの周りをドライブしていると、チャーターボートの外で大きな魚が棚に吊るされていることに気づきました。そこにあったチャーターボートのほとんどは帰って来ただけでした。

同じような大きな魚が吊るされていました。私には大きなカレイのように見えました。大きな魚はおひょうでしたが、私はそれまで一度もおひょうを見たことがなかったのでその大きさに驚きました。私たちは、いくつものチャーターボートに吊るされているおひょうを見ながら、その大きさに驚いていました。突然、妻が私の方を向いて言いました。“おひょうを釣ってみたいです。あそこにあるボートに乗って釣りたいです。”そう言って彼女が指さしたのは、クリスチャンの印である魚マークがついているチャーターボートでした。

まず、私はびっくりしました！“おひょうを釣りたいだって？”妻

は一度も釣りをしたことがありません。しかし、彼女がやってみたいと言うので私たちは車を停めて事務所に行きました。事務所の管理人は接客中で忙しかったので、私たちはそこに置いてあった雑誌などを読みながら待ちました。おひょうダービーが開催中で、まもなく終了するという看板が目に入りました。私たちはそれが何かわからなかったの、あなたのためにも少し説明します。おひょうダービーとは、その月に最も大きなおひょうを釣ることを競う大会です。優勝者は、小切手と雑誌の表紙を飾る特権を受けます。ドレンダと私は大会に参加することにしました。参加するために必要なお金は数百円だったので、すぐに申し込むことを決めました。

私の愛らしい、女性らしい妻のドレンダは私にこの大会で優勝し、クリスチャンのチャーターボートの存在を多くの人々に知らせて、神様がそのすべての栄光を受け取られる結果にすると言い出しました。私たちが申し込む番になったとき、ドレンダは大胆におひょうダービーで優勝し、このチャーターボートの存在を知らせ、そして神様がすべての栄光をお受けになると宣言しました。当然、チャーターボートの船長は、こう思ったでしょう。

もちろん、みんなおひょうダービーで優勝したいと思っているはずだ、と。少なくとも、観光客をよく乗せる彼にとっては聞き慣れたセリフだったと思います。しかし、神様の栄光のために必ず優勝することを宣言した人はそれほど多くはなかったはずです。

彼は、ダービーで優勝すると宣言したドレンダには何も言いませんでした。私たちが釣りを始めると、すぐにおひょうが釣れましたが、ドレンダは船長に大会で優勝するためにはどれほど大きなおひょうを釣らなければならないのかを聞きました。ドレンダは18キロのおひょうを釣り上げて、大きさが足りないと言いました。31キロを釣り上げて、まだ足りないと言いました。もちろん、おひょうはとても美味しいので私たちは釣ったものを家に持って帰るつもりでした。一人2尾までだったので、私たちは31キロの方を残しました。

夕暮れ時になり、息子のトム、娘のポリー、そして私はそれぞれ2尾釣り終わりました。他の子どもたちのエイミーとティムは、集会に参加するために先に飛行機で戻っていたので私たちと一緒にいませんでした。ドレンダは31キロの魚を釣りましたが、当然私たちの中で大会で優勝するほどの大物を釣った人はいません。しかし、ドレンダは大物を釣ることに自信を持っていました。外が暗くなってきたので、船長は私たちに港に戻る時間だと言いました。船長が私たちの用具を片付け始めても、ドレンダは無視して釣りを続けました。彼女はこの大会で優勝するための大物を釣るから、あと数分だけ下さいと頼みました。船長は数分待った後、ドレンダのもとに行き、「ごめんなさい。本当に戻らなくてはなりません。」と伝えました。

彼がドレンダの釣り竿を戻そうとしたそのとき、突然何かが引っ張り始めました。

竿が曲がっているのを見ると、大きな魚であることが一目瞭然でした。船長は竿を触りながら魚の大きさを知らうとしましたが、これは魚ではなくサメの可能性が高いと言いました。彼は、魚が竿を引っ張る力でわかると言いました。ドレンダがその魚を引き上げるには時間がかかりました。90メートル下から引き上げるので、ドレンダも相当の体力を使う必要がありました。魚が見えてきたとき、誰が見てもそれは大き

な魚で、それはドレンダよりも大きなおひょうでした。

おひょうが引き上げられたとき、船長は生きたままのおひょうを港まで持ち帰るのは、人やボートを傷つける恐れがあるから不可能かも知れないと言いました。それほど大きなおひょうでした。船長は、大物用の特別な突き棒を持ってきました。その突き棒の先端で魚の頭を突くと、魚は死にます。船長は突き棒を持って魚の頭を狙いましたが、魚があまりにも激しく動くので失敗してしまいました。

おひょうは再び力いっぱい底に潜ろうとしました。90メートル下を目掛けて潜るので、リールが悲鳴を上げました。私たちはおひょうが底に戻ろうとする力で、リールがもたないのではないかと心配しました。ドレンダはもう一度その大きな魚を引き上げる必要があったのです。彼女の体力も限界を迎えようとしていました。そこで私は、彼女の後ろから彼女の手の上に自分の手を置いて、一緒に引き上げると、おひょうの姿が再び見えてきました。船長がおひょうを捕らえることができたので、私たちはみなそのおひょうの大きさを見て驚きました。

私たちはそのおひょうを港に持ち帰り、重さを測定するために広場に行きました。おひょうは55キロで、ドレンダよりも長さがありました。広場で測定してくれた男性は、今大会で今のところ一番大きなおひょうだと言いました。

しかし、大会の終わりまではまだ2週間残っているので、私たちは優勝するかどうかはわかりません。けれども、あなたの予想通り、小切手と雑誌の表紙を飾るドレンダの写真が送られてきました。私たちはとても興奮しました。

また御国が動いたのです！私はこの質問をせざるを得ません。“彼女はどのようにしてその魚を釣ったのでしょうか？”私が知っている限り、妻は釣りに興味がある女性ではありません。私は、いまだに彼女がおひょうを釣ってみたいと言ったことに驚いています。しかし、彼女には目的がありました。それは、ダービーで優勝することだったのです！

そして彼女は優勝しました。私たちは、ボートの船長にも御国の原理について説明し、どのように魚を釣ることができたのかを分かち合いました。船長自身が優勝したわけではありませんが、大きな魚を釣ったことで人々に知られるようになったので、結果的には彼も勝者なのです。

あなたは、ドレンダの大きな魚の話はこれで終わりだと思うかも知れませんが、ある人は、彼女は運が良かったのだと言うかも知れませんが、そのようなことが2度もあったとするなら？5年後、ドレンダと私は、知り合いの牧師に誘われてアラスカで鮭を釣ることになりました。私たちはアラスカの家族旅行以来、そこに行くことがなかったので、口実を作っても行きたいと思っていました。私たちは、また車を借りて鮭を釣るために車を走らせました。私たちが釣りをしている最中、ドレンダのおひょうの話題が上がりました。私の友人は一度もおひょう釣りをしたことがなかったので、“それなら一緒に行きましょう。”と言って、行くことになりました。私たちは、前回と同じ場所に行き、もしまだ仕事を続けているなら、同じボートの船長に会いたいと思いました。

私たちがそこに着いて気づいたことは、彼の姿が見当たらなかったもので、他の船長を探さなければならないことでした。しかし、その前にインターネットで彼の名前を探してみようと思いましたが、私たちは彼の名前もボートの名前も覚えていませんでした。

検索していると、私たちはドレンダが釣った魚について書いてある記事を見つけました。そこにはボート会社の情報や電話番号があったので、私たちは電話をかけてみることにしました。その会社はまだありましたが、以前あった場所から少し離れた場所に会社を移していました。

私たちがその会社に着くと、その船長の妻であり接客担当の女性が私たちを見て、“あのおひょうの優勝者ですよ！”と言いました。私たちは、そのときの大きなおひょうについてや、5年間どのように過ごしていたかなどを楽しく話しました。そのときは不景気だったので、ビジネスがあまりうまくいっていなかった時期です。彼女は観光客も減り、釣りにお金を費やす人が激減したから、夫はやる気を失っていると言いました。私たちは彼女に御国のことを話しましたが、彼女は夫が神様に仕えることに関心が無いと言いました。

私たちがボートに乗ったとき、彼もまたドレンダと大きな魚のことを覚えていました。ドレンダは彼の方に歩いて行き、最近の調子はどうかと聞くと、彼は最近ドレンダが釣ったような大きな魚に出くわすことが無いと言いました。しかし、彼は大きな魚はこのような浅い所にはいないと言い、彼が会社を移した理由を話し始めました。ドレンダが釣った魚は、サメもたくさんいる深い所にいると言いました。底に着く前に、サメが餌を横取りしてしまうので、餌代と時間の無駄になると言いました。

そこで、私たちは彼にここで釣れる魚の大きさについて聞くと、9～13キロほどの大きさだと言いました。すると、ドレンダは彼に、“私は今日ここ最近で一番大きな魚を釣るので、そしたら神様が真実な方であることがわかりますね。”と言いました。しかし、彼は彼女の言ったことにただ笑いました。

一日中、私たちは船長の言った通りに9キロほどの魚を釣り上げ、船長はその間ずっとドレンダの言った“大きな魚”は無いと言いつけました。それは前回のような展開でした。

一日の終わりに、船長は私たちにそろそろ戻ることを伝えましたが、ドレンダは気にすることなくあと数分すれば大きな魚を釣ると言いました。船長は少し待ってから、本当に戻らなくてはならないと言いました。ちょうどそのとき、彼女の釣り竿が激しく揺れて、話を省略すると、ドレンダは31キロの魚を釣りました。

船長は再び驚きました。

私たちがレストランに食事に行くと、そこには別のボートの船長も食事をしに来ていました。私たちが彼にドレンダが31キロの魚を釣り上げたと言うと、彼は信じてくれませんでした。どこで釣りをしたのか？どの深さまで行ったのか？彼は、私たちがどこでそんなに大きな魚を釣ったのかを知りたがりました。私たちはレストランを後にし、再びチャーター会社に戻って魚を家に送る手続きをしました。

私たちはもう一度船長に会う機会があったので、神の御国について分かち合うチャンスだと思いました。“あなたは、彼女がどのようにして2度も大きな魚を釣ることができたのかを本気で考えてみて下さい。御国の原理は、お金にも同様に動きます。”彼は少し興味を示しました。私たちは、私の本、Fixing the Money Thingを渡し、その場を去りました。

これらの大きな魚はチャンスの結果ですか、それとも御国の原理の結果ですか？あなたが決めて下さい。ドレンダと私はすでに決めてい

ます。釣りの話、借金完済、癒し、など私たちの神の御国の経験はとて
もすばらしく、人生を変えるものです。他の人々も御国を経験していま
す。次の手紙は、ドレンダの証を聞いたある女性から送られてきたもの
です。

ゲイリーとドレンダへ、

私はあなたの本の中でドレンダが大きなおひょうを釣った話を
読みながら、私も自分の証を二人と分かち合いたいと思いました。

私たちはつい最近、フロリダのココアビーチに家族旅行で行き
ました。私の夫ロバートは、深い海に魚釣りに行き、釣った魚をコロ
ラドに持って帰りたいと言いました。私たちはこの旅行のために
何ヶ月も計画を立てていたので、夫が釣りに行きたいと言ったと
き、私はとても嬉しくなり、“やりましょう！そして、大きな魚が
釣れるように神様を信じましょう！”と言いました。私は、フロリ
ダではどの種類の魚が釣れるのかをボブに聞きました。

彼は釣れる魚の種類をいくつも挙げてくれましたが、私は大き
なレッドスナッパーのために祈って信じることにしました。その日
になり、私たちは船長から説明を聞くために待っていました。私は
大きな魚を釣ると宣言していたので、船長が話しているとき私の心
は騒ぎ始めました。船長が最近バス、カレイ、そしてレッドスナ
ッパーを釣ることができないと言ったとき、私はとてもがっかりし
ました！え？と思いながら、これ以上何を信じれば良いのでしょうか？
しかし、私は自分の信仰を試す絶好のチャンスを逃したくない
と思ったので、“主よ、私は大きなレッドスナッパーを釣るために
ここに来ました。ですから釣れるようにして下さい。そして、他の
魚を持ち帰ることができるようにして下さい！”と言いました。

私は8歳の娘のレイチェルに向かって言いました。“神様に祈
って信じるなら、今日、魚を釣ることができるという話をしたよ
ね？信じる？”彼女は笑顔で頷きました。私は同じ質問を21歳の
娘のジョーダンにもしました。彼女は少し驚いたような表情をしな
がらも頷きました。私はボブに向かって言いました。“大きな魚を
釣ることを信じましょう！”

数時間が経ちましたが、私たちには何もありませんでした。し
かし突然、レイチェルの釣り竿に動きがあり、レイチェルは喜びま
した。彼女は父親に助けを求めました。

数分後、彼らはサメを釣り上げました！すばらしい！レイチェ
ルは信じたものを受け取りました！だから私たちは彼女を褒めました。
ベテランのようだね、と！私は、自分は何も釣ることができない
のではないかと思い始めたのを覚えています。しかし、その思い
を断ち切り、私はすでに大きな魚を手に入れたことを宣言しまし
た。私は、座って落ち着こうとしたとき、神様が語られるのを感じ
ました。“もし、あなたが安心してわたしに委ねるなら、わたしが
あなたに魚を与えよう。”私は釣り人ではないので、自分の能力に
頼ったところで何もできないことはわかっていました。私は座って
深呼吸をし、神様のタイミングを待ちました。20～30分後、私
の釣り竿に何か障害物が引っかかった感覚を覚えました。障害物だ
と思ったものが、実は魚でした。

夫は私の元に来て指示をし、船長もかけつけました。船長は、

私が間違いなく大きな魚を釣り上げると言い、それはレッドスナッパーかも知れないと言いました。私は魚の姿が現れる前に、彼が言い当てたことに驚きました！私が引き上げようとすると、それは本当に9キロほどのレッドスナッパーでした！私は、大きな喜びの中で神様に感謝しました。私はその瞬間、自分の信仰の突破を経験したことがわかりました。私は、ドレンダの信仰をもとに、私も同じ信仰と自信を持つことができると言い聞かせていました。そして、私自身それを手に入れたのです。あなたの働きと、The Faith Huntの本を書いて下さったことに感謝します。私は神様と、あなたの働きが私をさらなる祝福へと動かしてくれたことに感謝しています。私はこれから、さらに大きな信仰を持つことを楽しみにしています。この出来事が、私たちの家族にとっても大きな働きとなったことを知っています！

心を込めて、
S. T.

第5章

誰の選択だったのか？

前の章で分かち合った話の中で、私たちは神の御国が地上で犬、魚、また私たちの生活に必要な車を支払うお金、家を支払うお金などを生み出すのを見ました。これらの話はすべて神の御国によって生み出されたものです。もう少し具体的に言うなら、私たちの神の御国によるものです！私たちは、その方の御国のすばらしさに驚く必要はありません。

2ペテロ1：3にはこう書いてあります。

神としての御力は、いのちと敬虔に関するすべてのことを私たちに与えるからです。

これらすべての話を見てきたので、とても重要な質問をしたいと思います。“誰の選択だったのか？”どういう意味かと言うと、突然、神様はクリスティンに犬を与えることや、妻のドレンダに魚を与えることを決断されたのかという質問です。神様がこれらの出来事を私たちのためになさろうと決断されたのでしょうか？それとも、これらの出来事が起きたのには、他の理由があるのでしょうか？この質問の答えは多くの人を驚かせるでしょう。私も驚かされました。

この質問に答えるために、まずはルカの8章の話を見てみましょう。

イエスがお出かけになると、群衆がみもとに押し迫って来た。とき、十二年の間長血をわずらった女がいた。だれにも直してもらえなかったこの女は、イエスのうしろに近寄って、イエスの着物のふさにさわった。すると、たちどころに出血が止まった。

イエスは、「わたしにさわったのは、だれですか。」と言われた。みな自分ではないと言ったので、ペテロは、「先生。この大ぜいの人が、ひしめき合って押しているのです。」と言った。しかし、イエスは、「だれかが、わたしにさわったのです。わたしから力が出て行くのを感じただから。」と言われた。

女は、隠しきれないと知って、震えながら進み出て、御前にひれ伏し、すべての民の前で、イエスにさわったわけと、たちどころにいやされた次第とを話した。

そこで、イエスは彼女に言われた。「娘よ。あなたの信仰があなたを直したのです。安心して行きなさい。」

-ルカ8:42-48

聖書は、明確にイエス様に群衆が押し寄せたと述べています。ペテロでさえもイエス様の“わたしにさわったのは、だれですか。”の質問に困惑しました。霊的な科学者として、私はなぜ他の人ではなくこの女性だけが癒されたのかを知りたかったし、知る必要がありました。なぜ、イエス様に触れたその他大ぜいの人々ではなく、彼女だけに油注ぎが流れていったのでしょうか？答えはここにありますが、答える前に、別の質問をしたいと思います。イエス様はご自分の意志で彼女を癒されましたか？その方が御手を置かれたのでしょうか？答えは、いいえです。イエス様は、彼女がそこにいたことも知りませんでした。イエス様は、彼女の姿を見なかったのです。誰がさわったのかと聞かれたのです。だから、この場合、誰の選択で彼女はその日癒されたのでしょうか？

別の言い方で質問します。その日神様が彼女を癒す選択をされたのか、それとも彼女が神様から受け取る選択をしたのか？これは、神様から受け取るために“待っている”多くの人々にとってとても重要な質問です。イエス様は、彼女がそこにいることも知らなかったのです。これはイエス様が彼女を癒す選択をされたのではなく、彼女が受け取る選択をしたこととなります。

ここに、とても重要な真理があります。神様は、手当たり次第に誰かを選択して癒されたり癒されなかったりする方ではありません。神様は、すでに私たちにその方の御国の癒しの権威を授けて下さったのです。ですから、現実の世界で私たちが選択するのは、しかし、私は彼女がどのようにしてその力に入ってしまったのかが気になりました。彼女はどのようにして受け取る“選択”をしたのでしょうか？イエス様は、彼女が御国の力を手に入れた方法を明確に語られました。イエス様は、“娘よ。あなたの信仰があなたを直したのです。安心して行きなさい。”と言われました。これは、なぜその日彼女だけが癒されたのかの質問に対する明確な答えです。霊的な科学者として、この話をさらに深く見ていき、彼女が受け取ることができた理由を詳しく見ていきましょう。

まず、イエス様は彼女を“娘”と呼ばれました。それは、彼女がイスラエルに属する人だったからです。彼女が神様と契約を結んでいたことがわかります。また、あなたは彼女がイスラエルの選民だったから合法的に神様から受け取ることができる国民だったと考えることもできます。しか

し、これだけでは彼女が大ぜいの群衆の中で唯一受け取ることができた理由にはなりません。これ以外にも、御力が流れるために必要なことはあつたはずで

す。イエス様は、私たちに彼女が受け取ることができた本当の理由を教えられました。彼女が癒された本当の理由です。イエス様は、彼女の信仰が彼女を癒したと言われました。

今、私たちは彼女が受け取ることができた理由を知りました。まず、彼女はアブラハムの子孫だったので、合法的に受け取る権利がありました。次に、彼女の信仰がそのすべての力を自分の身体に流すスイッチの役割を果たしました。彼女がアブラハムの子孫であるということは、神様がアブラハムに約束された契約の下にいて、その約束を引き出す力が与えられているということです。しかし、それだけでは、あなたのスイッチはオンになりません。あなた自身がそのスイッチをオンにしなくてはならないのです。ですから、私たちが知るべきことは、どこにそのスイッチがあり、そのスイッチが何であるかです。イエス様は、それを信仰と呼びましたが、私たちがオンにすべき信仰とは何でしょうか？これはとても重要な質問です。

信仰とは何か？

信仰とは、クリスチャンが緩く投げ合うものです。私は多くの、いや、ほとんどのクリスチャンが信仰とは何であるかを知らないと思います。なぜ信仰が必要なのか、自分が信仰の中にいるかどうかをどうすれば知ることができるか、そしてどうすれば信仰を見つけることができるのかを知りません。もし、信仰がこの女性を癒したスイッチならば、私たちは信仰を正しく知る必要があるのです！ローマ4：18-21で、私たちは信仰の定義を見ることができます。あなたは、“違うよ、ゲイリー。信仰と言えばヘブル11：1でしょう。”と言うかも知れません。

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

-ヘブル11:1

はい、素晴らしい聖句ですね。しかし、ヘブル11：1は、信仰の益について書いてあり、定義についてはありません。私は、ローマ人への手紙が実際の信仰について私たちに教えていると信じています。

彼は望みえないときに望みを抱いて信じました。それは、「あなたの子孫はこのようになる。」と言われていたとおりに、彼があらゆる国の人々の父となるためでした。アブラハムは、およそ百歳になって、自分のからだ死んでも同然であることと、サラの胎の死んでいることを認めても、その信仰は弱りませんでした。彼は、不信仰によって神の約束を疑うようなことをせず、反対に、信仰がますます強くなって、神に

栄光を帰し、神には約束されたことを成就する力があることを堅く信じました。

-ローマ4:18-21

**信仰は望んでいる事
がらを保証し、目に見えないものを確信
させるものです。**

-ヘブル11:1

に約束されました。聖書には、アブラハムが神様の約束を疑うようなことをせず、堅く信じたと書いてあります。ここで、信仰の定義を見ることができます。“神には約束されたことを成就する力があることを堅く信じること”です。私はこう言います。

天国と合意すること、ただ精神的にそうするのではなく、自然には不可能に見えることでも、神様が言われたことを私たちの心で堅く信じることです。

私たちの信仰の定義

信仰とは、神様が言われたことを堅く信じることです！私たちの心と思いが天国と合意し、私たちの心が堅く信じて大胆になることです。

なぜ信仰が必要なのか？

神様はなぜ病院にいるすべての人を癒さないのでしょうか？なぜ戦争をなくせないのでしょうか？なぜ御使いたちを遣わして人々に福音を伝えられないのでしょうか？あなたもこれらの質問を聞いたことがあると思います。答えは、神様はできないからです。それは、神様に不可能があるということではなく、神様にそれらの権威がないということです。“ゲイリー、あなたは神様は御心のままに行うことができないと言っているのか？”あなたは、今とてもおかしなことを聞いていると思うでしょう。しかし、聖書の中から答えを探してみましょう。

むしろ、ある個所で、ある人がこうあかししています。

「人間が何者だというので、これをみこころに留められるのでしょう。人の子が何者だというので、これを顧みられるのでしょう。あなたは、彼を、しばらくの間、低いものとし、彼に栄光と誉れの冠を与え、万物をその足の下に従わせられました。」

万物を彼に従わせたとき、神は、神に従わないものを何一つ残されなかったのです。それなのに、今でもなお、私たちはすべてのものが人間に従わせられているのを見てはいません。

-ヘブル2:6-8

私たちはこの箇所では、神様が人間に地上でのすべての権限をお与えになったことを見ることができます。何一つ、人間に従わせられないものはありません。人間は、地上を完全な権威によって支配することができました。彼が支配することができる力は、御国の統治によって支えられていました。人間は、神の御国の統治の権威をもって支配することができたのです。人間は、栄光と誉れの冠を与えられました。

これを理解するためには、この世の王を思い浮かべて下さい。王は人間に過ぎず、何か特別な力を持っているわけでもありませんが、王冠をかぶることによって彼自身を表すだけでなく、王国全体の代表となります。王の言葉に権威があるのは、王国とその統治のすべての力を背負っているからです。

警察官が走っているトラックを止めるとき、“止まりなさい。”と言うだけで、法律の中で権威が与えられているので、そのトラックが警察官よりも大きくても、トラックは止まるようになっています。トラックは、その人に言われたからではなく、警察官の権威によって止まります。この場合、運転手はその人自身を恐れているのではなく、その人が持っている警察官という権威を恐れて止まるのです。ここでも同じことが言えます。アダムは地上のすべてを支配する権威を授けられました。神様の御力と統治、栄光と誉れの冠が与えられ、神の御国に代わって、彼の言葉で支配する権威が与えられました。

私たちは、アダムが神様に対して罪を犯して彼の支配する権威が失われたとき、彼が冠を失ったことを知らなければなりません。

地上の権限は変わってしまいました。地上に死がもたらされ、サタンは合法的に人間を支配する権威と影響力を持つようになりました。人間は今も地上のものを支配することはできますが、かつて持っていた霊的な権威は失ってしまいました。墮落しましたが、人間はまだ地上を支配する存在ではあります。しかし、神様の統治である冠は失ってしまいました。人間は、神様の御力と栄光によって支配する権威を失い、誉れの立場も失いました。しかし、人間だけが今も地上への合法的な扉なのです。これが、神様が霊的な人を通してその方の御心を成就される理由です。同じように、サタンも悪霊に憑かれた人を通して自分の計画を成就しようとします。人間の統治の原則は、あなたが御国を理解する上でとても重要であり、なぜある事柄は霊的に起きたり、また起きなかったりするのかとあなたが将来抱くかも知れない疑問の答えとなります。

あなたは、“でも、神様が地上を造られて満たしたではありませんか。”と言うかも知れません。そうです、神様がなさいました。あなたが

これが、神様が霊的な人を通してその方の御心を成就される理由です。

理解しやすいように例を挙げたいと思います。もし、私が所有する家をあなたに貸したとしたら、その家は法律上私のものですが、私はいつでも好きなきときに立ち寄る権利を法的に手放すこととなります。自分の家ではあるけれども、あなたにその家を貸した以上、あなたに知らせることなく勝手に立ち寄ることはできません。もし、私があなたの許可なしに家に入るなら、それが私の家であっても法的には不法侵入になってしまいます。もし、私が賃貸契約に明記された法律に違反した場合、私はその家を所有しているにもかかわらず、法的に明け渡しを強制される可能性があります。サタンはアダムに地上の権限を持たせる必要がありました。アダムだけが鍵を持っていたからです！サタンは地上を支配するために扉を通る必要がありました。アダムがその扉だったのです。もし、サタンが自力で鍵を手に入れようとしたのなら、彼は追い出されていたでしょう。

また、悪魔はイエスを連れて行き、またたくまに世界の国々を全部見せて、こう言った。「この、国々のいっさいの権力と栄光とをあなたに差し上げましょう。それは私に任されているので、私がこれと思う人に差し上げるのです。ですから、もしあなたが私を拜むなら、すべてをあなたのものとしましょう。」

-ルカ4:5-7

この箇所では、悪魔は地上のいっさいの権力と栄光（富）が自分のものであることを宣言しているのがわかります。誰が悪魔にこの権威を授けたのでしょうか？その権威を持っていたアダムです！ですから、神様は御思いのままに突然現れて事を成就されることができないのです。もし、神様がそうされるなら、悪魔は不正行為だと責め立てるでしょう。そうではなく、神様もまた人間という扉を通して地上に事を行わせることができるのです。

しかし、そのように用いられる人間はいるのでしょうか？

その後、主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」

-創世記12:1-3

アブラハムは、すべての民族が彼によって祝福されるという地上の扉を開いたので、私たちの信仰の父と呼ばれています。もちろん、この箇所はアブラハムの信仰を通して後に来られるイエス・キリストが地上のすべての権限を回復させるために来られ、すべての民族が祝福されることを意味しています。アブラハムの信仰は、神様が閉められた天の門を合意する（契約）ことで、合法的に開くことができました。

私の言ったことを説明させて下さい。天の門は、人間によってのみ開くことができます。なぜなら、人間に地上での権限が与えられているからです。その権限は、人間が完全に神様の言われること（信仰）に説得されたときに成し遂げられます。

他の言い方をするなら、神様の統治と権威の下にいたいと願い、それを選択する人によって天の影響力を地上に解き放つことができるのです。これは、サタンがアダムを使って地上での権限を手に入れようとしたことと同じです。サタンは、アダムに神様に信頼できないようにし、アダムの心を神様から引き離しました。その結果、アダムは神様の権威を拒み、サタンを信じたのです。

この同じ原理で、神様はアブラハムを通してその方の統治と権威を地上に解き放とうとされました。アブラハムは神様を信じ、神様に合意することで天のものを地上に解き放つ扉となったのです。

神様とアブラハムの両者によって合意されることで、神様は合法的に（契約）天のものを地上に解き放つことができますが、重要なことは、この合意はアブラハムとその子孫にだけ適用されます。これは、割礼を受けたアブラハムの子孫にだけ与えられました。割礼とは、男性のペニスから包皮を切り取ることです。男性が女性に種を植えるとき、割礼を受けたペニスを通して女性の中に種が植えられますが、それは、サタンと父親と母親にこの子どもは神様とアブラハムが合意した契約による子孫であることを宣言するものになります。

私たちがすでに知っているように、合意した人間は合法的に力が与えられていますが、その力を使って神様とアブラハムが合意した契約を自分のものにし、そこからくる益を楽しむためには、神様が言われることに完全に説得されて、心から受け取らなくてはなりません。それは、電流はすでに流れているけれども、自分の意志でスイッチをオンにして電気をつけることと同じです。

はい、私たちは今、信仰が何であるかを知り、信仰に何が必要であるかを知りました。

これから重要なことは、どのようにして私たちが信仰を持ち、そしてどのようにして私たちが信仰の中にいることがわかるのかを知ることです。

どのようにして信仰を持つのか？

ここにヒントがあります。信仰のために祈ることはできません。驚きましたか？

そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。

そのように、信仰は
聞くことから始まり、
聞くことは、キリストに
ついてのみことばに
よるのです。

-ローマ10:17

-ローマ10:17

どのようにして、神の御言葉を聞くことから信仰が始まるのでしょうか？そこにすべてがあるのでしょうか？過程はあるのでしょうか？御言葉を聞くだけで、人間に信仰が生まれるのでしょうか？どのように信仰を持つのか、そしてローマ10：17を理解するために、マルコの4章を見てみましょう。もし、あなたが聖書を上に投げるなら、落ちたときにマルコの4章が開かれるでしょう。そのくらい重要な箇所です！イエス様は、マルコ4：13で、もしあなたがこの章のイエス様の教えがわからないのなら、あなたは聖書の他の例えも理解することができないと言われました。これはかなり重要なことです！

なぜこの章が重要なのでしょうか？なぜなら、この章はどのようにして天が地上で解かれ、どのようにそれが合法化され、そしてどこで解かれるかについて教えているからです。この章が教えていることを理解することは、あなたの信仰にとって必要不可欠です。“神の御国はどのように機能しますか？”と聞くならこう答えます。マルコの4章を読んで下さい！この章で、イエス様は3つの例え話を用いて私たちにどのようにして信仰が芽生えるのかを教えられます。その信仰は、あなたがすでに知っている通り、天のものを地上に解き放つ信仰です。

この章に出てくる3つの例え話は、種を蒔く人の話、人が地に種を蒔く話、そしてからし種の話です。

まずは、マルコ4章でイエス様が話された2つ目の例え話から見ていきましょう。

また言われた。「神の国は、人が地に種を蒔くようなもので、夜は寝て、朝は起き、そうこうしているうちに、種は芽を出して育ちます。どのようにしてか、人は知りません。地は人手によらず実をならせるもので、初めに苗、次に穂、次に穂の中に実がはいります。実が熟すると、人はすぐにかまを入れます。収穫の時が来たからです。」

-マルコ4:26-29

この内容に入る前に、まず私たちの言葉で表してみましょう。

イエス様が言われている種と地は何を指しているのでしょうか？イエス様は、一つ前の例え話のことを話しておられます。種は神の御言葉であり、地は人間の心や霊を指しています。ですから、この章でイエス様が言われたことをまとめると、人が自分の心に種を蒔いたこととなります。人手によらず、地上に信仰（天と合意する）を生み出すのです。

先に進む前に、信仰の定義を思い出する必要があります。人間の心が天の言っていることに完全に説得されたものです。この箇所にもあるように、人はその過程を知らないけれども、人が自分の心に蒔いた御言葉は知らないうちに成長し実を結ぶのです。これは、人が寝ていても起きていても関係ありません。そうこうしているうちに成長します。人が心に御言葉を持ち続けるなら、人の心はゆっくりと天の言っていることに同意し、そして信仰は実を結びます。

マルコ4章の聖句の参照を見ると、心は過程を通して実を結ぶと書いてあります。例え話は、私たちが御言葉を受け取ったとき、信仰が芽を出し始めると言っています。イエス様は、種が芽を出すとされました。初めに苗、次に穂です。しかし、まだこの段階では実を結んでいま

誰の選択だったのか？

せん。イエス様は、それから穂の中に実が入ると言われました。その成長過程を通り、穂の中に実が入ったとき、合意があり、信仰があり、天が人の心に蒔いたものをその人は収穫するようになります。

今、集中して下さい。実際に起きたことを復習しましょう。

天は人の心の同意が必要な地上に神の御言葉を蒔きました。

その時はまだ、人の心は天に同意していない状態です。しかし、心に蒔かれた種は成長の過程に入り、人手によらず同意に向かって成長を始めます。イエス様は、この過程を私たちにさせるためにすばらしい例え話をされました。農家の人が種を蒔いて、どのようにして種が成長していくのかと比較して、イエス様は信仰がどのようにして成長するのかを教えられました。自然界では、穂の中の種が成熟すると、地に蒔かれた種とそっくりになります。もう一度言わせて下さい。

穂の中の種が成熟すると、地に蒔かれた種とそっくりになります。

とうもろこしの苗を植えれば、穂の中の成熟した種子は植えた種子と同じ見た目になります。見た目も味も同じです。あなたはその違いを見分けることができません。同じだからです。

イエス様が言われたことを説明させて下さい。私たちが御言葉（ローマ10：17）を聞くと、私たちは心に神の御言葉を蒔くことになります。もし、私たちがその御言葉を心に留めるなら、それは成長し、それが成長すると、私たちの心に描いたこと（地上のもの）が天の言っていることと一致するようになります。別の言い方をすれば、私たちが天の約束を心に留めるなら、それは人手によらずゆっくりと実を結ぶようになります。最終的に、あなたの心は天の言っていることに完全に説得され、そこに合意が生まれます。例えば、あなたが病気になったとき、あなたの体はあなたに病気であることを伝えます。あなたが、イエス様があなたの病のために代価を支払われたという御言葉を蒔いたなら、あなたの体はゆっくりと人手によらず、神様の言われたことに反応していくのです。

その御言葉があなたの心の中で成熟したとき、**あなたが**信じて宣言することで癒されます。そのときは、ただ天の言っていることを引用するだけではありません。あなたの心が大胆に宣言するのです。

あなたが、“癒された”というとき、それは引用した言葉ではありません。あなたが信じた結果を告白しているのです。天の言っていることが、今はあなたの現実となりました。

ヘブル11：1にはこう書いてあります。

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

信仰があるとき、天の言っていることに対しての確信がありますが、また他の過程があることも知らなくてはなりません。

人は、自分の心に蒔かれたものを実際に刈り取らなくてはなりません。

実が熟すると、人はすぐにかまを入れます。収穫の時が来たからです。

心が天と合意していて、天の現実があなたの現実になっているとしても、まだ自然界では何の変化も起きていません。なぜなら、人が地上での権限を持っているので、人によってのみ天の権威を地上に解き放つことができるからです。神様は人を用いずに解き放たれることはありません。私は、聖句を通してこのことをあなたに見せることができます。

人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

-マルコ4:29

御言葉を信じる心で信仰を生み出し、そして義と認められるのです。義とは、原理の運営を意味しています。よって、人の心が天に同意するとき、その心は天の言っていることに完全に説得され、その人は義と認められます。それで天のものが合法的に地上に解き放たれるのです。しかし、義と認められるだけでは、神様の御力を解き放つことはできません。家にすでに電流が流れているけれども、電気をつけるためにはもう一つしなければならないことがあるのと同じです。なぜでしょうか？ローマ10:10が言っているように、義と認められたあとにもう一つすべきことがあります。

天と地の前に立って義と認められた人は、実際に地上に神様の油注ぎを宣言し、そして解き放たなければなりません。私が話していることが理解できるまで、この聖句を何度も何度も読んで下さい。信仰はこのように働きます！これは、天を地上にもたらす方法であり、心が天に同意し、そして私たちの言葉と行動が実際に天の力を解き放つ方法です。注意深く、もう一度この聖句を読んで下さい。私たちこそが、ここに天の権威を解き放つ人なのです。

天が合法的な扉である人を探し、地上で義と認めるということが、マタイ16章とマタイ18章に書いてあります。

まことに、あなたがたに告げます。何でもあなたがたが地上でつながなら、それは天においてもつながれており、あなたがたが地上で解くなら、それは天においても解かれているのです。

-マタイ18:18

イエス様は、ここで天の御国の鍵（権威）を地上の教会に与えると言われました。イエス様は、何でもあなたが地上でつながなら天でもつながれており、あなたが地上で解くなら天でも解かれると言われました。再び警察官を思い浮かべて下さい。警察官は権威がありますが、力があるのは政府です。警察官は政府が持っている鍵、あるいは権威が与えられているので、政府が所有しているものを使うことができます。何でも警察官が言うことは、政府が言っていることになるのです。人間だけが地上で支配する権威が与えられているので、人間だけが天に地上での権限を渡すことができることを心に留めて下さい。

あなたが信仰について知るべき重要なことがもう一つあります。マルコ4章の聖句をもう一度引用させて下さい。

地は人手によらず実をならせるもので、初めに苗、次に穂、次に穂の中に実がはいります。

-マルコ4:28

私はこの例え話の中で、イエス様は土地を人の心や霊に例えられたと言いました。どこで信仰が芽生えるのかを見て下さい。驚きましたか？多くの人が信じているような天で生産されるものではなく、この地上で、しかもあなたの心の中で生産されるのです。ですから、あなたはそれを神様に祈って求めることはできません。天では信仰は必要ないのです。私たちは天に行ったときに同意する必要はありません。そうではなく、信仰は地上で必要であり、それは人の心の中でのみ生み出されるものです。マルコ4章の例え話が教えているように、信仰を持つ方法はただ一つです。あなたの心の中に神の御言葉を蒔いて、同意の過程を通してそれを成長させていくことです。ですから、もし信仰が必要なら、どうすれば良いのでしょうか？神の御言葉を心に蒔き、信仰が実るまでそれを成長させることです。これが信仰を持つ唯一の方法です。

これは、天を地上にもたらず方法であり、心が天に同意し、そして私たちの言葉と行動が実際に天の力を解き放つ方法です。

マルコ4章の話を終える前に、一つ話したいことがあります。

実が熟すると、人はすぐにかまを入れます。収穫の時が来たからです。

-マルコ4:29

私は、ほとんどの教会がかまの入れ方を正しく教えていないと思います。それは、必要なものをどのように収穫するのかを教えていないということです。一般的な教会は、どのように与えるかについては教えますが、蒔いた種の刈り取り方についてはあまり教えていません。イエス様がこの箇所でもとても具体的に話されたのは、実が熟したとき、私たちがかまを入れなくてはならないということです。私たちが信仰の中にすばらしい種を蒔いたとしても、かまを入れなければ何も収穫することはできません。私は、主がどのようにして御国が機能するのかを教えてください。このことを知りませんでした。わかりやすいように、いくつかの例を挙げたいと思います。

私は、アトランタにある教会に講師として招かれました。それは水曜日の夜の礼拝で、教会はそれほど大きくはありませんでしたが、私は気になりませんでした。私はただ御国について人々に教えるのが好きで

した。私とその教会に着いたとき、すべての扉は閉まっており誰もいなかったので不思議に思いました。

礼拝が始まる10分前でした。私は後ろからトラックが大きな音を出しながら入ってくるのが聞こえました。正常な音ではないことがわかります。私が振り向くと、教会の駐車場に止められた一台のとても古く壊れたトラックが見えました。私は何とも思いませんでした。ただ、アトランタの中心街にいただけです。私が待っていると、教会の裏側から一人の男性が歩いて来て、自己紹介したのでこの教会の牧師であることがわかりました。彼は、古いトラックになかなかエンジンがかからず、遅れて申し訳ないと言いました。彼は、トラックを走らせるためにはまず下り坂を利用して、ある程度スピードが上がってきたら、そのときクラッチを繋ぐと言いました。車のエンジンがかからないことの方が多いので、そのときは8キロの道のりを教会まで歩いて来なくてはならないと言いました。

彼が自分の教会のことを話しているうちにわかったことは、彼は牧師であるけれども、助けが必要な人々のために毎月一人の食事を用意していることでした。彼らは、毎月一人を超える人々に食事を提供していました。牧師が話し続けている中で、私はだんだんと腹立たしくなりました。ここに毎月一人以上の人に食事を提供している神の人がいるのに、その神の人は正常に走る車すら持っていないのか？一人を超える人々にとっては、彼が唯一の神の姿を現す人物なのに、もしその人物が炎天下の中、8キロの道のりを歩いて教会に行っているのを見たら、彼らの心にどのようにして神様は助けてくださる方であるという信仰が湧くのでしょうか？私は何とかしたいと思いました。私は家に彼に渡すことができる車がありました。私は彼に、私の計画を話し、スタッフの一人がアトランタまで車を運んでくることを伝えました。当然、彼は喜びました。私はその夜、彼とその教会の信徒たちに神の御国について教え、どのようにしてお金にも機能するのかを教えました。

私は家に戻ったとき、アトランタまで車を手配しました。

私のスタッフが家に車を取りに来たとき、私は天で霊的な取引をしていることがわかりました。私が車を神の御国の中に解き放ったとき、私は私自身が必要な車のために神様を信じることができました。

私は、それほど車に興味がありません。ある人たちは車が大好きですが、私はそうではありません。車は私にとってただの道具に過ぎません。もちろん良い車を持つ方がいいですが、私はいつも車を取り替えなければならないときまで乗ります。

私のスタッフが家に来たとき、私は車庫に行き、車の上に手を置いて言いました。“父よ、私はこの車をあなたの働きのために手放します。この車を手放すとき、私もまた車を得るようにして下さい・・・”私は躊躇しました。神の御国はとても具体的であることを知っています。ただ、漠然と“車”と言ったのは違うと感じました。また私は、ドレンダと話し合っただけに必要種類の車を求めるべきだと思いました。私がそこに立って考えているとき、私は自分がどんな車を求めているのかすら知らないことに気づきました。そこで私は、もう一度言いました。“主よ、私は今日あなたの働きのためにこの車を手放します。そして、私はとても良い車を受け取ることを信じてますが、車の種類などはまた後ほどわかってからお伝えします。”そのあと本当に車は行ってしまいました。私は本当に“あの車が欲しい。”という車が思い付きませ

んでした。

数ヶ月が経ちました。もちろん、ドレンダは私とその車を手放すことに同意しましたが、彼女もまた具体的に欲しい車がありませんでした。それから二ヶ月間、私たちは車について話し合い、ある日ついにドレンダが、“オープンカーだったら楽しそうね。”と言いました。私も彼女に同意しましたが、オープンカーにも様々な種類があります。私たちはどのような種類のオープンカーが欲しいのかわかりませんでした。しかし、ある日私たちがランチに出かけたとき、突然妻が言いました。“あれよ！”“あれって何だ？”私が言いました。“あれよ”と言いながら、妻は私たちが入ろうとしているレストランの駐車場に停めてある車を指しました。“どの車だろう？”と私が言いました。“私が欲しいのはあの車よ！”妻が指している方向を見ると、カッコいいオープンカーが停車してありました。私は、“近くに行ってもこの車なのか見てみよう。”と言いました。私たちはその車の後ろに車を止めました。

私たちが欲しいと感じたのも無理はありません。それは、BMW 645Ciのオープンカーで、とても高い車でした。正直に言うと、私はその車を見たときに、“主よ、どうすれば良いのでしょうか？”と考えました。BMWの新車を買う1,700万円はないけれども、神様が驚くべきことをなさる方であることは知っていました。ドレンダと私は車の購入を考えていることや、車が必要であることを誰にも伝えませんでした。

約二週間後、ドレンダの兄が電話をかけてきて、“ドレンダの車を見つけたよ！”と言いました。私は、“ドレンダの車を見つけたとはどういう意味ですか？”と言いました。彼は、“私はこの車が安く売られているのを見て、理由はわからないけれども、突然これがドレンダの車だと感じたんだ。だから電話したんだよ。”と言いました。私は、“その車は何ですか？”と聞きました。“BMW 645Ciで、完璧だよ。本当に完璧なんだ。数年前のものだけど傷もなく、完璧だよ。それと、あなたはその車を売っている人を知っているよ。”“私の知っている人ですか？”と聞きました。“そうだよ。彼に電話してみるといいよ。”と彼は言いました。彼が、私たちの求めていた車をドレンダの車だと言い電話をしてきたのを見ると、神様が何か事を始められたのがわかりました。

私は、その車を売っている男性に電話をかけました。はい、彼は私の知っている人で、その車がいかに良い状態なのかを話してくれました。そして、彼はこう言いました。“今あなたと電話をしていて感じたことは、この車がドレンダの車であるということです。”私は、彼にドレンダのために車を探していることも伝えていませんでした。彼は続けて言いました。“私はこの車を400万円であなたに売りたいと考えています。”私は自分の耳に聞こえた言葉に驚きました。その車はもっと高く売ることができます。私がこのことをドレンダに伝えたとき、彼女は大喜びでした。私たちはその車を現金で買い取り、今に至るまで乗っています。今も問題なく走り、見た目もカッコいいです。車に傷はなく、私たちはこの車でいろいろな所に行きました。

私たちの最高の思い出は、トランクにキャンピング用品を詰めてコロラドの山をオープンカーで走ったときです。私たちの娘のクリスティンも一緒に行き、夜の高速道路をオープンカーで走りながら、後部座席に座っている娘は天の星々を見ながら眠りに着きました。星がとてもきれいに輝いていたのを覚えています。高速道路を走る車も他になく、空気が澄んでいて最高の旅の思い出になりました。それから二週間ほど山道を

走りましたが、その車の快適さに驚きました。一言で表すならこれです。すばらしい！

しかし、ここに1000万円を超える質問があります。この車はどのようにして私たちの元に来たのか？なぜこの車は、ドレンダが、“あれよ！”と言った通りの車だったのか？私は、神の御国がこの車を私たちに与えて下さったことを知っています。私が自分の車を牧師のために蒔いたとき、私は霊的な原理をそこに置いたのです。私は、ただの車ではなく、SUVでもジープでもなく、良い車を受け取ることを宣言しました。しかし、ドレンダと私がかまを入れなくてはなりません。私が信仰の中で車を手放したとしても、ドレンダが、“あれよ！”と言ってかまを入れるまでは新しい車を

神様は、私のためにイエス様を遣わされ、御国を与えられたとき、ただ私を愛しておられることを示して下さいです！

受け取ることではできませんでした。

この原理を用いて、また別の出来事がありました。あなたが知っているように、私は狩りが好きです。私は、狩りをするのに適した環境に住んでいることも、また自分の狩り場を所有していることも感謝しています。私の狩り場には、草木が茂っている森と沼地があります。私は、毎年鹿とりすを狩ります。アヒルやガチョウも飛び回っていますが、なぜか私はそれらを狩ろうとは思いません。一度か二度は、息子たちと一緒に沼地に行った際に夕食のためのガチョウを狩ったことはありました。しかし、アヒルは一度も狩ったことがありませんでした。

数年前、数十羽のアヒルが沼地に降り立ったのを見ていて、アヒルを狩ってみようと思いました。とても興奮しました！その秋の狩りの最中に、私は本気でアヒルを狙うための練習をする必要があると感じました。また、彼らは食べても美味しいことがわかりました。私は、アヒルを狙うとほとんど失敗してしまったので、原因をよく考えてみると、うさぎや鹿を狩るときに使っていた散弾銃を使ったことが原因だと気づきました。誤解しないで下さい。私が使っていたレミントン11-87モデルはすばらしい銃で、好きです。しかし、私はアヒル狩り専用の銃があることを聞きました。カモフラージュが施され、3.5インチのマグナム弾が装填できます。私は、次のアヒル狩りの時期までにその銃を探しておこうと計画しました。

アヒルの狩りの時期は終わり、一月になっていたのも、私は散弾銃が並べられている所に向かい、アヒル専用の銃がどのようなものかを見ることにしました。私が散弾銃のコーナーに行くと、アヒル狩り専用のコーナーがあるのを見つけました。私はその中から一つ選んで買おうとしましたが、20万円を超えるもので、しかも狩りの時期はまだ数ヶ月先です。“待とう”と思いました。しかし、私は店を出る前に普段とは違う行動をしました。自分でもなぜそうしたのかわかりませんでした。ただ、何も考えずに行動しました。私はその銃を指しながら大きな声で言いました。“イエス様の御名によって、私はあの銃を手に入れる。”何も考えずに言いました。私はただ、その銃を手に入れることを宣言したのです。私の心には、アヒル狩り専用の銃が明確に描かれていました。

数週間後、私はビジネス集会の講師として招かれていて、そこで起きた出来事は私の注意を引きました。私が話し終えたあと、その会社の社長が私の元に来て、感謝を込めて贈り物を渡したいと言いました。彼は、“私たちはあなたが狩りが好きなのを知っているので、この銃を買いました。”と言いました。私は、私が店を出る前に指して宣言した銃と完全に同じアヒル狩り専用の銃を受け取ったことに驚きました！見えてきましたか？どのようにして欲しがっていた銃がここにあるのでしょうか？私はこれまでたくさんの銃を手放してきましたが、一度もかまを入れたことはありませんでした。私は与える心で、それらの銃を手放してきましたが、信仰でかまを入れたことはなかったという意味です。私は一度も、“主よ、あれです！あれが欲しいです。”とは言いませんでした。しかし、私が今回宣言したとき、収穫することができました！

私は、この話を友人である牧会者に話しました。彼は、“確かに神様はときどきそのようなことをなさるね。神様は小さな贈り物で、ただあなたのことを愛しておられることを見せられるんだよ。”と言いました。犬、魚、計画した通りの鹿、車、すべてを与えて下さいました。神様は、私のためにイエス様を遣わされ、御国を与えられたとき、ただ私を愛しておられることを示して下さいました！

私は、あなたにもう一つの収穫の話をしたと思います。先ほど話しましたが、私はそれほど車に興味がありません。私たちは車の取り替えの時期が来るまで乗ります。一つの例として、私たちには8年乗っているHonda Pilotがあります。その車は使えるし、普通に走るし、状態も良いので、私たちはまだ乗っています。しかし、多くの人を乗せることができる大きなSUVを買うことも検討しました。少し前に、私たちが主催した集会のためにCadillac Escaladeを借りて、ドレンダと私が運転しました。私たちは気に入りました。

私たちはその真珠のような白い色が気に入り、大きいバージョンよりも私たちが運転した小さいバージョンが気に入りました。私たちは、“Cadillac Escaladeのパールホワイト、小さいバージョンが欲しいです。これを買う必要があります。”と言いました。私たちは忙しかかったので、車を探したり見たりする時間はありませんでした。

一ヶ月後、私が玄関を出てポストの郵便物を取りに行こうとしたとき、突然電話が鳴りました。ある男性が、“先生、私はあなたにCadillac Escaladeを買おうとしています。色は何色がいいですか？”と言ったので、私は、“すばらしいですね。ドレンダと私はパールホワイトがいいです。”と言いました。彼は、“わかりました。先生方が好きなもので探してみます。”と言いました。私は興奮の中で、小さいバージョンがいいことを彼に伝え忘れてしまいました。彼は、1、2年前のもので傷はなく完璧な状態のものを探すとしました。

それから何の連絡もありませんでしたが、一ヶ月後、“私はあなたの車を見つけました。あの時間にあの場所で会いましょう。そのときに乗って帰って下さい。”と電話がありました。私たちが待ち合わせ場所に行くと、そこにはパールホワイトのEscaladeの小さいバージョンがありました。美しい車でした。“時間がかかってしまっただけです。”と彼が言いました。“私はずっと大きいバージョンを探していたのですが、どこにも見つからず、見つかったのはこの小さいバージョンでした。大丈夫ですか？”“大丈夫ですか？”ですって？私たちが求めていた車はまさにこの小さいバージョンです！

また、質問させて下さい。私たちが欲しがっていたEscaladeはどのようにして現れたのか？まず、私は牧師にあげた車以外にも、8台の車を手放してきました。しかし、私はドレンダがBMWを見て、“あれよ！”と言うまでは、一度も宣言したことはありませんでした。ドレンダと私は合意して大きな声で宣言しました。“あれです！”私が言ったように、教会は与えることについては教えますが、収穫することについてはあまり教えていません。あなたは、これらの話を通して、かまを入れることがわかりましたか？理解できる話であってほしいと願います！私は、信仰でたくさん車を蒔いてきましたが、ドレンダと私は新しい車を手に入れることは考えていませんでした。しかし、私たちが、“あれです！”と宣言したとき、車は現れました。かまは私たちの言葉だったのです！

死と生は舌に支配される。どちらかを愛して、人はその実を食べる。

-箴言18:21

教会が告白することについて教えていた時期がありました。私もその中にいたし、あなたもいたかも知れません。あなたは何かを言って手で口を抑え、“私の告白に気をつけなければならない。”と言ったでしょうか。その行動に何か問題があるようには見えないし、あなたの心に御言葉を守らせるための助けにはなると思えます。しかし、あなたの告白に気をつけることは、かまを入れることとは何の関係もありません。本当ですか？あなたは今、かまは私たちの言葉だと言ったではありませんか。そうです、言いましたが、ただ正しいことを言うだけでは鍵とは言えません。

まことに、あなたがたに告げます。だれでも、この山に向かって、『動いて、海にはいれ。』と言って、心の中で疑わず、ただ、自分の言ったとおりにになると信じるなら、そのとおりになります。

-マルコ11:23

ここでもわかるように、マルコの4章のかまは、あなたの言葉です！マルコの4章でかまについて触れたときは、すでに信仰の過程とそれをどのように受け取るかについて触れた後でした。実が熟すると、収穫の時が来たのでかまを入れると書いてあります。

あなたが信仰の中において、あなたの心が天と合意しているので収穫の時が来ました。上のマルコ11章の聖句も同じ原理です。あなたの心が御言葉を信じ、それから天の権威を宣言し解き放つのです。しかし、この部分に注目して下さい。“自分の言ったとおりにになると信じるなら、そのとおりになります。”信仰の試練は、あなたが自分の言ったとおりにになると信じるかどうかです。ただ、御言葉を告白したり宣言したりするのは、信仰とは言えません。あなたの心が天と合意せず、口で告白しないなら、何も起こりません。ですから、私たちは自分の告白に気をつけるべきでしょうか、心に気をつけるべきでしょうか？

誰の選択だったのか？

良い人は、その心の良い倉から良い物を出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を出します。なぜなら人の口は、心に満ちているものを話すからです。

-ルカ6:45

力の限り、見張って、あなたの心を守れ。いのちの泉はこれからわく。偽りを言う口をあなたから取り除き、曲がったことを言うくちびるをあなたから切り離せ。

-箴言4:23-24

ここに明確に書いてあるように、私たちは心の中にあるものを話します。マルコの4章を見ると、私たちは実際に私たちの心が信じていることを変えることができ、信仰で天に合意することができます。それから、完全に説得され、私たちは言葉と行動にかまを入れます。わかりましたか？良かったです。次に移りましょう。

私たちが信仰について見ていく前に、私はあなたが答えることができる質問をしたいと思います。

私が信仰の中にいることを、どうすればわかりますか？

これは、とても重要な質問であり、信仰の中にいなければ信仰によって祈ることができないので、私たちが必ず答えなくてはならない質問です。あなたが信仰の中にいるかどうかを知る方法はたくさんあります。あなたが信仰の中にいないとき、あなたは多くの間違った悪い選択をすることができます。恐れによる選択は、いつもあなたを地上の呪いに縛り、神様があなたに求めておられることを見れないようにします。それでは、信仰の中にいる確信は何でしょうか？簡単です。私たちが見た信仰の定義に戻り、あなたの心が完全に説得されているかを確かめる方法です。しかし、多くの場合、私たちは説得されていると思っていても、それは考えの中だけであって心からではありません。その違いに気づかなくてはなりません。あなたが完全に説得されているとき、当然、あなたの考えも御言葉の知識に同意しますが、平安と期待をもたらす自信がそこにあるべきです。

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

-ヘブル11:1

もし、あなたが何かを持っていると確信するならば、それを保証するものをさらに求めるでしょうか？求めないと思います。それと同じように、あなたが信仰の中にいるとき、たとえまだ見えなくても神の御言葉

が言っていることに対する知識、平安、そして自信を持つことができるのです。多くの人はこう言います。“私が持っていることは知っています。”この知っているとは、状況によるものではなく、あなたの内側にあるものです。これは、あなたの霊や心の中にあるものです。恐れは去り、心配はなくなりますが、あなたはこれを心で知ることができます。

信仰は望んでいる事 がらを保証し、目に見えないものを確信 させるものです。

-ヘブル11:1

ますか？自分の立場をどのようにして守りますか？答えは一つです。それは、神の御言葉です。

例えば、誰かがあなたの家にやって来て、“おい、この家から出て行け！”と言ったとします。あなたは、“あら、ごめんなさい。すぐに支度して出て行きます。”と言うのでしょうか？いいえ、言わないはずです。あなたはきっと呆れるでしょう。もしその人があなたに、“ここは私の家だ。早く出て行かないなら、法廷で会うことになるぞ。”と言っても、あなたは、“喜んで法廷で会いましょう！”と答えるでしょう。法廷でも、あなたは落ち着いて裁判官に自分の立場を主張することができます。裁判官はその人を見て、すべての法廷にかかる費用を払わせ、彼は逮捕されるでしょう。あなたの自信は、あなたの感情によるものではなく、あなたが実際に家の持ち主であることを証明する法律によります。

信仰の中にいることを勘違いしている人をたくさん見て来ました。彼らは、唯一の確信である神の御言葉から自信を得るのではなく、自分の行動から信仰を得ようとしています。自分で行動することと、御国の力である神の御言葉を行うことは異なりますが、混乱しやすいものです。例えば、もしあなたが神の御国にお金を蒔いたとして、私があなたになぜあなたが受け取ると信じていることができるのかと聞いたとき、あなたの答えがこうであってはなりません。

“なぜなら、何月何日、私はこのくらいのお金を蒔いたからです。”この答えは、ただ自分の行動にだけ目を向けていることになります。あなたの確信は、必ず神の御言葉から来なくてはなりません。

私は多くの人にこの質問を投げかけてきましたが、ほとんどの人は私を見つめるだけで答えを持っていませんでした。私は質問するとき、彼らの天に同意する信仰を探しています。私は、“私は神様がそのように約束されたので、受け取ると信じています。”という答えが聞きたいのです。彼らがもし確信となる聖句を知らないなら、彼らは自分たちがどこに向かっているのかも知らないのです。

あなたが、神様の御心を知るときに信仰が芽生えることを忘れないで下さい。

なぜでしょうか？信仰は、あなたの心が神様の御心に同意するときのみ芽生えるからです。多くの人が信仰の中にいないにもかかわらず

信仰の中にいるしるしとして、喜びと期待があります。あなたの答えはここにあります。あなたが持っているのです！信仰は、あなたが持つことになる平安や自信の感情ではありません。あなたは、霊的にも自分の立場を守る必要があります。法廷を思い浮かべて、あなたが弁護士だしましょう。あなたは、なぜ自分が弁護することを信じて自信を持つことができ

ず、信仰の中にいると勘違いしています。彼らの思いは、神の御言葉が真実であることに同意していますが、信仰は彼らの心が完全に説得されるときに芽生えるものです。多くの人は、思いは神の御言葉に同意していますが、心はまだ確信していません。

多くの人が実際には信仰の中にいないにもかかわらず、信仰を持っていると勘違いしていることを表している良い例えがあります。もし私が最近空の色は、みんなが思っている青ではなく黄色だったことを発見したと言ったらどうですか？私が、私たちはこれまで色について間違っ
て教えられてきたこと、私たちが青だと思っていた色は実は黄色だったと言ったらどうしますか？あなたはショックを隠しきれず、携帯電話を取り出してすぐにあなたの小学生の頃の先生に電話をかけて、間違いを教わったことで自分の人生がめちゃくちゃになったと言って先生を責めるでしょうか？そうしないと思います。それほど感情的な反応はしないと思います。

あなたはきっと私の言ったことは馬鹿げていると思い、気にせずに自分の仕事に戻るでしょう。なぜでしょうか？なぜなら、あなたは青は青だと完全に説得されているからです！

私の話を信仰の話と比べてみましょう。あなたは、癒しについて神様が言われたことに完全に説得されているとき、医者があなたに末期癌で死ぬと告げたらどうしますか？あなたは医者を見ながら、馬鹿げていることを言っていると思うのではないのでしょうか。なぜ？あなたはイエス様が病のために支払われた代価に完全に説得されているからです。わかりますか？もちろん、多くの人は祈りますが、私が見る限り、それは信仰の祈りではなく、希望の祈りであり、不安の中で祈っています。私の友よ、だから神の御言葉の上に自分自身を建て上げることはこれほどまでに重要なのです。私たちは、神の御心を知ることによって神様が言われることに自信を持つことができ、またそれによって神の御心でないものを拒むことができます。神の御言葉を人生の糧にすることの大切さを学ぶことができる話を、私自身の話を通して見ていきましょう。

ビジネスの経営者（教会の牧師になる前のこと）として、忙しい数週間を過ごしていた私は疲れていました。手数料で生活しているプレッシャーの中で私のスケジュールは、営業の電話で埋まっていました。私は定期検診のために歯医者に行く予定でした。プロカインの注射を打たれるまでは、すべてが順調でした。医師が針を刺したとき、衝撃が走り、突然私は顎の感覚を失って麻痺した状態になりました。私は驚いて医師にそのことを伝え、医師は、“もしかしたら神経に触れてしまったかも知れない。でも、普通はすぐに良くなりますよ。”と言いました。何だって？私が聞き間違えたのか？“あの、すぐに良くなるとはどういう意味ですか？”彼は、“80～85%の人は後遺症などがなく、良くなりますよ。”と言いました。

何だって？突然、私の中で恐れが芽生えました。どうすれば良いのか？放っておけば良くなるのか？私の考えは恐れによって支配され始めました。治療が終わった後も、普段の治療後とは違って私の顔は麻痺したままでした。私は取引先の家に行くまで1時間以上あったので、いろいろなきことを考える時間がありました。しかし、取引先と会う時間まで私はただ不安で、痛みはなくても平安がなく恐れに支配されていました。その日の仕事終わりに、私は友人の家に寄りました。私の顔はまだ麻痺していたので、私は誰かによって治るとい言葉が聞きたかったのです。これが間違いでした。神の

御言葉の代わりに、それほど信仰もない友人の元に行くことを選びました。私は、歯医者で起きたことを彼に話し、“ゲイリー、大丈夫だよ。そんなに心配しなくてもすぐ良くなるよ！”という言葉を守っていました。代わりに、“何てことだ！私の知人も同じような経験があって、彼の顔は今も麻痺したままだよ。”という言葉を書きました。私は自分の聞いたことが信じら

そのとき、私の唯一の希望は神の御言葉であることを悟りました。

れませんでした！私は彼の前では平然を装いましたが、心の中は恐れで満たされました。私はもう一人の友人の家に寄って同じことを言いました。驚くことに、彼もまた、“何てことだ、私の友人も君と同じことになって、それからずっと麻痺したままだよ。”と言いました。

私は完全に落ち込みました。私は神様が癒されることは知っていました（頭の中で）が、それでもこの恐れを取り除くことはできませんでした。私の心は全く説得されていませんでした。その夜、私は不安でした！私の思いは恐れでいっぱいになり、私の顔は麻痺したままでした。私が眠ろうとしたとき、右耳に痛みを感じ始めました。もしかして？私の父は数年前にベル麻痺で苦しみましたが、その前兆として耳に痛みを感じ始めたと言っていました。ベル麻痺は、耳のすぐ下の骨にある小さな穴を通して顔の筋肉を支配する神経が、感染症や炎症によって圧迫されて起こるものです。

私は横になって眠ろうとしましたが、思い浮かぶ言葉は、“あなたも父親のようにベル麻痺を患うことになる。”でした。翌朝起きたとき、私にベル麻痺の症状が現われ始めました！私は顎だけでなく右側の顔の感覚も失い、目と口を閉じることができなくなりました。私はパニックになりました。

私は病院にかけ込みました。診察の結果、医師は確かにベル麻痺の症状だと言いました。私は、“この後どうなりますか？”と聞きました。彼は、“80～85%の人は、麻痺が残ることなく治ります。”と言いました。昨日歯医者で聞いた話を私は今聞いているのか？

そのとき、私は深刻さに気づきました。悪魔はこのまま私を放っておかず、さらに悪い方向へと連れていくことがわかりました。私は霊的な戦いを知っていたので、自分が間違った方向に進んでいることがわかりました。これは、私が霊的な戦いについて知ってから数年後の出来事です。しかし、私はここで勝利するためには、霊的な戦いで勝利する必要があることを知っていました。また、私が疲れているときに狙って悪魔が攻撃してきたこともわかりました。

そのとき、私の唯一の希望は神の御言葉であることを悟りました。私の力では、この恐れを止めることができなかつたからです。そこで、私は3～5枚のカードに癒しに関する聖句を書いて、家中に貼りました。私は主に悔い改めて、心の中で信仰を持ち始めました。

私は、心の中に信仰を蒔く必要があると感じて、一日中御言葉を黙想しました。

最初は、何も変わりませんでした。私の顔は麻痺したままで、恐れと戦わなければなりません。一週間ほど過ぎたある日、私の顔は麻痺したままでしたが、変化が起きました！マルコ4：26が教えているように、私が心に御言葉を蒔くと、信仰が芽生えてきて、初めに苗、次に穂、次に穂

の中に実がなるのです。

この過程を通して、まだ同意と信仰はありませんでした。しかし、私には変化が見えなくても、マルコの4章の聖句によるなら、確実に変わっていた。私が言っている変化とは、目に見える変化ではなく、心の中で起こる変化です。もし、私たちが御言葉を握るなら、御言葉がゆっくりと私たちの心の不信仰を信仰に変え、天と合意させます。ですからこの場合、私は唯一の答えである御言葉を握りました。

突然、ある日、私ที่บ้านの中を歩いていたとき、3～5枚の御言葉が書かれたカードを目にしましたが、通りながら何百回も目にしたのはずの聖句に目が釘付けになりました。突然、油注ぎが私の上に注がれて、恐れが去り、私は自分が癒されたことを知りました。

はい、私の顔はまだ麻痺していましたが、何の変化もありませんが、私は癒されたことを知りました。数時間後、私の顔は完全に普通に帰り、すべての麻痺はなくなりました。神様をほめたたえます！御言葉の力です！

私の忙しさと霊的に弱さをさらけ出していました。私は自分の愚かさや過ちを悔い改めました。これは、私が信仰の機能を学んだばかりの頃の出来事で、この分野においてまだあまり経験がありませんでした。私が人々に伝えたいのは、何か問題が生じたときに、真っ直ぐに神の御言葉に行くことです。私に起きていることを理解したとき、私は大胆に神の御言葉に立ち返りました。残念ながら、多くの人は信仰について教わっていないので、この過程を通して大胆になれません。彼らに問題が生じたとき、プレッシャーを感じたとき、彼らは御言葉に力がないと思って捨ててしまいます。

サタンの攻撃を理解する

クリスティンは神様についてあまり知らない状態で教会に来ました。彼女は私たちの教会で生まれ変わり、彼女の人生は完全に変えられました。私たちの教会には、御国のオリエンテーションクラスがあります。その中で教えているものの一つに、癒しを受け取る権利というものがあります。クリスティンは、何年も耳が聞こえづらいまま過ごしてきました。彼女は40年も補聴器をつけて生活し、すでに50%以上の聴力を失っていました。彼女の母親は耳が聞こえなくて、彼女の兄もまた彼女と同様に聞こえづらい生活をしていました。クリスティンは、クリスチャンとして彼女には癒される権利があることを知ったとき、とても喜びました！

クラスの中で、私の妻がクリスティンに手を置いて癒しのために祈ったとき、彼女はすぐに聞こえるようになりました。クリスティンは泣き叫びながら神様をほめたたえました。私の妻ドレンダとクリスティンは、私に良い知らせを伝えに来ました。私はすぐに彼女に悪魔の攻撃について教える必要があると感じました。私は、彼女にもし以前の症状が戻ってくることがあったら、大胆に癒されたことを宣言して、悪魔を退かせることを教えました。翌朝、試練がやって来ました。彼女の耳は再び聞こえづらくなりました。そこで彼女は私に聞いたことをそのまま言いました。“サタンよ！私はこれを受け入れないわ。イエス様の御名によって、私は癒されたし、癒される！”次の瞬間、彼女の耳は聞こえるようになり、それからはずっと聞こえています。

悪魔は攻撃して、再び領地を奪い返そうとすることを覚えて下さい。奪

われないようにして下さい。神の御言葉の上に立って下さい！

この章で、私は信仰とは何かについての基本的なことを述べ、どのように機能するのか、あなたが信仰の中にいるかどうかを知る方法、そして信仰をどこから得るのかについて話してきました。あなたの人生で神の御国を機能させるために知らなくてはならないことがあります。イエス様が女の人に、“あなたの信仰があなたを直したのです。”と言われたのを覚えていますか。あなたにも同じことを言われます。あなたの心が天の言っていることに完全に説得され、あなたがかまを入れることによって、あなたの人生のすべての問題の答えとなる信仰を持つことができます。

第6章

主からの祝福

私は、妻と集会の講師と一緒にレストランにいました。時間は、夜の10時頃で、私たちは力強い集会を終えたばかりでした。私たちは料理の注文を済ませ、会話を始めました。講師は、集会がどれほどすばらしかったか、また私たちの教会がどれほどすばらしいかについて話しました。妻が、“狩りは好きですか？”と聞くと、彼女は狩りが好きだと言いました。講師は、いつも私の狩りの話を楽しみにしてくれるので、私は彼女に私の本“Faith Hunt”を渡しました。私は、座っている席の横に本を置いて、後日彼女に送ろうとしました。

ウェイターは私たちの席に来るたびに、狩りの話をしながら、何度も試みたけれども一度も鹿を狩ったことがないと言いました。講師と私は、神の御国がどのように働くのかを教え、彼が狩りに行くたびに鹿を狩ることが期待できると伝えました。彼はただ不思議そうに私たちを見ていました。そこで、私は自分が持っていた本を彼に渡すことにしました。私は講師に後日、本を郵送することを約束しました。ウェイターは私に感謝し、本を読むことを約束しましたが、私はもう彼と会うことはないだろうと思いました。しかし、それは違いました。

一年後、同じ講師が私たちの教会に来て、前回行ったレストランが気に入ったと言うので、再びそこに行くことにしました。私たちが座ったとき、前回と同じウェイターが迎えてくれたので驚きました。彼は私たちに気づいたとき、“一年前にも来られましたよね？鹿狩りの話をしましたね？”と言いました。私たちは、“そうです。覚えています。”と言いました。それから彼は、“私は、あなたがくれた本を読んで、その通りにしました。去年、2頭の鹿を狩ることができ、今年も狩るつもりです。”と言いました。私たちは、彼の話を聞いて嬉しくなりましたが、驚きはしませんでした。御国はいつも機能するからです！

私は、25人の牧師たちを集めて、神の御国がどのように働くのかについて説明していました。すばらしい時間でした。私のスタッフが部屋を片付け始め、私も部屋から出ようとしていたとき、一人の牧師が戻って来まし

た。彼と彼の妻は、私の妻に私たちに話したいことがあると言いました。その牧師は、週末までに70万円を用意できなければ、家が差し押さえられると言いました。彼はお金がなく、今手に持っている一万円がすべてだと言いました。“これがすべてです。”と彼は言いました。彼は、“しかし、今夜学んだ通りに、私はこのお金を蒔きます。今週末までにお金が入ってくることを信じて蒔きます。”と言ったので、私たちは手を繋いでこのお金を神様に感謝しながら祈りました。

一ヶ月後、私は別の集会でその牧師を見かけたとき、彼も私に気づいて駆け寄って来ました。“何が起きたのか話します。あのときは伝えていなかったのですが、妻と私はシルクでできた洋服を売っている小さな店を持っていました。ほとんど売れなかったのですが、たまに注文が入ることがありました。あなたと一緒に祈ったあと、私たちはいくつかの注文を受けて、90万円を手に入れることができました。私たちはその週、とても忙しく働かなければならなかったのですが、金曜日に、ちょうど70万円入ってきたので、家を差し押さえられずに済みました。ありがとうございます！”と言いました。

私は、500人ほどの牧会者が集まる集会のために、ノースカロライナ州にいました。私は、講師としてではなく、参加者としてそこにいました。ある男性が私の方に来て言いました。“お話がしたいです。”彼はドイツから来た牧師で、私に興味深い話があると言いました。

彼の10代の息子が、なぜか私のCDを手に入れました。

CDを聞いた彼は、お金がなくて買えないプレイステーション3を信仰で受け取ることに決めました。プレイステーションを知らない人はいないとは思いますが、知らない人のために説明すると、それはゲーム機です。牧師は、彼の息子がある日やって来て、プレイステーション3のための同意の祈りを頼んだと言いました。息子は、私のCDを聞いていて、どのように蒔くのかを学んだので一緒に祈ってほしいと頼みました。牧師はそこまで深く考えずに、息子が捧げたお金を教会の献金箱に入れました。彼と息子はプレイステーション3を手に入れたことを信じて祈り、やることはすべてやりました。

次の日、教会の信徒から電話があり、彼の仕事に助けが必要なので、息子が手伝ってくれないかという連絡でした。息子は喜んで手伝い、2日間の仕事でプレイステーション3を買うお金を手に入れました。

これは、息子にとって神様を知るきっかけとなり、数週間後、再び牧師の元にきて、また別のことのために祈ってほしいと頼みました。牧師は、“もちろんだよ。”と答えましたが、驚いたことに、息子が祈ってほしいことは大きな筋肉を持つことでした。牧師は、そのことについてはどのように答えて良いのかわからなかったと言いました。しかし、牧師は息子と筋肉のために祈ることを決め、同意して祈り始めました。息子は、大きな筋肉のために蒔き、彼らは同意の中で祈りました。

翌日、牧師の家一台の車が停まりました。それは、教会の信徒の家族でした。牧師が彼らの方に行くと、彼らは家を片付けているときにバーベルが見つかって、牧師の息子のことが思い浮かんだので持ってきたと言いました。もし息子がいないなら、教会の信徒の中で欲しい人を牧師が知っていると思ひ、持ってきたのです。牧師は、教会の信徒は誰も息子が筋肉のために祈っていることを知らなかったと言いました。牧師は驚きました！牧師は息子の部屋に行って言いました。“そのCDはどこにあるんだ？”

このような話はたくさんあります。私はこれらの話をいつも聞いている

ので、あなたの人生でも経験することを願っています。私たちはこれまで、神の御国がどのように機能するのかについて見てきました。また、天のものを地上に解き放つために必要な信仰についても話してきました。これから、御国の原理がどのようにして私たちのお金の必要を満たすのかを深く見ていきたいと思います。

主の祝福そのものが人を富ませ、人の苦労は何もそれに加えない。

-箴言10:22

私は初めてこの聖句を見たとき、“これは、この聖句に書いてある通りの意味ではないですよ？”と思いました。しかし、私はこれがこの聖句に書いてある通りの意味であることに気づいたのです！この箇所を理解するためには、人間が造られたときに戻って見る必要があります。

むしろ、ある箇所で、ある人がこうあかししています。

「人間が何者だというので、これをみこころに留められるのでしょうか。人の子が何者だというので、これを顧みられるのでしょうか。あなたは、彼を、御使いよりも、しばらくの間、低いものとし、彼に栄光と誉れの冠を与え、万物をその足の下に従わせられました。」万物を彼に従わせたとき、神は、彼に従わないものを何一つ残されなかったのです。それなのに、今でもなお、私たちはすべてのものが人間に従わせられているのを見てはいません。

-ヘブル2:6-8

前にもこの箇所を読みましたが、今話し合うにあたって、とても重要な箇所です。人間が造られたとき、すべてのものは人間の足の下に置かれたと書いてあります。何一つ置かれなかったものはありません。人間には地上を

支配する権威が与えられ、冠が与えられました。人間は、油注ぎで満たされ、与えられた権威とともに尊重されていました。神様に反逆したサタンは、アダムの造られる前にすでに追い出されました。サタンは、神様の権威の冠を与えられている人間に支配されていることに気づき、人間を侮りました。サタンは、人間の体が自分のものよりも弱いことに目を留めました。しかし、霊的には、アダムの口から出るすべての言葉に神様が語られるのと同じ権威がありました。神の子アダムは、すばらしい権威を持った立場で地上を支配していました。

サタンはこの人間を嫌い、彼の代わりに自分が地を支配したいと思いま

主の祝福そのものが人を富ませ、人の苦労は何もそれに加えない。

-箴言10:22

した。彼の唯一の解決策は、人間からその冠を奪うことです。しかし、ここで問題がありました。サタンはアダムから冠を奪う力がないことです。

彼の唯一の希望は、アダムを罪を犯すように誘導しアダム自身に冠を外してもらうことでした。エバを誘惑して神様への疑いを植え付け神様が与えられた以上のものがあるということを知り、アダムとエバは神様よりもサタンを信じて、神様に罪を犯しました。結果的に、パウロが2コリントで述べているように、アダムとエバは神の御国の中で享受した権威の立場を失い、サタンがこの世の神となりました。

そのばあい、この世の神が不信者の思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているのです。

-2コリント4:4

アダムが罪を犯す前、彼は息子としての喜びを楽しみました。

神様は彼が楽しむためにすべてのものを与えて下さり、彼は一日たりとも恐れを抱くことはありませんでした。この地上で生きていく上で必要なものはみな、彼が創造される前にすべて用意されていました。

もし、私たちが創世記の創造の部分を見るなら、すべてが造られていた6日目に人間の創造があったことがわかります。彼は、神様が安息日と定められた7日目に生きるように造られたのです。それは、神様が疲れたからではなく、すべてが完了し、完成したからです。神様が人間を創造された時のことを考えてみて下さい。悲しいことに、アダムはそのすべてを捨てて、御国の中の彼の立場も失ってしまいました。

アダムの不従順の後、神様はアダムにこう言われました。

土地は、あなたのゆえにのろわれてしまった。あなたは、一生、苦しんで食を得なければならない。土地は、あなたのために、いばらとあざみを生えさせ、あなたは、野の草を食べなければならない。あなたは、顔に汗を流して糧を得、ついに、あなたは土に帰る。あなたはそこから取られたのだから。あなたはちりだから、ちりに帰らなければならない。

-創世記3:17-19

あなたに見てほしいのは、神様ではなくアダムが地をのろったという部分です。アダムは地を支配する権威を持っていました。完全なる支配権を持っていたアダムは、神様の統治に対して罪を犯し、神様を追い出してしまったのです。この決断は、アダムだけでなく地に生まれてくるすべての男と女に影響することになりました。彼はまだ神様に与えられた地上の支配権を持っていましたが、かつてそれらを支配していた冠に対しては力を失ってしまいました。いのちから離れてしまったアダムに、死が入ってきました。

まず、神様はアダムが犯した罪を指摘され、彼の罪によってこれまで与えられていた神様の統治の中での権威が失われたことを言われました。アダムが地上で神様の統治を象徴していたので、天は地上での支配権を失うことになりました。次に、地上もそれまでエデンの園で生産していたように生産

することができなくなりました。アダムは生きていくために、自分で汗を流して労苦しながら糧を得ることになりました。土地はいばらとあざみを生えさせたので、苦しんで食を得ることになりました。

私はこれを人生の苦しみと呼び、サバイバル精神と呼び、アダムの罪以降、すべての人間に恐れと死が呪いとして降りかかるようになりました。あなたも私も生き残るためにここまで来たので、この意味がわかると思います。ダビデは、詩篇23篇でこれを死の陰の谷と言っています。

たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざを恐れませんが。

-詩篇23:4

私たちは空気を吸うかのように、恐れを取り込みます。しかし、他ののろいもあります。人間は神様との関係を失ってしまったので、自分自身を知ることができなくなりました。

それによって、与えられた目的やアイデンティティも見失ってしまいました。人間が造られたとき、目的を持って造られました。人間には神様の統治のもと、地上を支配する目的がありました。別の言い方をすると、人間には神様から与えられた課題と目的があったのです。しかし今は、人間は自分が生き残ることに必死です。生き残ることが、人間の目的となってしまいました。

この世のサバイバル制度の呪いのせいで、すべての人間は走ることに疲れています。

今、人間が決断するすべてのことは、自分の生き残りをかけたものになりました。平安はありません。毎日が汗と苦労の連続です。唯一このサバイバル制度から抜け出す方法は、余裕のある生活を手に入れることだと思っています。人間が墮落したときから、これはすべての人にとっての夢となりました。走ることをやめるためには、これが一番の目標となりました。

余裕のある生活を手に入れた幸運な人は、ある程度の安心感を得るようになります。しかし、彼らはその生活を失うことへの恐れを抱きながら生き、もし失うことになれば、彼らは再び汗と苦労の連続の日々に戻るようになります。

先ほど述べたように、人間の夢でありサバイバルのゴールは、余裕のある生活を手に入れて、走って疲れる生活の中で少しでも休息を得ることです。私の言っていることが理解できるでしょうか。この世のサバイバル制度の呪いのせいで、すべての人間は走ることに疲れています。

ある日、一人の牧師の隣に座りました。彼は、毎朝起きてお金の心配、借金、そしてまたお金の心配をするまでは、牧師としての働きが好きだと言いました。彼は、お金の問題が彼の人生のすべての喜びを奪っていったと言いました。これは、牧師だけが直面している問題ではありません。借金を抱えて生きている人々が直面している問題です。

すべての人がここから抜け出す道を探しています。そして、唯一の道はお金持ちになること、余裕のある生活を手に入れることです。地上の呪いの制度によって、アイデンティティはどのくらいのお金を持っているか、何を

所有しているかで決まります。初めに、人間は自分が造られた目的とアイデンティティを隠すかのように裸であることを隠そうとしました。人間は、かつて神様が与えて下さった栄光と富を取り戻そうとしました。次に、人間はかつて与えられていた誉れの冠を取り戻そうとしました。人間は今、一つのことを手に入れようと必死です。それは、富です。人間は、他人よりも権力を持つことを願い、他人よりも富を手に入れるために生きています。社会の中の立場は、人間にとって自己肯定感を上げるためにとても重要になりました。

考えてみて下さい。人が他人によく聞く質問は何ですか？

“仕事は何をされていますか？”なぜでしょうか？私たちは本当にただ気になって聞いているのでしょうか？そうではなく、その質問の答えによって、私たちの彼らへの態度が変わるのです。言い換えるなら、私たちは自分に聞いています。“この人は誰なのか？地上でどの立場にいる人なのか？この人に対してどのくらいの敬意を示すべきなのか？”女性のみなさん、私は今男性の立場で話しています。女性はまた違った見方でアイデンティティを確立しようとしています。

今日も、この呪いの制度はまだ存在しています！人々は、物事を決めるときに、このお金のフィルターを通して決めます。自分がやってきた仕事と関係がなくても、給料をたくさんくれる職場に移るために、迷わず引っ越します。すべての人がお金持ちになりたいと思っています。なぜでしょうか？それは、アイデンティティ（立場）と富のためです。

中学生を対象に将来の夢に関するアンケートをとった結果があります。65%の学生が、将来有名になりたいと答えました。有名？有名になることは仕事そのものではありません。

別の調査結果によると、30%の人は自分の仕事が嫌いだと答え、40%の人は自分の仕事が好きではないと答えました。ということは、アメリカで仕事をしている人のうち70%が、自分の仕事が好きではないと答えたことになります！それならなぜ彼らはそこにいるのでしょうか？なぜなら、彼らは生き残るために汗を流し苦勞して食を得なければならぬからです。ほとんどの人にとって目的と情熱は重要ではありません。お金を稼ぐことが一番の動機です。誰が最も高い給料を受け取ったかが一番重要です。これはねずみレースと呼ばれています！ここにあなたと私は生きているのです。ハムスターが回し車を回している姿を想像して下さい。どんなに速く走ってもどこにも行き着くことはありません。私たちはそれを見てかわいいと言って微笑みます。しかし、現実の世界では、全くかわいくありません。人々はその回し車の中で希望を失い何も得ることなく死んでいます。

何を食べたらいいか、何を飲んだらいいか、と捜し求めることをやめ、気をもむことをやめなさい。これらはみな、この世の異邦人たちが切に求めているものです。しかし、あなたがたの父は、それがあなたがたにも必要であることを知っておられます。何はともあれ、あなたがたは、神の国を求めなさい。そうすれば、これらの物は、それに加えて与えられます。

汗を流して苦勞しながら走り続けることだけが、私たちの知っている方法です。

もし、私があなたに12ヶ月以内にすべての借金を返済できないなら、あなたは家族を連れて北極に行かなければならないと言ったら（極端な例ですが）、どうしますか？あなたがどうするのかを私が答えます。あなたは、さらに汗を流して苦勞する方法を探すでしょう。あなたは、“私は、いくつかのアルバイトを掛け持ちします。妻も仕事量を増やし、子どもたちにもアルバイトをさせます。”と言うでしょう。私たちはこの方法しか知りません。他の例を挙げてみます。

私があなたの家の近くを走っているとしましょう。そして、あなたの家の反対側に1,000万円の入った紙袋が落ちていたとします。私はとても興奮しましたが、通報しなければならぬことを知っていました。私はあなたを知っているので、あなたの家に行き、電話を借りたいと言いました。あなたの横で、私は交番に電話をかけて、何が落ちていたのかを話しました。沈黙が続いた後、彼らは、お金の持ち主が現れていないので、私がお金を拾ってもいいと言いました。（実際にはそんなことを言わないと思いますが、私の例の中ではそういうことにします。）彼らにそう言われると、私は喜びのあまり飛び跳ねました。それから、私はあなたに彼らから何を言われたのかを嬉しそうに伝えました。

あなたは、私が喜びながらこの話をしているとき、微笑みながら聞いています。

しかし、その晩あなたがこの話をあなたの妻に伝えるときはどうでしょうか？微笑みながらでしょうか？私はそう思いません。あなたは、“そんなの_____だ！”と叫ぶと思います。空白の部分には、“不公平”が入ります。なぜそのような反応をするのでしょうか？あなたがそのように生きてきたからです。あなたはその制度の中で生きてきたからです。汗と苦しみが答えだからです。

私の例え話で、私は苦勞せずにお金を見つけましたが、これは私たちの制度に反することです。不公平です。私がお金を得るために苦勞していないから不公平なのです。私はただ見つけただけです。あなたは、自分にそのような幸運が訪れなかったことで、自分は今後も汗を流し苦勞しながら働かなくてはならないと、嫉妬と憎しみを抱くでしょう。

これと比較して、もし私がある日破れた服を着て汚らしい格好で教会に来て人々に、“ついにやりました！ドレンダと私は過去10年間毎日22時間働いて、やっと家のローンを返済し終えました。”と言ったら、人々は拍手喝采を送るでしょう。なぜでしょうか？なぜなら、誰かが苦勞してやり遂げたのを見て、励まされたからです。誰かがやったということは、出口があるんだ！もしかしたら私たちも歯を食いしばって頑張って働けば同じようにやり遂げることができるかも知れない。しかし、なぜ私がお金を拾ったときは、誰も拍手喝采を送ってくれなかったのでしょうか？なぜなら、私たちはこのような制度の中で生きているからです。汗を流して苦勞することが公平だと言われます。苦勞せずを得たお金は不公平なのです。

しかし、汗を流し苦勞することから抜け出したいのが、すべての人の夢です。ほとんどの人はお金持ちになることを願っています。1,000万円を手に入れたら悩みがなくなるだろうと思っています。富が自由を与えてくれると思って生きています。

すべての人が走ることに疲れて、1,000万円を手に入ればようやく自分のやりたいことができると思っています。考えてみて下さい。なぜ人々は宝くじを買うのでしょうか？自由を求めているからです！自分が好きなことにお金を使うことができる自由と選択肢を求めています。

Who wants to be a Millionaire?という番組は、とても有名です。なぜなら、すべての人が自由を夢見ているからです。この番組を見ているとき、人々は感情移入して出演者を応援します。

これを見てもわかるように、人々はこの世の呪いの制度から抜け出して走ることをやめたいと思っていることを認めましょう。しかし、抜け出す道はあるのでしょうか？私は毎日世界中から30億円の財産を安心して預けられる人を探しているという内容のメールを少なくとも10通ほど受け取っています。彼らは、半分の15億円を私に託したいと頼みます。もちろん、彼らは私のEメールアドレスを使ってすべての手数料や送料、保険などお金がかかるものはすべて私に払わせようとしています。本気ですか？私がそんなに馬鹿に見えますか？

私に顧客から電話がかかってきて、投資の指導を受けたいと言いました。私は彼にいくつかの質問をし、それによって彼が5億円を投資しようとしていることがわかりました。彼は、今はそのお金を所有していないけれども、遺産として受け取る予定だと言いました。私は彼にいつ頃そのお金が入ってくるのかと聞くと、彼は約2週間後には受け取ると言いました。私が2週間後にまた彼に電話をかけてみると、彼はもう少し時間がかかると言いました。ヨーロッパの銀行からそのお金を受け取る手続きに時間がかかっていました。私は彼に質問し始めました。

彼にはフランスで亡くなった面識のない叔父がいました。その叔父は彼に遺産として5億円を残しました。しかし、この遺産を受け取るための税金として500万円を先に支払う必要がありました。彼は、いまだにそのお金を集めているところだと言いました。

私は彼に弁護士はいるのかと聞くと、彼は、“はい。フランスにいる弁護士が今手続きなどを行っています。”と答えました。“アメリカ人の弁護士はいないのですか？”と聞くと、“いいえ。フランスにいるその弁護士だけです。”と答えました。彼は500万円を手に入れるために苦勞している話を続ける中で、その弁護士が半分を先に支払うから、後で遺産を受け取ったときに彼にお金を返せばいいと言った話をしました。私は、“だめです。これは詐欺です！”と言いました。彼は面識のない叔父の話を書かされたとき、その話を信じてしまいました。私は2週間後に再び彼に電話をかけてみると、彼は必要な500万円が手に入ったと言いました。私は彼に、“彼らはすでに500万円を持っています。これは詐欺の可能性が非常に高いです。”と伝えましたが、彼はフランスの弁護士の話を信じ、詐欺の危険性はないと言いました。

先週、教会でも似たようなことがありました。若い男性が私に、投資のアドバイスを求めたので聞いてみると、海外から遺産が送られてくる予定だと言いました。私は、彼がまだ話している途中で話を止めました。私は、“知ってる、知ってる。その遺産をあなたに送るための手続きとしてお金を要求しているよね？”と言いました。“どうしてわかったんですか？”私は彼と同じことを言いました。それは詐欺だと言いました。彼は、海外で亡くなったとされる人物に会ったこともないのに、その遺産の話が本当であると信じ、私の話を聞き入れませんでした。彼らはなぜこのような罠に陥るのでしょうか？

なぜなら、自由になりたいからです！彼らは、こんなに簡単に大金を手に入れる機会を逃してはならないと自分に言い聞かせます。

別の例え話をしましょう。私たちが所有する金融サービス事業は、全米をカバーしています。すばらしい事業です！私の会社の営業活動は非常にすばらしく、多くの人々が毎年大金を手に入れています。しかし、私の事業の中で学ぶべきことがたくさんあるのも事実です。あなたは、人のお金を任されています。あなたが学ぶべき法律はたくさんあります。

私は、オハイオとコロンビアでラジオを放送していますが、そこで私の会社の従業員を雇用するために志願者を募集しました。50人ほどが集まりました。すぐに面接を始める代わりに、私は会社近くのホテルでオリエンテーションを開くことにしました。その会議では、私たちの会社がどのように影響力を及ぼしているかについてだけでなく、クリスチャンの観点からどのようにするべきなのかについて話しました。また、私たちは会社がどのような方針を持っているのか、どのような訓練を受けるのか、そしてどの免許が必要なのかについて話しました。私の経験上、多くの志願者たちは、どのように働けば年収2,000万円をもらえるのかを聞くと、諦めてしまいます。

会議の後、私が廊下を歩いていると、別の会議室に1,000人ほど集まっているのが見えました。みんな同じ理由で来ています。大企業が自分の会社の魅力について話していました。しかし、なぜ私の会議室には50人しか集まらず、ここには1,000人も集まっているのでしょうか？単純です。答えはお金です！残念ながら、人々はこのような宣伝を好む傾向があります。“もし私がこの会社に入って3人くらい相手すれば、私は億万長者になれる。”私がこの事業をしながら長年見てきたことは、大金を手に入れる人は、一生懸命働いた人です！

お金のことを直さなければ、あなたは一生この地の呪いの制度の下で生きていくことになります。

そうです、可能性はありますが、人々は簡単にお金を稼ぐ方法を探していて、“もし私がこの機会を逃してしまったら、ここにいる人たちに先越されてしまう。人生が変わるかも知れない機会を逃すことになる！”と思っています。私の言っていることを誤解しないで下さい。私には、このような大手の企業で働いて億万長者になった人が何人もいます。私が指しているのは、多くの人々が持っている平均的な考え方です。簡単に大金を稼ぐことが、この地上のサバイバル制度の頂点です。

もし、あなたが少し立ち止まってどのくらいお金について考えているか自問し、あなたが持っているものを守ることを考えてみるなら、あなたは驚くでしょう。私はもう一度言います。すべての人は生き残るために走っていることに疲れています！週末の誘惑は、止まることです。休暇の誘惑は、止まってゆっくり過ごすことです。引退の誘惑は、やっとな自分のやりたいことをやりながら過ごすことです。誤解しないで下さい。何もせずに座って過ごすことだけを求めているではありません。また、神様はそのような人生をあなたに与えておられません。そうではなく、私たちは自分に与えられた課題に対して情熱を持ってやり遂げることが、私たちの造られた目的です。残念ながら、多くの方は生き残るために必死に走っているの、自分の夢はすでに諦めてしまいました。

あなたは他人の口から、あるいは自分の口からこのようなことを聞いた経験があると思います。“仕事に行かなくてはならない。”あなたもすでに感じていると思いますが、ほとんどの人は、情熱を持って職場に向かうのではなく、行かなくては“ならない”から行きます。彼らは、行きたいからではなく、“仕事に行かなくてはならない。”と言って行きます。支払いのために、今日も生き残りをかけて職場に向かいます。ほとんどの人は、人生に期待しながら仕事を始めます。何かを支払うために働くことは、彼らにとって一時的なことでした。しかし、仕事を続けているうちに、40代になり、自分の人生の目的が見えなくなり始めました。これは中年の危機と呼ばれ、そのとき初めて彼らは自分たちが縛られていることに気づきます。

私の友よ、これは神様が私たちのためにデザインされた人生ではありません。あなたもすでに知っているはずです。しかし、確実に言えるのは、今お金のことを直さなければ、あなたは一生この地の呪いの制度の下で生きていくこととなります。お金のことを直さなければ、あなたは一生この地のサバイバル制度の下で走り続けることとなります。

もしあなたがお金のことを直さなければ、あなたは決してあなたが造られた目的を発見することはできません！

あなたの人生がどうなってしまうのかについて話しましょう。

あなたの趣味は何ですか。ゴルフだとします。あなたは、これまで誰かがこう言っているのを聞いたことがありますか？“最悪だ、私は今日ゴルフをしに行かなければならない。”または、“最悪だ、金曜の夜か。私は金曜の夜が大嫌いだ。早く月曜の朝になって仕事に行きたい。”あなたの趣味が釣りだとします。私はあなたが、“最悪だ、今日釣りに行かなければならない。”と言うのを聞くでしょうか？いいえ、趣味に情熱を注いでいるからそれはないと思います。もし、あなたが自分の仕事に対してこれと同じ情熱とやる気を持っていて、汗を流す労苦ではなく、気持ちのいい汗を流すことに焦点を合わせたら、どうなるでしょうか？もし、あなたが自分の家族を養うことができ、経済的なストレスから解放されるなら、どうでしょう？このような生き方をする道はあるのでしょうか？ドレンダと私はその道を見つけました！

主の祝福そのものが人を富ませ、人の苦労は何もそれに加えない。

-箴言10:22

ゆっくりと時間をかけてこの聖句を読んで下さい。書いてある通りに信じて下さい。見えますか？アダムが私たちに残した、汗を流し苦勞して生きていく道から、脱出する道を神の御国が私たちのために用意しているのです。この聖句は書いてある通りに信じれば良いのでしょうか？そうです、あなたは今最も素晴らしいニュースを聞いたこととなります。すばらしい！これがイザヤ61章でイエス様がこの地でなされる

ことについて預言的に書かれた理由です。

神である主の霊が、わたしの上にある。主はわたしに油をそそぎ、貧しい者に良い知らせを伝え

-イザヤ61:1

この世のサバイバル制度の呪いの中にいる人に伝える良い知らせとは何でしょうか？当然、経済的な自由です！イエス様は、神の御国はこの地にもたらされた汗と苦しみの限界を超えた良いものを用意していると言われました。受け入れましょう。あなたはどれほど速く走っても、一生懸命走っても、自由になれないことに気づきます。私は、ドレンダと苦しい9年間の借金生活をしていたとき、一生懸命走りました。過去27年間の数えきれないほどの顧客たちもまた、できる限り速く走っていました。けれども、どんなに頑張っても彼らはお金の奴隷として生きる罠に陥っていただけでした。彼らが私たちに電話をかけてきたのは、経済的に切羽詰まり恐れを感じていたからです。彼らが自由になる道はあまりにも遠く、今を生きることで精一杯でした。この世の支給について考えてみましょう。

支給は、備えを支えることです。

なぜなら、備えがなければ、備えを得ることが目的となるからです。ほとんどの人は人生をこのように生きています。夢や目的がなく生きています。これは騙されている奴隷の生き方です。

一生懸命走りました。過去27年間の数えきれないほどの顧客たちもまた、できる限り速く走っていました。けれども、どんなに頑張っても彼らはお金の奴隷として生きる罠に陥っていただけでした。彼らが私たちに電話をかけてきたのは、経済的に切羽詰まり恐れを感じていたからです。彼らが自由になる道はあまりにも遠く、今を生きることで精一杯でした。この世の支給について考えてみましょう。

支給は、備えを支えることです。

なぜなら、備えがなければ、備えを得ることが目的となるからです。ほとんどの人は人生をこのように生きています。夢や目的がなく生きています。これは騙されている奴隷の生き方です。

第7章

扉

神の御国について学んだことを復習しましょう。まず、人間は地上を支配する立場に置かれたことを学びました。ヘブル2：7-8で、人間に従わないものは何一つないことを見ました。これによって、私たちは人間が地上への鍵や扉であることがわかりました。サタンはこれを知っていたので、地上の権威を奪うためにアダムとエバを標的にしました。アダムとエバがサタンの誘惑に陥り神様の統治に対して罪を犯したとき、彼らは支配する権威を失ってしまいました。創造のときから彼らを覆っていた神の霊は、退かなければなりませんでした。彼らは、肉体だけでなく霊的にも裸になりました。彼らが自分たちから神の霊が取り去られたときに受けた衝撃は想像することができません。聖書には、自分たちが裸であることに気づいた彼らはすぐにいちじくの木で自分たちを隠したと書いてあります。

人間はかつて与えられていた地上を支配する立場にはまだいましたが、霊的には地上を支配する権威を失ってしまったのです。なぜなら、人間は神様ではなく、サタンを信じたことでサタンの権威の下に入ったことになり、その結果として、サタンが天から追い出されたのと同じように、人間にも同じさばきが下りました。

そのさばきは、地獄と呼ばれる場所で苦しみ続け、永遠に神様の臨在から引き離されるところです。地獄は決して人間のために造られたところではありませんでした。どんな人であっても地獄に行くことを神様は望んでおられませんでした。

それから、王はまた、その左にいる者たちに言います。『のろわれた者ども。わたしから離れて、悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火にはいれ。』

-マタイ25:41

人間をこの運命から救うために、神様は地上でその方の統治を建て上げられる必要がありました。その方は、サタンが掴んでいる権威を取り戻す道をお探しになったのです。その道は一つしかありませんでした。罪のない誰かがアダムのもたらした死の刑罰を受けなければなりません。しかし、その計画が実行されるのは不可能に思われました。地上にいるアダムの子孫である人間は、みな罪を犯したので神の霊とその方の権威を持つことができませんでした。しかし、神様はこの問題を解決するための計画を持っておられました。その計画は、神様の正義と義の原理が、罪のない人を通して地上で建てあげられることでした。そうしたときに、その人はアダムの立場を取り戻し、アダムの上に降りかかろうとしている刑罰を取り除くことができるのです。

しかし、本当の問題はアダムの子孫である人間からは、この計画に携わる人を探すことができないことでした。どうすれば、この救いの計画は成し遂げられるのでしょうか？それは、神様がアダムの子孫でない人を地上に遣わし、自身を犠牲にすることができる人をお探しになる方法でした。

しかし、地上はアダムとその子孫に与えられているので、地上で生まれていない人を見つけることは不法になってしまいます。ここに該当するのは、一人しかいませんでした。その人は、アダムの子孫ではないけれども、ここで生まれなければなりません。

あなたも最初は、この世においてそれは不可能だと思ったかも知れません。

しかし、可能にする道がありました。神様が地上にいる女の人のの中に男の人の種を入れて、そしてそれを神様の御わざであると信じることができる男の人を見つける方法でした。人が地上の鍵を持っていることを覚えていますか。サタンは、アダムの霊的な権威ある立場を奪うために、これと同じ方法を使いました。神様の計画が成功し合法的に成し遂げられるために、神様は、その方の働きを信じることができる男性と女性を選び、彼らにとっては不可能である妊娠を通して子を宿す必要がありました。彼らは神様が不可能を可能にする方であることを信じなければなりません。

その子が生まれることで、彼の運命が約束され、神様は合法的にイエスを地上に遣わすことができました。神様がなされることを信じる男女がいて、その子を通して全世界が祝福されることを信じ、その子がまだ男の人を知らない胎に宿ることを信じる人がいるなら、この計画は成功しますが、その女の人とは、イエスを産んだマリヤになります。しかし、神様はそのような人物を探すことができるのでしょうか？彼の名は信仰の父であるアブラハムです。

彼は望みえないときに望みを抱いて信じました。それは、「あなたの子孫はこのようになる。」と言われていたとおりに、彼があらゆる国の人々の父となるためでした。アブラハムは、およそ百歳になって、自分のからだは死んでも同然であることとを認めても、その信仰は弱まりませんでした。彼は、不信仰によって神の約束を疑うようなことをせず、反対に、信仰がますます強くなって、神に栄光を帰し、神には約束されたことを成就する力があることを堅く信じました。

アブラハムとサラは老いて子を産むことができないにもかかわらず、イサクを与えて下さる神様を信じました。なぜなら、アブラハムは神様を信じ、また彼が開けた扉から約束がやって来ることを信じたからです。イエス様はアブラハムの子孫として生まれる必要があります。わかりやすく説明します。神様がイエス様をこの世に送るためには、アブラハムの子孫として送らなければなりません。合法的な道は、これしかありませんでした。だから、あなたがマタイの福音書の最初を開くと、つまらないと感じる系図が書いてあるのです。この系図がこの章の初めに書かれていることにも理由があります。この地上においては、イエス様がアブラハムの子孫であることを示すためです。サタンが支配しているこの地上で、これは記録されなくてはなりません。もし、この系図が正確でなく、イエス様がアブラハムの子孫でないなら、サタンはイエス様が人間の罪の代わりに代価を払う資格がないと言って責め立てるでしょう。

彼らは、生き残るために汗を流し苦勞する呪いを踏みにじったのです。

イスラエルは、異国の人と結婚することを禁じていました。異なる人種の人と結婚することは、死罪にあたります。あなたはなぜ系図がこれほど重要なのがわかったのでしょうか。あなたは、イスラエル人ではない異国の女性の名が系図に書かれているのを見ます。

エリコの城壁にいたラハブもその一人です。そうです、彼女もマタイの福音書の最初の章にイスラエル人と結婚したと書かれています。しかし、あなたが理解しなくてはならないことは、ユダヤの文化では、男性が系統を継ぐということです。

話題から話がだいぶ外れますが、多くの人が人間はいつから地上にいたかについての議論をして来ました。この答えを知る方法はあるのでしょうか？はい！私は答えを知っていると云えます。マタイの福音書の初めの章に正確に書いてあります。私たちが救いを喜ぶことができるのは、そこに書いてある名前が一つも抜かれていないからです。サタンにとってはとても嫌なことでしょう。その系図は完璧でなければなりません！それを計算していくと、あなたは人間がいつから地上にいたのかについて知ることができます。聖句を見ましょう。

“そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。”

-創世記12:2-3

この聖句でわかるように、アブラハムによって合法的に建てられた扉を通して、後にイエス・キリストが地上のすべての民族を祝福されるのです。アブラハムとその子孫が神様に再び地上での統治のための道を開いたことになりませんが、神様がイエス様を地上に送ってアダムの罪を代わりに支払われるまでは人間は罪と霊的な死に捕われたままです。しかし、今私たちはアブラハムの民族、割礼を施された民族がみな栄えた

のを見えています。彼らは、生き残るために汗を流し苦勞する呪いを踏み
にじったのです。

アブラムは家畜と銀と金とに非常に富んでいた。

-創世記13:2

あなたは神様がアブラハムに言われたことと、創世記3:17でア
ダムに言われたことを比較して、何か違いを見つけましたか？アダムが
罪を犯した後、神様は彼に汗を流し苦勞して糧を得ることになると言わ
れました。しかし、アブラハムに対しては、違います。神様は、“わた
しがそうしよう！”と言われました。アブラハムが自分の努力で汗を流
して苦勞して糧を得るようにはされませんでした。神様が介入されたの
です。神様は、“わたしがそうしよう！”と言われました。この後アブ
ラハムは必死に働いてやっと生き残ることができたでしょうか？全くそ
うではありませんでした！

アブラハムは富んでいました！彼の子どもたちも富んでいました。
アブラハムは地上の呪いの制度から抜け出して生きていました。彼は満
たされていたのです！この違いがわかりますか。この違いは、彼の子孫
にまで受け継がれていきました。彼の孫のヤコブは義理の父であるラバ
ンのために働きました。ラバンは、ヤコブに祝福が流れていることを知
り、その繁栄を自分のものにしようとしました。しかし、神様はラバン
が自分の身にわざわざいを招くようにされ、ヤコブにすばらしい祝福を
増し加えて下さいました。私が言いたいことは、人がその祝福を止めよう
としても、止められないということです。子孫が神様を礼拝し、契約に
忠実であるならば、神様は彼らを祝福されます。

**主は、あなたのため
に、あなたの穀物倉
とあなたのすべての
手のわざを祝福して
くださることを定めて
おられる。あなたの
神、主があなたに与
えようとしておられる
地で、あなたを祝福
される。**

私の言っていることをよく考えて
みて下さい！私はたくさんの人から、
私がお金について話し過ぎだという指
摘のメールを受け取っています。彼ら
は、繁栄は神様の御心ではないと言
います。彼らは、私たちは人生の苦し
みを通して神様に仕えなければなら
ないと主張しています。私は彼らの言
語の一部には同意しています。マルコ
10:30で、イエス様は迫害の中で繁
栄を受けると言われました。残念な
がら、多くのクリスチャンは神様は私
たちに重労働をさせて、私たちは貧
しさの中でも、病気の中でも苦し
みながら生きていくと信じていま
す。それは地上の呪いであって、祝
福ではありません！神様はあなた
の経済も建てあげようといわれま
す。

-申命記28:8

神様はあなたを建てあげたいのです！

あなたのお金が建てあげられなければ、あなたは自分の霊的な課題をやり遂げることができず、サバイバルのために一生走り続けなければなりません。申命記28：8-13で、神様がアブラハムに言われたことを見てみましょう。

“あなたの神、主があなたに与えようとしておられる地で、あなたを祝福される。あなたが、あなたの神、主の命令を守り、主の道を歩むなら、主はあなたに誓われたとおり、あなたを、ご自身の聖なる民として立ててくださる。地上のすべての国々の民は、あなたに主の名がつけられているのを見て、あなたを恐れよう。主が、あなたに与えるとあなたの先祖たちに誓われたその地で、主は、あなたの身から生まれる者や家畜の産むものや地の産物を、豊かに恵んでくださる。

主は、その恵みの倉、天を開き、時にかなって雨をあなたの地に与え、あなたのすべての手のわざを祝福される。

それでああなたは多くの国々に貸すであろうが、借りることはない。私が、きょう、あなたに命じるあなたの神、主の命令にあなたが聞き従い、守り行なうなら、主はあなたをかしらとならせ、尾とはならせない。ただ上におらせ、下へは下されない。”

この新しい地で約束は受けましたが、まだ立てられてはいませんでした。しかし、モーセは神様が彼らを立てられると言いました！神様が言われていることを理解するために、樫の木を思い浮かべて下さい。これがまだ苗のときは、立っていません。誰でも掴み取ろうと思えば、掴み取ることができます。しかし、その樫の木が成長したときは、誰も掴み取ろうとはしません。立っているからです。

あなたの神、主があなたに与えようとしておられる地で、あなたを祝福される。主は…あなたを、立ててくださる。

-申命記28:8-9

立てられた後はどのような姿になりますか？神様が12節で私たちに教えておられます。

**あなたは多くの国々に貸すであろうが、借りることはない。
主はあなたをかしらとならせ、尾とはならせない。**

神様は彼らを豊かに祝福されるので、彼らは貸す者となり、二度と借りる者にはならないと言われました。彼らはかしらとなり、尾にはなりません。尾は自分でどこにも行くことなく、かしらについて行きます。

富む者は貧しい者を支配する。借りる者は貸す者のしもべとなる。

-箴言22:7

借りる者は立つことができません。彼らは貸す者のしもべであり、自由にはなれません。しかし、神様は、“違う！わたしがあなたを立てよう！誰もあなたにその家から出ていけとは言わない。なぜなら、その家は支払われるから。誰もあなたの車を奪って行かない。なぜなら、その車は支払われるから。あなたの冷蔵庫には食べ物が満ち、あなたは自分の所有する家に住み、あなたに与えられた神様からの課題をやり遂げることができる。あなたは立てられる！”と言われるのです。

神様はあなたが栄えることを望んでおられます！

第8章

誠実さの力

あなたがこれから読むのは力強い御国の原理であり、あまりの力強さにこの本のタイトルにもなったほどです。私たちはそれをアブラハムの孫のヨセフの話から見つけましょう。背景を少し説明すると、ヨセフは兄たちに嫌われており、いなくなってほしいと思われていました。実際、彼らはヨセフを殺そうとしましたが、一人の兄がそれは良くないと思い止めました。代わりに、彼らはヨセフをエジプトに行く人に売って、ヨセフはパロの廷臣で侍従長のポティファルの家に奴隷として売られました。

ヨセフがエジプトへ連れて行かれたとき、パロの廷臣で侍従長のポティファルというひとりのエジプト人が、ヨセフをそこに連れて下って来たイシュマエル人の手からヨセフを買い取った。主がヨセフとともにおられたので、彼は幸運な人となり、そのエジプト人の主人の家にいた。彼の主人は、主が彼とともにおられ、主が彼のすることすべてを成功させてくださるのを見た。それでヨセフは主人にことのほか愛され、主人は彼を側近の者とし、その家を管理させ、彼の全財産をヨセフの手にゆだねた。

主人が彼に、その家と全財産とを管理させた時から、主はヨセフのゆえに、このエジプト人の家を、祝福された。

それで主の祝福が、家や野にある、全財産の上にあった。彼はヨセフの手に全財産をゆだね、自分の食べる食物以外には、何も気を使わなかった。

-創世記39:1-6

2節の、“主がヨセフとともにおられたので、彼は幸運な人となり”と書いてあるところに注目して下さい。これはどういう意味でしょうか？神様はすべての人とともにおられるのではないですか？前の章で系図について話しましたが、そこから見ると、答えはいいえになります。神様は、アブラハムの信仰を見られ、アブラハムに与えられる祝福の契約は彼の子孫にだけ及ぶのです。ですから、私たちが神様はすべての人を愛しておられると言うとき、それがすべての人とともにおられるという意味ではないことを理解する必要があります。神様の御前で正しく立つ人でなければ、主の御手はその人の上にはありません。

そのころのあなたがたは、キリストから離れ、イスラエルの国から除外され、約束の契約については他国人であり、この世にあって望みもなく、神もない人たちでした。しかし、以前は遠く離れていたあなたがたも、今ではキリスト・イエスの中にあることにより、キリストの血によって近い者とされたのです。

-エペソ2:12-13

この聖句を見てもわかるように、契約の外にいる人は神様のいない人なのです。なぜでしょうか？なぜなら、神様は人間と合法的に契約を結ばずして、地上を支配することは不可能だからです。この聖句は、契約を持たない人は、この世にあって望みもなく、神もないと明確に述べています。イエス様が新しい契約を私たちのために約束されたとき、私たちはすばらしい神の御国の国籍を持つことができました。（エペソ2:19）

ですから、創世記39章に戻って、“主がヨセフとともにおられた”と書いてあるのを見ると、神様が彼の祖父アブラハムに約束された契約を通して、神様はヨセフの人生の上に合法的に影響を与えることができたのがわかります。この合法的な契約が、地上の呪いである汗と労苦の制度を神様の祝福を受ける制度に変えました。神様がヨセフを祝福されたのは合法でした。

神様は人間と合法的に契約を結ばずして、地上を支配することは不可能だからです。

神様がアブラハムに言われたことを思い出して下さい。“わたしがそうしよう。”神様がヨセフとともにおられたので、ポティファルは他の人にはない神様の祝福と助けがヨセフの上にあることを見ました。私たちが神様の助けによって栄えるとき、地上の呪いの制度の下で生きている人はその違いに気づくはずですよ！ポティファルは彼のことを認めていたので、全財産を彼

にゆだねました。

この聖句の中には多くの御国の原理が含まれていますが、最も重要な鍵がここにあります。私はこれを“誠実さの力”と呼んでいます。あなたは、“ポティファルの原理”と呼んでも構いません。創世記39:5に書いてあります。

主人が彼に、その家を全財産とを管理させた時から、主はヨセフのゆえに、このエジプト人の家を、祝福された。それで主の祝福が、家や野にある、全財産の上にあった。

私はあなたがこの原理を明確に受け取ることを願っています。ある日、ヨセフが全財産を管理するようになりました。聖書には、その時から変化が起きたとはっきりと書いてあります。主の祝福が、ポティファルのすべての財産の上に注がれ始めました！しかし、彼はヨセフの神様を知らないし、イスラエル人でもありませんでした。なぜこんなことが起きたのでしょうか？ここに答えがあります。ポティファルが自分の財産をヨセフにゆだねたとき、彼は知らずにしたことでしたが、彼の財産はヨセフが神様と結んだ契約の下に置かれたのです。

主の祝福が、ポティファルの家と全財産の上にあります！！

ポティファルの財産は、ヨセフの手にゆだねられるまでは、地上の呪いの制度の下にありました。ポティファルは、自分の財産をヨセフの手にゆだねたとき、神様の祝福の御手にゆだねたことには気づきませんでした。ポティファルはヨセフに全財産をゆだねたことで、自分の食べる物以外には何も気を使わなかったと書いてあります。彼には心配がありませんでした！彼は、心配することなく、自分の任されている仕事に集中することができました。ここには他にも学ぶべきことがたくさんありますが、ポティファルは知らないうちに、新約時代のクリスチャンたちが享受できるヘブル4章に登場する安息日を経験したのです。

それは安息日と呼ばれ、その日には汗を流し苦勞して走る必要がありません。

もしあなたが安息日について学ぶなら、神様はイスラエルの民にその日はどんな仕事もしてはならないと言われたことがわかります。汗を流すことや苦勞することもあってはなりません。安息日は一週間のうちの七日目ですが、創造の七日目と一致します。創造の七日目に神様が休まれたのを覚えているでしょうか。それは、神様が疲れたからではなく、完了されたからです。すべてが完成しました。七日目は、すべて必要なものが先に造られて、人間が何の心配もなく生きるためにデザインされた日です。しかし、当然私たちはアダムが神様に罪を犯したことで、その安息を失ったことを知っています。神様に罪を犯したことによって、アダムは神様の提供して下さる扉を閉めてしまいました。よって、アダムはそれまで受けていた神様からの支援を受け取ることができなくなりました。アダムは生きている限り、自分自身で生き残るために汗を流し苦勞して食を得ることになりました。

しかし、神様は人間に望みを残されました。その方は、安息を象徴する人を人間に示されました。それは、安息日と呼ばれ、その日には汗を流し苦勞して走る必要がありません。ポティファルはヨセフの持って

いた祝福の契約に入っていたとき、ヨセフを通して神様の提供を受けることができ、安息に入ることができました。すべてが安全で、何の心配もありませんでした。

彼はヨセフの手に全財産をゆだね、自分の食べるもの以外には、何も気を使わなかった。

-創世記39:6

安息日の重要性と神様が人間に示して下さったことを理解するために、簡単な質問をします。

安息日はどのようにして可能なのでしょうか？地上の呪いの制度の下で、人間は毎日生き残るために走っているからです。もしこれが本当ならば、人間はどのようにして安息日に働かなくても良いのでしょうか？とても重要な質問であり、必ず答えるべき質問です。そして、この質問の答えの中で、ヨセフが歩んでいた“主の祝福”の啓示を見つけることができるでしょう。

私は、この原理をレビ記の25章で神様がヨベルの年についてイスラエルに説明された箇所から見るができると思っています。背景を少し説明すると、ヨベルの年は50年に一度訪れ、その年はとても重要な年になります。しかし、あなたに理解してもらいたい部分は、彼らはその年に種を蒔いてはならないということです。49年目の年も安息の年に入るので、種を蒔いてはなりません。あなたにこの部分を明確に知ってもらいたいのです。イスラエルは、49年目と50年目には種を蒔いてはならないと言われました。彼らは、51年目の終わりまで待ち、それから種を蒔いてそれが成長すると収穫することができました。ですから、簡単に言うと、神様は約3年も収穫がないことを言われたのです。もし私があなたに3年も給料を渡すことができないと言ったら、あなたは困ると思います。そうです、イスラエルは困りました。自然界では、安息は不可能です。しかし、神様は彼らに何かを見せられました。

あなたがたが、『もし、種を蒔かず、また収穫も集めないのなら、私たちは七日目に何を食べればよいのか。』と言うなら、わたしは、六年目に、あなたがたのため、わたしの祝福を命じ、三年間のための収穫を生じさせる。あなたがたが八年目に種を蒔くときにも、古い収穫をなお食べていよう。九年目まで、その収穫があるまで、なお古いものを食べることができる。

-レビ記25:20-22

安息日は、神様が六日目に二倍かそれ以上の祝福を備えて下さるから可能になります。この一文をあなたの頭の中に思い巡らせて下さい。‘それ以上’という言葉は、すべての人が求めているものではないのでしょうか？神様が六日目に人間に二倍の祝福を与えられたとき、神様はその方こそ備え主であることと、それ以上の祝福を与えられる方であることを思い起こさせました。正直になりましょう。‘それ以上’は

私たちに自由を提供します。それは、私たちが奴隷の立場から、選択肢を持つ人へと変えます。最も重要なことは、私たちが目的と情熱を持って繁栄を見つめることができるように自由を与えることです。これをポティファルは楽しみました。心配のない人生です。すべての必要が満たされます。彼が集中しなければならなかったことは、彼の目的だけでした。ドレンダと私が前にも言ったように、“お金のことを直さなければ、あなたは決して目的を見つめることはできない”のです。しかし、すばらしい知らせがあります！安息日は今日も存在し、そこでは私たちの必要が満たされ、私たちは榮えることができます。

**神の人のために安息日が用意されています。
神様の安息に入る人は誰でも、神様がそうされたように、その人の働き
(生き残るための汗と労苦)からも安息を得ます。**

神の御国は、地上の汗を流し苦勞する原理からポティファルを救い出したように、あなたにも同じことをします。私たちはどのようにして神の御国に入っていかについて学んだので、繁栄し自分の目的を見つめることができます。人生は楽しく、情熱と喜びに満ちたものです！

主の祝福そのものが人を富ませ、人の苦勞は何もそれに加えない。

-箴言10:22

主の祝福は富をもたらし、神様はそこに苦勞を加えられないのです！！！！私たちは、創世記3：17の汗と労苦の制度を踏みに行うことができます。私は、神の御国がどのように働くのかを学ぶまでは、地上の古い制度の下で長年生きてきました。あなたも学ぶことができます。神様がともにおられます！その方が助けてくださいます！あなたは榮えることができます。少し言い方を変えます。あなたは榮えるべきです。神様を知らないポティファルの世界の人々、地上の呪いの制度の下で望みのない人々、生き残るために必死に生きている人々があなたを見ています。彼らは、あなたの宗教や教会の建物、あるいは聖句に感動を受けません。なぜなら、彼らはそれらを見ることができないからです。あなたは、あなた自身が彼らと同じように経済的なストレスを抱えて生き残るために必死な姿を見せながら、神様はすばらしい方であると福音を伝えて聞いてくれるだろうと期待してはなりません。あなたは、ヨセフのように御国がどういふものなのかを見せる必要があるのです。私はあまり強く言いたくないですが、未信者は馬鹿ではありません。彼らは答えを探しています。

**あなたの周りの疑
いや不信仰に忠実
になるのをやめま
しょう。神の御国を
楽しみましょう！**

私は、長年伝道できずにいました。誰も私にテレビに出てほしい

と言う人はいませんでした。私は数千人の教会を導いてはいませんでした。なぜでしょうか？なぜなら、私には答えがなく、言うこともなく、神様が生きておられる証拠となるものがなかったからです。私は、家族から生き残るためにお金を借りていました。私の車は故障し、家は崩れ、人生は粉々でした。誰がそんな人から神様のすばらしさについて聞きたがるのでしょうか？あなたが、天国のすばらしさを語ったとしても、地上で天国のすばらしさを示さない限り、人々は聞き入れないでしょう。私は、もし神様が神様であり、御言葉が本物であるなら、その通りになるはずだと言っているのです。私たちの生活は違って見えなければなりません！私たちがこの世代に御国の真実を届けるのです。ポティファルたちは見えています。

なぜ私はこの本のサブタイトルを“誠実さの力”にしたのでしょうか？なぜなら、ポティファルが地上の呪いの制度から解放されて恐れのない、平安の中で神の御国を楽しんだからです。そこは、生き残りが目的と情熱に変わり、貧困が跡形も無く消えるところです。彼はどのようにしたのでしょうか？彼は、自分の問題と心配を神の御国の支配下に置きました。彼は、気づかずにそうしましたが、結果的に神様に繋がることになりました。彼は、神の御国の支配下に入ってきたのです。ポティファルはヨセフに自分の財産を管理させるほど賢い人でした。それは、彼がヨセフを通して答えを見たからです。あなたもできます。ドレンダと私もできました。これが、鹿が現れ、お金が現れ、車が現れ、そして私たちが必要だった家が現れた原理です。あなたに勧めたいことがあります。もしあなたが、神様があなたのために持っておられるすべてを楽しみたいのなら、あなたが忠誠を尽くしている相手を変えて下さい。あなたの周りの疑いや不信仰に忠実になるのをやめましょう。神の御国を楽しみましょう！

第9章

あなたが与えるのです！

私がドンに初めて会ったとき、彼は借金を抱えて失望しながら私の事務室に入って来ました。

彼の人生で何一つうまくいっていることがないように見えました。私が座って彼と話しているとき、彼のすべての支払いが3、4ヶ月遅れていることを知りました。結婚生活にも問題がありました。彼の妻は、ドンが経済的に彼女や5人の子供たちを養う能力がないことでドンに対しての尊敬を失いつつありました。実際、ドンは自分に対しての尊敬を失っていました。彼には疑問だけが残りました。

彼の仕事はオハイオ州全域で医療保険を販売することでしたが、彼は成功することができなかつたので、すぐに経済的な危機に見舞われてしまいました。

ドンに立ちだかる高い壁を前にして、私は彼の中にある可能性を見ました。彼は、学ぶことと働くことを熱心に求めています。その力強い情熱を見て、私は彼を雇用し、彼の将来のために投資しようと決めました。結果的に、両者にとって投資のために大きなお金が動きました。

私の駆け出しの会社は、ある業者からハワイ旅行を獲得したので、私はドンに神の御国を分かち合う絶好の機会だと思いました。ドンはクリスチャンでしたが、私と同じ理解を持ってはいませんでした。

また、私は何度も彼に神様の原理について話してきましたが、彼は私の言っていることを信じられないようでした。

私は常に、彼もまた神の御国について学ぶことで成功することができることに気づいてほしかつたので、機会を見計らっていました。しかし、ドンは自分自身を信じられなくなっていたので、そのような変化が起きることも信じていませんでした。私は、このハワイ旅行がチャンスだと思いました。

ハワイに行く数週間前に、ドンと私はそこで何をするのかについて話しました。ドンはあることに心が惹かれました。彼は、ハワイのきれいな海でクロカジキを釣ることが夢でした。“ハワイはクロカジキの首都です。”と、ドンは興奮気味に言いました。“私はいつかクロカジキ

を釣ってみたいと思っていました。私の夢です。”彼に出会って以来初めて彼の笑顔を見た気がしました。彼の心は少し開かれ、私はこの扉がハワイで重要な学びを通して完全に開かれるのを感じました。

私は、“ドン、あなたの望みではなく、神の御国に入っていくことで、本当にハワイでクロカジキが釣れることを知っていますか？”と聞きました。ドンは少し戸惑いましたが、さらに学びたいと言ったので、私は続けて御国について説明しました。私はマルコ 11 : 24 “だから

“だからあなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。”

-マルコ11:24

あなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。”を引用しました。ドンにとっては、信じられないくらい良い話です。私は、彼が御国を理解しやすいようにいくつかの例を挙げ、彼の信仰を解き放つ手助けをしました。私たちがハワイに出発する前、彼と彼の妻は、私が鹿狩りのために蒔いたように、クロカジキのために蒔きました。

ドンは、収穫のためにできる限りのことをしました。彼は釣りのボートや船長について調査し、ついに

クロカジキ釣りの予約を取りました。準備はすべて整い、私たちは青い海のハワイに行くことを楽しみにしていました。

釣りの日が来て、私たちはボートに乗り、船長に今日はクロカジキを釣る日であることを宣言しました。船長は、私たちの楽しみを潰さないように、他の種類の魚もたくさんいると言い、クロカジキを釣るのに適した日ではないと言いました。過去二ヶ月間でクロカジキを釣ったのは一人しかいないと言いました。まだクロカジキの時期ではなかったのです。船長に失礼にならないように、それでも私たちは今日クロカジキを釣ることを伝えました。

6時間後、私たちは手応えすらありませんでした。私は、ドンの信仰が弱まってしまっているのではないかと少し心配になりました。私は心配しながら離れて立っていたドンに向かって叫びました。“ドン、あなたはクロカジキが姿を現すときに受けるのか、それとも祈ったときにすでに受けたのか？”ドンは強く答えました。“ゲイリー、簡単です。私は祈ったときに受けました。”私は、彼の返事を聞いたとき嬉しくなり、自信ができました。彼が私の言ったことをそのまま受け入れて信じているのがわかったからです。

数分後、ドンの釣り竿が激しく揺れ始めました。“魚だ！”

“あまり強く引っ張らないで。”と船長が言いました。“大きな魚であることは間違いがないが、クロカジキではない。クロカジキは水面に出てきて飛ぶが、この魚はまだ下にいる。”ドンはその魚が水面に出てくるまで数分間耐えていました。

ドンに疲れが出てきた頃、魚も暴れるのをやめました。ドンと私は大きな美しいクロカジキを釣ったことに驚きませんでした。ボートに乗っていた他の人たちはとても驚きました。

ドンとクロカジキの写真は今も私の事務室に飾ってあります。それ

は、御国の力を他の人に伝える証として、そして私自身がいつも見て思い出すためです。見た目は、ただの魚です。しかし、ドンにとってはそのクロカジキに深い意味があります。もし御国がクロカジキのために動いたのであれば、彼の人生における他の必要のためにも動くはずです。ドンにとっては、神の御国の力を初めて体験した出来事でした。

数千年前に遡ると、イエス様に神の御国について具体的に質問したニコデモという人がいました。ヨハネの福音書3章にイエス様の返答が書かれています。“風はその思いのままに吹き、あなたはその音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くのかを知らない。御霊によって生まれる者もみな、そのとおりです。”（8節）ドンと一緒にボートに乗ったあの美しい日が、良い例です。

ドンも私も神の御国を直接見ることはできませんでしたが、大きなクロカジキが釣れたときに、その影響を確かに感じることはできました。風が目に見えなくても自然界に影響を及ぼすように、神の御国もそれと同様に自然界に影響を及ぼすのです。神の御国の統治の原理を学ぶことによって、ドンがあの日体験したように、私たちも人生に変化をもたらすことができます。

はい、ここで質問があります。あのクロカジキはどのようにして現れましたか？

この質問の答えがあります。ただ、神様がなされたと言ってはなりません。私たちはそれが現れることを知っていたと認めなくてはなりません。あなたにもいつか、クロカジキや青い車、あるいは食料が必要になる日が来るかも知れないからです。この話の要点は、釣りの話でもなく私の鹿狩りの話でもありません。この話は、御国の機能の仕方について教え、どのように働くのかを教えているのです。クロカジキが現れたのには理由があります！イエス様は、多くの時間をかけて弟子たちに御国がどのように機能するのかについて教えられました。ただ教えられたのではなく、見せて下さいました。

ここに注目して下さい。御国はあなたが生きてきた地上の原理で動くものではありません。地上の原理とは異なる原理で動きます。しかし、私たちがこの原理を学ぶことができます。イエス様はどこに行かれても御国の原理について教えられました。私の好きな話がマルコの6章に出てきます。これは、イエス様が五つのパンと二匹の魚で五千人を食べさせた有名な話です。私はこの話を数えきれないほど聞いてきましたが、誰もどのようにしてイエス様がなされたのかについては教えてくれませんでした。

この質問の答えがあります。ただ、神様がなされたと言ってはなりません。私たちはそれが現れることを知っていたと認めなくてはなりません。あなたにもいつか、クロカジキや青い車、あるいは食料が必要になる日が来るかも知れないからです。この話の要点は、釣りの話でもなく私の鹿狩りの話でもありません。この話は、御国の機能の仕方について教え、どのように働くのかを教えているのです。クロカジキが現れたのに

風が目に見えなくても自然界に影響を及ぼすように、神の御国もそれと同様に自然界に影響を及ぼすのです。

は理由があります！イエス様は、多くの時間をかけて弟子たちに御国がどのように機能するのかについて教えられましたが、ただ教えられたのではなく、見せて下さいました。

ここに注目して下さい。御国はあなたが生きてきた地上の原理で動くのではありません。地上の原理とは異なる原理で動きます。しかし、私たちはこの原理を学ぶことができます。イエス様はどこに行かれても御国の原理について教えられました。私の好きな話がマルコの6章に出てきます。これは、イエス様が五つのパンと二匹の魚で五千人を食べさせた有名な話です。私はこの話を数えきれないほど聞いてきましたが、誰もどのようにしてイエス様がなされたのかについては教えてくれませんでした。

そのうち、もう時刻もおそくなったので、弟子たちはイエスのところに来て言った。「ここはへんびな所で、もう時刻もおそくなりました。みんなを解散させてください。そして、近くの部族や村に行っておか食べる物をめいめいで買うようにさせてください。」すると、彼らに答えて言われた。「あなたがたで、あの人たちに何か食べる物を上げなさい。」そこで弟子たちは言った。「私たちが出かけに行って、二百デナリものパンを買ってあの人たちに食べさせるように、ということでしょうか。」するとイエスは彼らに言われた。

「パンはどれぐらいありますか。行って見て来なさい。」彼らは確かめて言った。「五つです。それと魚が二匹です。」

イエスは、みなを、それぞれ組にして青草の上にすわらせるよう、弟子たちにお命じになった。そこで人々は、百人、五十人と固まって席に着いた。するとイエスは、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて祝福を求め、パンを裂き、人々に配るように弟子たちに与えられた。また、二匹の魚もみなに分けられた。人々はみな、食べて満腹した。そして、パン切れを十二のかごいっぱい取り集め、魚の残りも取り集めた。パンを食べたのは、男が五千人であった。

-マルコ6:35-44

“イエス様、大変です。人々はみなお腹を空かせているので、このまま家に帰らせたら途中で死んでしまうかも知れません。” イエス様は彼らに何と言われましたか？ “何てことだ、あなたの言った通りだ。時間が経つのを忘れていたよ。早く解散させよう。” 違います。イエス様は、“あなたがたが与えなさい。”と言われました。聖書には、男性が5000人いたと書いてありますが、女性と子供たちを合わせると、20,000人を超える人がいたと思われます。もし、あなたがすでに二万人のための食料を持っていたとしても、渡すのが大変なのに、食料を用意するのは不可能なことです。私は、弟子たちがイエス様の言われたことを信じられなかったと思います。それは、彼らの返事から見ることができません。“でも、イエス様、二百デナリでパンを買って来て人々に食べさせるということですか？ お金がなくなってしまうです。” 彼らは、まず地上の呪いの制度でこのことを解決しようとしてきました。

ある日、私が祈っていると、神様は私に世俗的な思考を持っていることを指摘されました。私は混乱しました。どういう意味だろうか？私に情欲の問題でもあるのか？いいえ、神様は私の思考が地上の呪いの制度の下で限られているので、御国の価値観で物事を見ることができないと言われました。私たちはみな同じです。もし私たちに家が必要なら、私たちはすぐにこの家を購入するためにかかる費用を計算し、自分に買う余裕があるのかを見ます。どのように計算しますか？地上の呪いの制度の下で、どのくらい速く走れるのかを計算します。私が一週間に40時間働いて、時給は1,500円だとします・・・“だめだ、あの家を買うことはできない。”となります。そこで、あなたは不可能であると決めつけてしまいます。私たちがこの計算方法ですべての物事を考えるなら、決して御国の方法で生きていくことはできません。神様は私に、もし私が御国に繋がりたいと願うなら、御国の思考を持たなければならないと言われました。すべてのことが可能です！

だから、弟子たちは、“二百デナリを払うんですか？”と言いました。簡単に言うと、彼らはこれほど大勢の人を食べさせるのは不可能だと言っていたのです。

イエス様が、“あなたがたが食べさせなさい。”と言われたとき、弟子たちがこれをどう受け取ったかを見たいと思います。私があなたの牧師だとして、あなたは生活に関するすべての支払いが三ヶ月も遅れているとしましょう。そこであなたは私のところに来て、教会が支払いを手助けすることができるかと聞きました。私は落ち着いてあなたに、“もっといい考えがあります。あなたが支払ってしまうなら、何も心配することはありませんね。”と言います。あなたは、きっと、“私の言っていることを理解していないんだな。”という目で私を見るでしょう。“先生、そうではなくて、私には支払えるお金がないのです。だからあなたのところに来ているのです。私はただ教会に助けを求めて来ているのです。”再び、私はあなたに、“いいえ、私はあなたの言っていることを理解しています。そして、素晴らしい解決策を教えました。あなたが支払えば、何の問題もありません。”あなたは、私が狂っていると思うでしょう。

そうです、弟子たちはきっとこのように思ったでしょう。“イエス様、あなたは2万人を食べさせるということをあまり深刻に考えておられないですよ？それは、ただ不可能です。私たちには解決策がありません。そしてもし私たちがそのお金を手に入れるために一生懸命働いたとしても、お金を手に入れて2万人に食べさせるパンを買って戻ってきたところで、みんなすでに死んでいるでしょう。もしすでにお金があったとしても、パンを買いに行き、運んでくることを考えると不可能です。”これは、自然界で私たちが不可能なことに直面したときに示す反応です。私たちは不可能を前にすると、ビジョンを失ってしまいます。

イエス様は、弟子たちをその場に答えのないまま残されませんでした。また、イエス様はもし不可能ならば、人々に食べさせる必要はないとも言われませんでした。イエス様は、異なる方法を見せようとされたのです。それは、御国の働きでした。混乱している弟子たちの前で、イエス様が動きを見せられました。

“パンはどれくらいありますか。行って見て来なさい。”と言われました。弟子たちは戻ってきて、“五つです。それと魚が二匹です。”と言いました。イエス様はそれらを持ってくるように言われました。

イエス様はパンと魚を取り、それらを祝福されてからすぐに弟子たちに与えられました。自然界では何も変わりませんでした。霊の世界ではとても重要なことが起きました。イエス様は弟子たちに人々に分けるように指示され、彼らは2万人が満腹になるまで食べるのを目の当たりにしました。何が起きたのでしょうか？どのようにして起きたのでしょうか？

答えを見るためには、この出来事を詳しく見ていく必要があります。 “祝福する” という単語は、 ‘区別する’ や ‘きよめる’ といった意味があります。ですから、イエス様が食べ物を祝福されたとき、そのパンと魚は御国から区別されて別の領域に入ったと言えます。

自然界では、五つのパンと二匹の魚で二万人を食べさせることは不可能です。しかし、神の御国では、すべてのことが可能なのです。話はここで終わりません。弟子たちは十二のかごいっぱいパン切れを集めました。五つのパンと二匹の魚はただ食べるだけでなく、満腹になるまで食べるのできるものとなり、二万人のお腹を満たすことができました。これが、御国の原理です！

霊的な科学者として、この話を詳しく見てみると、神様が私に鹿狩りで与えて下さった方式と同じ方式であることがわかります。鹿狩りを通して、神様は私に必要なものは何でも、まず神の御国に蒔くことを教えられました。これが、パンと魚を持っていた男の子がまずしたことです。彼はそれを神の御国の權威の下に置いたので、それは増え、二万人

神様は私に必要なものは何でも、まず神の御国に蒔くことを教えられました。

を食べさせてもなお12かごも残りました。パンはパンを増やし、魚は魚を増やしました。私が御国に魚を蒔くなら、それは魚として増えるのです。しかし、私に魚が必要なのに、今魚を持っていなかったらどうしますか？そのときはお金を蒔きます！お金は様々なものの代わりとなります。私たちは毎日お金でいろいろなものを手に入れるからです。お金が私たちの必要なものの代わりとなります。ですから、お金を蒔いて名前をつければ良いのです。店に行って魚を手に入れる代わりに、お金に名前をつけて蒔きます。あなたは献金としてこれを捧げることはできませんが、十分の一献金としては捧げられません。十分の一献金は、主がすでに名前をつけられたからです。私たちは、マルコの5章でも、これと同じ原理を見ることができます。

群衆がイエスに押し迫るようにして神のことばを聞いたとき、イエスはゲネサレ湖の岸辺に立っておられたが、岸辺に小舟が二艘あるのをご覧になった。漁師たちは、その舟から降りて網を洗っていた。イエスは、そのうちの一つの、シモンの持ち舟に乗り、陸から少し漕ぎ出すように頼まれた。そしてイエスはすわって、舟から群衆を教えられた。話が終わると、シモンに、「深みに漕ぎ出して、網をおろして魚をとりにさい。」と言われた。

するとシモンが答えて言った。「先生。私たちは、夜通し働きましたが、何一つとれませんでした。でもおことばどおり、網をおろしてみましよう。」

そして、そのとおりにすると、たくさんの魚がはいり、網は破れそうになった。そこで別の舟にいた仲間の者たちに合図をして、助けに来てくれるように頼んだ。彼らがやって来て、そして魚を両方の舟いっぱいに入げたところ、二そうとも沈みそうになった。

-ルカ5:1-7

霊的な科学者として、この話を詳しく見てみましょう。これらの魚はどのようにして現れましたか？あなたはわかりますか？イエス様は岸辺で乗られる小舟を見ておられました。イエス様が小舟の主人であるペテロに使っても良いかと聞かれると、ペテロは、“もちろんです。”と言いました。イエス様が小舟を使い終わったとき、彼らは夜通し働いたけれども何もとることができませんでした。イエス様が舟を使い終わったとき、ペテロにもう一度深みに漕ぎ出して魚をとりなさいと言われました。私は、これを言われたペテロがこのように反応したのも無理はないと思います。“イエス様、私たちは夜通し働きましたが、何もとれませんでした。”ペテロはプロの漁師でした。彼は漁を知っていました。彼の経験上、魚はとれないのです。自然に考えると、再び深みに漕ぎ出すのは理解できません。彼らは仕事を終えて、網を洗い始めていました。

私は、ペテロがその日のイエス様のメッセージを聞いて心が触れられていなかったならば、決してイエス様の言われたことに従わなかったと思います。

ペテロは言いました。“あなたがそう言われるので、私は網をおろしましょう。”ペテロが深みに漕ぎ出して網をおろすと、たくさんの魚が入ったので網は破れそうになり、舟は沈みそうになりました。彼は急いで仲間に助けを求めました。魚は両方の舟いっぱいに入ったので、二そうとも沈みそうになりました。聖書には、ペテロがひどく驚いたと書いてあります！

これはどのようにして起きましたか？ヒントはありましたか？私たちにわかるのでしょうか？簡単に言うと、これは私たちが話した誠実さの力と関係しています。ペテロがイエス様に舟を使えるように渡したとき、その舟と仕事が御国を変えました。彼の仕事は地上の呪いの制度から神の御国の制度へと移されました。神の御国の支配下にいることは、神様がイエス様に魚の居場所を合法的に伝達することができるということです。“あの深いところにいる。”

この出来事を細かく見てみましょう。イエス様は夜通し働いて何もとることができなかったペテロから舟を借りられました。その代わりに、この舟は神の御国の支配下に移されました。イエス様は聖霊様によって、魚の居場所を正確に知ることができるようになりました。ペテロの舟は沈みそうになるくらいの魚をとりました。彼の仲間の舟も大漁で沈みそうになりました。魚はどのようにして現れましたか？それは、天からの正確な指示があったからです。魚の居場所を知っているなら、誰でも魚をとることができます。今言ったことを考えてみてください。神様はすべてを知っておられます。その方はあなたを助け、的確な指示を出されます。

ドレンダと私がまだ借金を抱え、御国について学び始めた頃、神様はその夜私にビジネスを始める夢を与えて下さいましたが、私はどのよ

うに始めて良いかわかりませんでした。そのビジネスは28年経った今も続いており、年間数十万ドルを生産しています。28年以上、私はこの祝福によって多くのミニストリーと人々を助けるために蒔いてきました。どのようにでしょうか？私は天から聞いています。あなたも聞くことができます！例を挙げましょう。

私は数年前に、神の御国について教える5日間の集会をもっていました。2日目に、クリスという男性が私のところに来て祈りを求めました。私は彼に何を祈ってほしいのかと聞きました。そこで彼は私に話し始めました。彼はある人とビジネスをしていましたが、その人がそのビジネスからお金を横領したため、ビジネスが破綻してしまいました。彼は4度目の結婚をしましたが、それもうまくいっていません。彼はまだ40歳です。彼はあまりの苦しさにはピストルを手にし、人気のない場所で自殺しようと考えていました。

彼がピストルを手に持ち、座っていたのが午前3時頃でしたが、突然彼の携帯電話が鳴りました。彼はすぐに誰からの電話なのかがわかりました。それは、元同僚からでした。話す気になれなかったので、電話に出ませんでした。その後も電話は鳴り続けました。クリスが電話に出る決断をするまで11回も鳴りました。電話の相手の一言目は、“どこにいるの？何してるの？”でした。元同僚は、“そのままそこにいて。今からそこに向かうから！”と言いました。元同僚は、神様に人生を捧げたばかりで、クリスにも伝えたいと願って電話をしたのです。午前3時にクリスに電話をしなければならぬという強い思いに導かれ、クリスが電話に出るまで何度もかけ続けました。

元同僚がクリスの所に来たとき、彼はクリスを主に導いて、そのときからクリスの人生は変えられました。すべてが良くなっていきました。良い教会を見つけ、結婚生活にも希望が見えてきました。彼の収入以外は、すべてが良くなっていきました。クリスには仕事がありませんでした。彼はそのために私に祈りを頼んだのです。その集会を通して、私はこの本であなたに伝えている内容をそのまま伝えていました。

クリスは聖霊様が私たちを助け、導かれることを黙想していたとき、突然ある考えが浮かびました。経済的な面から考えると、彼にはあまり選択肢がありませんでした。しかし、彼はチーズケーキを作るのが得意でした。彼のチーズケーキは健康志向の人を対象としており、彼の得意分野でした。クリスは友人たちの間で最高のチーズケーキを作る人として知られていました。彼は、地元の健康志向型食品を扱っている店に何度も足を運び、そこで売られているチーズケーキを食べましたが、何かが足りないと感じていました。クリスには他の選択肢がありませんでしたが、チーズケーキを売りたいという強い思いはありました。クリスは自分が作ったチーズケーキをその地元の店に持って行って試食してもらえば、きっと気に入ってくれるという自信がありました。彼らが売っているものよりも売れる自信がありました。彼は実際にその通りにしました。彼はチーズケーキを作り、地元の店に持って行きました。面白いことに、クリスがその店に着いたとき、健康志向型食品の責任者もその店の様子を確認しに来ていました。責任者は彼のチーズケーキを試食してから連絡をすると言いました。

その夜の集会にクリスが参加した後、再び私のところに来て、責任者と契約に繋がるために祈ってほしいと言いました。次の日の集会にもクリスは現れましたが、彼はとても喜んでいました！責任者はクリスに、その地元の店だけでなく、彼が経営している他のチェーン店でもクリスのチー

あなたが与えるのです！

ズケーキを販売したいと言ったのです。責任者はクリスに他に作れるものがあるのかを聞きました。クリスは驚きました！素晴らしいことに、その責任者は集会の最終日に現れ、彼の心を主に捧げ、聖霊のバプテスマを受けました。私は2週間後に彼から手紙を受け取り、そこには神の御国に蒔くことから始めたいと書いてありました。彼は経営者として得ている店のお金の十分の一を私たちのミニストリーFaith Life Nowに捧げました。素晴らしいことです！神様は、何もないところに大きなものを生み出すお方です。

第10章

今、集めなさい！

あなたは、夏に長距離を走り終えたばかりの馬を見たことがありますか？彼らは汗で覆われています。泡汗と呼ばれる汗です。それを見ると、彼らが一生懸命走ったことがわかります。私はしょっちゅうこのような質問をされます。“ゲイリー、一生懸命働く必要がないということですか？”いいえ、私も聖書もそのように教えていません。しかし、働き方の違いはあります。例えば、私たちが読んだペテロと仲間の舟が魚がいっぱいで沈みそうになった話があります。彼らは夜通し働きましたが、何もとれませんでした。それからイエス様が来られて、魚の居場所を知恵の言葉をもって教えられました。そのときも彼らは働きましたが、それは全く違う形の労働でした。彼らは確実に魚をとるために労働したのです。

私たちは‘釣る’という単語を（英語では）いろいろな意味で使います。女性は褒められるために‘釣った’。男性が鍵を‘釣る’ためにポケットに手を入れた。私たちはこの単語を何かを探しているときによく使います。ペテロは何かを探していたのでしょうか？私は狩りに出ると、40分くらいで鹿を捕らえると言いました。私は狩りをしていますか？言い換えると、もしあなたが魚の居場所を知っているなら、探す必要はありますか？もし、私が鹿を狩ることを知っているなら、探す必要があるのでしょうか？私はあなたに違いを見せるために説明しています。私は仕事をしていますが、夜通し働いて何も得るものがないような労働はしていません。私は、御国の中で父のビジネスと私の目的のために働いています。

私はこれを集めることと呼んでいます！

ペテロがイエス様のもとに来て税金の支払いについてマタイ17：27で尋ねたとき、イエス様は次のように言われました。

“しかし、彼らにつまずきを与えないために、湖に行って釣りをして、最初に釣れた魚を取りなさい。その口をあけるとスタテル一枚が見つかるから、それを取って、わたしとあなたとの分として納めなさい。”

イエス様は、“よし、ペテロ、税金を支払わなくてはならないね。あなたは三ヶ月ほど町に出て仕事を見つけて、働きなさい。そしてそこで得たお金で税金を払いなさい。”とは言われませんでした。なぜでしょうか？なぜなら、もしペテロがお金を追いかける生活をするなら、彼は地上の呪いの制度の下に戻ることにになり、彼の目的を果たすことができなくなるからです。代わりに、イエス様は地上で御国がどのように動くのかを見せて下さいました。ペテロの答えが、あなたの答えでもあります。イエス様は、ペテロにどこに備えがあるのかを話され、その備えを手に入れるためにペテロは探す必要がありました。ペテロがやるべきことは、行って集めることでした。

私たちは、御国が機能するのを見て弟子たちがひどく驚いたと書いてある聖句を見ることがあります。イエス様がマルコの11章でいちじくの木を呪って枯らしたとき、聖書にはペテロが驚いたと書いてあります。ラザロが死んで4日目に蘇って出てきたとき、彼らは驚きました。ペテロ、ヤコブ、そしてヨハネが魚をとったとき、彼らは驚きました。

ドレンダと私も口を開けて驚いて言います。“本当にすごいね。”私たちが御国の機能について学べば学ぶほど、さらに驚くことになりました。私たちが聖霊様の助けによって集めることについて話すとき、マタイの6章を読まずして通り過ぎることはできません。私の聖書のサブタイトルには、“心配するのはやめなさい！”と書いてあります。とても気に入っています。

“だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛したり、一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません。

だから、わたしはあなたがたに言います。自分のいのちのことで、何を食べようか、何を飲もうかと心配したりしてはいけません。いのちは食べ物よりもたいせつなものではありませんか。空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか。あなたがたのうちだれが、心配したからといって、自分のいのちを少しでも延ばすことができますか。

なぜ着物のことで心配するのですか。野のゆりがどうして育つのか、よくわきまえなさい。働きもせず、紡ぎもしません。しかし、わたしはあなたがたに言います。栄華を窮めたソロモンでさえ、このような花の一つほどにも着飾ってはいませんでした。きょうあっても、あすは炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこれほどまでに装ってくださるのだから、ましてあなたがたに、よくしてくださらないわけがありませんか。信仰の薄い人たち。

そういうわけだから、何を食べるか、何を飲むか、何を着るか、などと行って心配するのはやめなさい。こういうものはみな、異邦人が切に求

今、集まりなさい！

めているものなのです。しかし、あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます。だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。

-マタイ6:24-34

イエス様は、あなたは二人の主人に仕えることができないと言われました。あなたはできると思っても、できません。あなたはどちらかを愛するようになっていきます。私はどちらか知っています。あなたが信頼し、あなたの必要を満たしてくれる方です。主が私の古い家で私に指摘されたことは、私が御国について学ぼうとしていないこと、そして主が私の主人になっていないことでした。私は主を信頼し必要を満たして下さる方であると信じていなかったのです。そうです、私は教会に通い、献金も捧げ、神様を愛し、天国に行くと思っていました。しかし、私は一度も神様の制度でお金について考えたことも、御国の働きを学ぼうとしたこともありませんでした。

あなたがたの宝のあるところに、あなたがたの心もあるからです。

-ルカ12:34

ゆっくり読んで下さい。“あなたがたの宝のあるところに、あなたがたの心もあるからです。”多くの人は反対に読みたがります。“あなたがたの心のあるところに、あなたがたの宝もあるからです。”しかし、そのようには書いてありません。人々は、日曜日の礼拝で神様を愛する心に宝があると思っています。間違っています！あなたが信頼してあなたの必要を満たす制度があるところに、あなたの心もあるのです。

イエス様は、私たちがそれを反対に捉えていることを指摘されます！

神様は、お金ではなく神様が私たちにあっての一番になることを望まれます。もしお金が私たちの宝であるなら、それが一番になり、私たちの時間、優先順位、そして心を要求するでしょう。だからペテロは、税を納めるときに町に出て行って仕事をすることを選びませんでした。だから神様は私たちに集めることを訓練させるのです。イエス様は私たちに御国の方法を教えられ、神様の備えを信じること、そして私たちの心を尽くして神様を愛することを教えられました！イエス様は、“いのちは食べ物よりもたいせつなもの、からだは着物よりもたいせつなものではありませんか。”と言われました。その方は人生とは何かを持つこと

もしお金が私たちの宝であるなら、それが一番になり、私たちの時間、優先順位、そして心を要求するでしょう。

ではないと言われたのです。

人生の目的は、これらのものがあなたに仕え、あなたは地上での課題をやり遂げることです。

しかし実際はどうでしょうか？ほとんどの人がこれらのものに仕えるために休まず走っています。人々は、車の支払いのため、家のローンの支払いのため、また税金を支払うために走っています。イエス様は、これが人生ではない、と言われました！これを聞いて、“ほら、イエス様は何かを持つことを悪いと言われたでしょう。”とは言わないで下さい。そう言われたのではありません。イエス様は33節で、もしあなたが神の国とその義とを第一に求めるなら、これらのものはすべて与えられると言われました。もの自体に問題があるのではなく、心にあります。もし神様が私たちに何も持ってほしくないと思われたなら、イエス様がそのように言われたはずで、代わりに、もし私たちが神様の方法で生きていくなら、世にあるこれらのものはすべて与えられると言われました。

人生はものに仕えることではないですが、残念ながらほとんどの人はそのように生きています。彼らには選択肢がありません。奴隷だからです。二人の主人に仕えることは不可能であり、ものに仕えることが人生ではないのです。イエス様は、備えについても話されました。それが御国です。

イエス様は、マタイの6章で御国がどのようなものかを教えるために2つの例を挙げられました。イエス様は、“空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。”(26節)

鳥は自分の畑を持っていません！

彼らは自分のために備える必要がありません。

父が養ってくださるからです。彼らはただ毎日必要なものを集めれば良いのです。わかりますか？彼らは汗を流しながら苦勞して自分を養う必要がありません。集めれば良いのです！

花は働きもせず、紡ぎもしません！

“なぜ着物のことで心配するのですか。野のゆりがどうして育つのか、よくわきまえなさい。働きもせず、紡ぎもしません。”(28節)

花は咲くために汗を流し苦勞して働きません。父が着飾って下さるのです。イエス様は、あなたと私に答えを下さいました。別の生き方、御国の方法があることを教えて下さったのです！イエス様は、“神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。”(33節)と言われました。“神の国を求める”とはどういう意味でしょうか？それは、御国がどのように動くのかを知ることです！その統治の原理を学んで下さい。神様の制度

今、集まりなさい！

がどのように動くのかを学んで下さい！

もし私があなたを一度も行ったことのない外国に飛行機で連れて行き、そこで降ろすなら、あなたはまずその国の制度を学ぶことから始めると思います。その国では人々がどのように食べ、どのように売買し、またその国の法律も学ぶでしょう。神の御国の中でも同じことが言えます。あなたは、その中にあるものを楽しむために、神の御国がどのように機能するのかを学ぶ必要があります。私は今、御国について知らなかった頃に、どれほど多くのものを逃していたのかを悟りました。あなたの答えは簡単です。あなたにはお金の革命が必要です。革命の中で、人々は古い制度を打ちこわし、新しい制度を取り入れています。あなたも同じことをしなければなりません。あなたも地上の古い呪いの制度を打ちこわし、神の御国の新しい制度を取り入れて、喜びの中で生きていくことができるのです！

第11章

飛ぶことは 歩くことよりも簡単です！

もしあなたが昔に戻ったとして、ニューヨークからサンフランシスコまで行くためには、舟に乗らなくてはなりません。パナマ運河が開通する前は、南米を一周するのに一年かかりました。その後、オレゴン街道が整備されてからは四ヶ月で一周することができるようになりました。今は、四時間で行くことができます。どうしてでしょうか？飛ぶ原理を使った新しい方法があるからです。飛ぶ原理は前からあり、鳥はその原理を使って飛んでいましたが、人間はそれを理解することができませんでした。人間が飛ぶ原理に気づかなかったのと同じように、ほとんどのクリスチャンも御国の原理に気づいていません。神の御国はここにあり、あなたの中にあり、そしてあなたは合法的にそこから得られるものを楽しんでも良いのです。自然界で、飛ぶ原理は重力に負けません。言い換えると、あなたが飛ぶ原理を正しく用いて飛んでいる限り、重力があっても飛び続けるのです。あなたも船に乗るよりは飛行機に乗って飛ぶ方が簡単だと思うでしょう。それなら、早く古い方法を捨てて、簡単な方法を選んで下さい。

あなたはオオカバマダラを見たことがありますか？ここオハイオでは秋になると、冬が来る前に南に飛んでいくたくさんのオオカバマダラを見ることができます。彼らは、約2,000マイルを飛んでメキシコに向かいます。しかし不思議なことがあります。彼らは一度もそこに行ったことがありません！彼らはどのようにして行く時期やルートがわかるのでしょうか？もし神様がオオカバマダラの行く手さえ備えて下さるのであれば、あなたにも備えてくださらないわけがありませんか。蝶はどのように飛びますか？

それは変形と呼ばれます。語源は“morph”変化から来ています。ほとんどの人が、オオカバマダラが最初から蝶の形だとは思っていません。最初は青虫です。青虫は、トウワタという植物に住みつき、変化

を遂げる準備ができるまでそこにいます。成長した青虫は今度は蛹になり、その殻の中で7～15日ほど動かなくなります。それから青虫の見た目ではない蝶がその中から出てきます。蝶は経験したことのないところで生きていくことになります。蝶は飛びます！トウワタの葉の上で限られた生活をしてきた青虫が今は蝶となって自分の行きたいところへ飛んで行けるのです。蝶は美しく、その飛んでいる姿は周りの自然の美しさをさらに際立たせます。

しかし、最も驚くべきことは、危険から逃れるために飛ぶことができるということです。オオカバマダラは極寒の中で生きていくことはできません。死んでしまいます。しかし、神様はオオカバマダラが生きたために一度も行ったことのない2,000マイル離れた場所に道を備えて下さいました。彼らはそこに道があることをどのようにして知るのでしょうか？それは変形を通してです。聖書は私たちに同じことを教えています。オオカバマダラのように、私たちはどのように解決すれば良いのかわからない問題の上を飛ぶことができます。

私の友人のスティーブは、ある晩運転して家に帰っているとき、鹿をはねてしまいました。彼の車は完全に壊れてしまいました。残念なことに、彼が家族を乗せていた別の車も一週間後に壊れてしまいました。スティーブの保険会社は、彼に2週間無料で車を貸し出しましたが、車の修理費などは含まれていませんでした。スティーブとカレンはどうしていいかわかりませんでした。スティーブは仕方なく会社の車を短期間借りることにしました。

彼らは、御国についての教えを長年学んできたので、神様が彼らの答えであることがわかりました。彼らには他の車を買うお金がありませんでした。だから彼らにとっての唯一の希望は神様とその方の御国だけでした。2週間無料の車の貸し出し期間が終わりに近づきましたが、まだ何もありません。車を返しに行く日の前日、同じ教会の信徒から電話があり、車を必要としている人に車を譲りたいのだが、スティーブが知っている人の中で車を必要としている人はいるかと聞きました。スティーブはすぐに自分の状況を説明し、その車を受け取りたいと伝えました。ここまでは良かったのですが、スティーブには6人の子どもがいるので、小さい車一台ではどうにもなりません。しかし、車の話がただけでも彼らにとっては励みとなりました。

次の日曜日、夫婦が私のところに来て、車のために祈ってほしいと言いました。カレンは、“先生、私たちは信仰でホンダのオデッセイを受け取ると信じています。そのために蔭くので、先生も一緒に祈っていただけませんか？”と言いました。私は、“もちろんです。”と言いました。そして私たちは祈りました。正確な期間は覚えていませんが、3、4週間後に私たちが彼らの家に寄ったときのことです。私たちが彼らの家の中に入ると、冷蔵庫にホンダのオデッセイの写真が貼ってあるのが見えました。カレンは、毎日彼女が冷蔵庫を開ける度に写真に手を置いて、神様が与えて下さったことに感謝していると言いました。

それから一週間後、私の秘書から電話があり、“先生、今日おもしろい電話がかかって来ました。”と言われました。ある男性が教会に大きめの車を渡したいという内容でした。誰もスティーブとカレンが自分たちの信仰を解き放って新しい車を手に入れるとは考えてもいませんでした。

そこで私は秘書に聞きました。“車の種類は？”彼女は、“ホンダ

のオデッセイです。”と答えました。“車の状態は？”彼女は、男性が傷一つない完璧な状態だと言っていたことを私に話しました。私は彼女にその車が行くべきところを知っていると伝えました。私はこれをドレンダに伝え、カレンに電話をかけるよう頼みました。ドレンダがカレンに電話をかけて近況について聞くと、“あと少しのところまで来ています。”とカレンは言いました。ドレンダは、“もう来ているよ。取りに来て下さい。”と言いました。

私はこのような話が大好きです。この話はスティーブとカレンの御国への信仰を確かなものにしました。

その頃、スティーブとカレンは家を欲しがっていました。彼らは賃貸住宅に住んでいましたが、自分たちの家を買う時が来たと感じるようになりました。しかし、彼らにそのようなお金はありませんでした。彼らは頭金のことで何度も銀行に行きましたが、みな口を揃えて言うのは、50%の頭金が必要だということでした。もちろん、彼らにそのようなお金はありませんでした。カレンは落ち込んで私に話しました。私たちは神様が道を作って下さることを信じました。彼らは購入する家を探し始めました。

彼らは気に入った物件を見つけました。その土地に家を建てるのですが、800万円ほどの物件でした。もう一度言いますが、彼らには頭金を払うお金がありませんでした。しかし、私はこの地域にはない、ここから2時間ほど離れた場所にある小さな銀行が、土地の頭金の一部として株式を受け入れるという話を聞いたことがありました。これは、とても珍しいことでした。彼らにこのことを伝えたところ、彼らはその銀行に行く予定を立てました。その土地は1,000万円以上で見積もられているので、頭金は必要ないと言いました。そこで、彼らは頭金を払うことなく、その土地に美しい家を建てることができました。ドレンダと私のように、スティーブとカレンは今日に至るまでますます栄えています。それは、彼らが御国の方法で生きているからです。

私の教会ではこのような話をたくさん聞くことができます。そして、私はあなたの人生にもこのようなことが起きると信じています。神様は、あなたの必要を満たすために何かすばらしいことをなされる方です。私たちは自分が可能だと思うことで将来を決めつけます。しかし、私たちが御言葉によって私たちの考えを変えるなら、神様の中ですべてのことが可能になります。

この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。

私たちは自分が可能だと思うもので将来を決めます。しかし、私たちが御言葉によって私たちの考えを変えるなら、神様の中ですべてのことが可能になります。

クリスチャンとして、私たちはこの世と調子を合わせてはいけません。パウロは、この世の呪いの制度について言っており、特にそう思っている私たちに言っています。あなたは、洋服を布から作ったことがありますか？もしやったことがあり、その出来具合が気に入らなかったとして、もう一度初めから同じパターンでやり直したとします。結果はどうなるでしょうか？結果は同じです。だからパウロは、私たちの考えを根本から変える必要があると言っているのです。私たちはこの世とは違う考え方を持たなくてはなりません。

“変える”という単語は、先ほど話した“morph”と同じ意味です。私たちは変わらなくてはなりません！神様のように考えなくてはなりません。御国の考え方を持たなければなりません。醜く寒さに弱くて死んでしまう青虫になるのではなく、私たちは新しい生き方をするために神様を信頼する者になりましょう。そうしたときに、私たちはすべての状況の中で神様の完璧で喜ばしい御心を知るために羽ばたくことができるのです。もし私たちがこの考え方を持たないならば、私たちの古い考え方は常に“いや、だめだ。絶対にできない。これは不可能だ。”とあなたに言い続けるでしょう。

一体誰が醜い青虫がいつの日か、あの美しい蝶に変わることを知っていたのでしょうか？青虫を眺めながら、これが2,000マイル離れた場所に行くことを想像すると、みな頭を横に振りながら、“不可能だ！”と言うでしょう。しかし、神の御国の中では、すべてのことが可能です。私を見て下さい。私がテレビ番組に出演し始めたとき、私はお金のプロとして紹介されました。時々私は、自分の青虫時代を思い返して、“本当にすばらしい！”と言います。

ドレンダと私が御国の働き方を学んだとき、私は飛行機が欲しいと思いました。私は19歳の頃からパイロットでしたが、飛行機はいつも借りていました。私が自分の飛行機を持っていなかった理由は、ご存知の通りお金がなかったからです。ある日から私は神の御国にとっては飛行機も難題ではないと思うようになりました。どうして私の限られた考えで御国に制限をかけることができるのでしょうか？そこで私は小切手に金額を書いて、メモの欄に“私の飛行機のため”（実際はもっと具体的に）と書きました。私は小切手に手を置いてから送りました。マルコ11:24の通りに祈って求めるものは受けたと信じました。

“だからあなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。”

それから約一ヶ月後、私は健康診断のため病院に行きました。私は医者に、“あなたの周りで飛行機を買いそうな人はいませんか？”と聞かれたとき驚きました。私は、“どういう飛行機ですか？”と聞きました。私は自分が祈ってきた飛行機ではないかと興奮しました。彼は、私の家の近くにある空港でその飛行機を見ることができると教えてくれました。説明します。私の家は小さな空港の真横にありました。着陸する飛行機はすべて私の家の真上を飛んでいました。いつも飛行機の離陸と着陸を見ていて、滑走路も目の前に見えていたので、私は自分の飛行機を持つべきだと思いました！

そこで、私はパイロットであり操縦教官でもある友人に電話をし

て、一緒にその飛行機を見に行くことにしました。私たちが飛行機を見ているとき、私はこれが自分の飛行機だと思つて見つけました。それは完璧でした！私が欲しかった飛行機そのものでした。ただ、私には問題がありました。それは、飛行機を買うお金がなかったことです。そのような経験をすることがありますか？しかし、このとき私は恐れて引き下がることはしませんでした。私は自分の飛行機だと知っていたからです。私はただどのようにしてそのお金を神様が与えて下さるのかをまだ知らなかっただけです。

数ヶ月前、ドレンダと私は会社の事務所となる場所を探していました。私たちはビジネスに適した場所を知っていましたが、そのエリアは高かったので、私たちは別の場所を探し始めました。私たちは別の場所を見つけて契約する直前でしたが、もう少し他の場所も探してみる必要があると感じて、購入しませんでした。私たちは、ビジネスに適した場所の周辺に戻って、安く出ている物件がないか探していました。私たちがこのことについて祈っていたある日、私の父から電話があり、父は、“あなたにこれを言ったら神様からだ、と言うだろうが、母さんと私で話し合っ、私たちが所有する建物をあなたの事務所として使うためにあげようと思っているよ。”と言いました。

両親が所有している建物は、私がちょうど探していたエリアにありました。私は驚きました！

あなたが理解しなくてはならないことは、私の父はその当時クリスチャンではありませんでした。彼は私が神様について話す度に、とても批判的でした。あまりにも嫌がるので、神様について話すことができないほどでした。私は、誰か他の人が父に伝道してほしいと神様に祈ったほどでした。私が話しても聞かないことを知っていたので、私は伝道することができないと思いました。しかし、父は数年後に80歳で救われました。感謝なことに、父は私たちのテレビ番組で神様がなされたすべてのすばらしい御わざを見ていたときに、救われました。父は亡くなる前の三年半を完全に変えられた人として生き、毎週教会に行きました。

ある日、礼拝が終わった後、私は教会の廊下を歩いていました。父が教会の信徒と話しているのが見えました。私が二人に近づくと、その信徒が父にどのようにして教会に来ることになったのかを尋ねているのが聞こえました。父は彼が説明することができないことをたくさん見てきたからだと答えました。神様をたたえます！このように変わるべきです。

しかし、私たちは父がまだ救われる前のあの電話の話に戻らなくてはなりません。ドレンダと私は、父がその建物を私たちに与えたことに驚きました。私たちは、もちろん神様からだ、と思ったので、父にも、“そうだよ、父さん。父さんの言う通りだよ、これは神様からだ！”と言いました。

その建物は、私たちの会社として使うには完璧でした。

生き残るために恐れで満ちていた私の人生は神の御国によって変えられました。その原理に入っていくことで、私は制限のない可能性に満ちた人生を見つけることができました。

父が私にその建物をくれたのが12月だったので、私は春に改装工事を先延ばしにする予定でした。建物は冬の間誰も使わないので、父は水を止めたと言いました。これが、私が飛行機を見に行く一週間前に起きた出来事でした。私の兄が私に電話をかけ、建物から水が漏れていて道路にまで流れているから早く行って確認するように言いました。気温が上がり、父は水を止めたと言っていました、実際は止まっていませんでした。私は急いで建物へと向かい、到着してみると、上の階の洗面所の水は数日、いや数週間も流れっぱなしだったのです。下の階の壁紙はすべて剥がれ落ちていました。

最悪な状況のように思えますが、あなたも私の兄も知らなかったことは、私は数週間後に始まる予定の改装工事で、すべての壁紙を剥がすつもりでした。ですから、この水のトラブルにより壁紙が剥がれた出来事は私にとっては何も問題ありませんでした。ここからが重要です。私の保険会社は損害賠償の小切手を私に渡しましたが、その額はなんと飛行機が買える額でした！

見ましたか？私は自分の飛行機と会社の事務所を、何の借金も汗も労苦もなく手に入れたのです！今、私はその飛行機で空を飛ぶ度に、神の御国を思いながら感動しています。御国は私たちにとってこの世とは異なる生き方と人生の動機を与えます。青虫と蝶のように、青虫がその短い足でメキシコまで行けるとは考えられません。生き残るために恐れで満ちていた私の人生は神の御国によって変えられました。その原理に入っていくことで、私は制限のない可能性に満ちた人生を見つけることができました。

この本を終えるにあたって、私はあなたに聖句の一つ残したいと思います。きっと知っている聖句です。しかし、今その聖句はあなたにとって新しいものとなるでしょう。

すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。

-マタイ11:28-30

イエス様は、私たちから地上の呪いの制度によるくびきを取り除くために来られました。私たちはこれからその方のくびき（完了したもの）を負い、たましいに安らぎ（七日目の本物の安息）が来るのを見ます。

あなたが、単純にポティファルがしたようにするならば、人生においてすばらしい経験をするようになります。今日、神の御国の原理に繋がる決断をし、誠実さの力を味わって下さい。今日、あなたのお金の革命を始め、古い生き方を捨て、地上の呪いの制度を打ち砕き、病気や絶望も払い落として下さい。あなたの青虫人生を終わりにして、イエス様が与えられた御国の中へ飛び立って下さい。あなたは御国の国民です。

あなたには合法的な権利があります！

もしあなたがこの本に興味を持ち、御国についてさらに学びたいと思うなら、GaryKeese.comに招待します。そこで、あなたは御国についての情報や指導を受けることができます。私はあなたに特別な行事などが催されるTeam Revolution Partnerに参加することを勧めます。

お金に勝利するためには、霊的な知識とこの地上での知識が必要になります。借金返済のための情報や、借金完済プランについての問い合わせは、1-800-815-0818までお願いします。

あなたが一生懸命働いて受け取る退職金もまた正しく管理する必要があります。私の会社では、安全に投資ができるようにサポートもします。多額の資金が行き交う投資で、私たちの会社では過去15年間、誰一人一円も損することなく今日まで来ました。通話も相談も無料です。

1-800-815-0818までお電話下さい。

ドレンダと私は、私たちの人生をかけて個人や家族を助ける働きに専念しています。だからドレンダも“ドレンダ”と呼ばれる彼女自身の番組を制作しました。この番組は、家族の在り方や、すべての年齢の女性たちを対象としたものです。ぜひDrenda.comを検索してみてください。

最後に、ドレンダと私はあなたが世界中の教会や牧師たちを支えることを真剣に考えてほしいと願っています。私たちのH-3プロジェクトは心にとどめるだけでなく実際に助ける運動を心がけています。H-3は、毎年世界中の牧師たちに多くの物資を送っています。私たちは、貧しい人に食事を提供し、人身売買を摘発する働きをしているミニストリーを支え、多くの国の牧師たちを経済的に支え、そしてオハイオで女性が安心して暮らせる家を提供しています。

私たちのゴールは、世界中の人々が神の御国について学び、神様が私たちに与えられた自由と満足を得るようになることです。

私たちのすばらしい証を分かち合えたことを嬉しく思っています。これからは、あなたが行って、あなたのすばらしい証を神の御国とともに作って下さい。



ゲイリー・キージー

あなたの言語でさらに無料の資材が必要ですか？



あなたの言語で無料の資材をダウンロードして下さい！

あなたのお金の革命 誠実さの力

この本を読んで下さい。もしあなたが・・・

経済的な問題に直面して借金を返済したいけれども、

何から始めれば良いのかわからず

希望を失っているなら

ゲイリー・キージーはかつてその状況の中にいました。9年間も、彼は経済的に苦しみながら精神的にも限界を迎えようとしていました。取り立ての電話、裁判、そして恥が彼の人生そのものでした。しかし、ある日神様がゲイリーにお金の奥義を教えて下さったことで、彼の人生は大きく変わります！彼は借金を完済し、彼の会社は成功し、そしてテレビ番組のFixing the Money Thingを通して人生を変える鍵について教えています。このお金の問題は全世界の人々が抱えています。ゲイリーは、全世界で集会などを通して何十万という人々に神の御国の原理を教えてきました。彼はこれ以外にも成功する生き方があることを知っています。しかし、そのうちの一つだけを教えるなら、これだと言います。ゲイリーはあなたをこの革命に招き、誠実さの力によってあなたのお金の観点が変わることを願っています。



ゲイリー・キージーは著者、講師、経済のプロ、そして信仰と家族とお金の問題を助けることに情熱を持っている牧師です。ゲイリーと彼の妻ドレンダは、いくつもの成功した事業を持っており、Faith Life Nowの創始者でもあり、またFixing the Money ThingとDrendaの2つのテレビ番組をプロデュースしています。また、世界中で集会を開き、実用的な資料を提供しています。キージー夫妻はオハイオ州コロンバスの近くにあるFaith Life Churchで牧会をしています。

P. O. Box 779, New ALBANY, OH 43054
1.888.391.LIFE | garykeese.com

